

【用法,用量】1回 0.5—0.7; 1日 3—4回。1錠=0.1。

18. 局「ヂウレチン」Diuretin, Theobrominum natriosalicilicum

【性状】白色可溶性粉末。引濕性。

【作用】尿ニ誘導シ間接的ニ制汗セシム。從ツテ就眠前頓服。腎絲襪ヲ刺戟スルカラ急性腎炎ニハ禁ズ。「カフェイン」ヨリモ利尿強ク、中樞神経系ノ興奮性ハ之ヨリモ弱シ。

【適應症】利尿劑、高血壓、狭心症、水腫、尿毒症、心臟性喘息、濕性肋膜炎。

【用法,用量】1回 0.5—1.0; 1日 2.0—5.0。動脈硬化症ニハ1日 1.0—1.5; 狭心症ニハ1日 2.0—3.0 數日間連用シテ利尿ナキ時ハ用ヒズ。

〔注意〕酸類、酸性鹽類、酸性反應アル果汁類ニ「アンモニア」基類ハ其溶液中ニテ「テオブロミン」ヲ沈澱ス。

【副作用】食思不振、惡心、嘔吐、下痢、頭痛、眩暈、心悸亢進等。

19. 「オイミドリン」Eumydrin (Bayer)

硝酸「メチール・アトロピン」ト同一品。

20. 局「フォルマリン」Formalinum

【成分】「フォルム・アルデヒド」液。35% 純「フォルム・アルデヒド」ヲ含有。

【性状】無色透明、刺臭アル液。

【適應症】主ニ腋窩、足蹠ノ多汗症ニ用フ。

【用法,用量】防腐 0.25—0.5%。消毒用 1.0—1.5%。洗滌用 20—30 滴; 1000。上氣道ヲ刺戟スルカラ使用時注意。

21. 「ケルペン」Körpen (宮川)

【性状,成分】褐色芳香、佳味アル粉末。肝臟製劑。

【適應症】肺結核、肋膜炎、肝臟病、營養不良、虛弱者。

【用法,用量】1日 2.0—3.0 ヲ 3—4回ニ分服(毎食後)又ハ1回 3—5 錠宛 3回。

22. 「グア・カンフル」Guacamphor, Guajacolum camphoricum

【性状,成分】白色無味ノ粉末。腸ニテ「グアヤコール」及「カンフル」酸ニ分解ス。

【作用】比較的確實。副作用ナシ。

【用法,用量】1回 0.2—1.0。夕刻頓用。

23. 「メソタン」Metsotan (Bayer)

【性状】芳香アル帶黄色透明油狀液。「アルコール」、「エーテル」、「クロホルム」ニ溶ケル。

【適應症】「レウマチス」、丹毒、足蹠多汗症、肺結核盜汗。

【用法,用量】「ワゼリン」油ニ混和シ1日 2—3回外用。皮膚發赤セバ中止。綿帶ハ用ヒズ。水分ヲ引キ易キタメ乾燥瓶ニ貯フ。

24. 局「クロール・ナトリウム」, (食鹽) Natrium chloratum

白色結晶、嗜血、硝酸銀中毒、罌法料、撒布料、口腔含嗽液、洗眼水、吸入料、灌腸料、浴水ニ用フ。止汗ノ目的ニハ水ニ溶シ頓用。1回 5.0。

25. 「ペクトール」Pectol (鹽野義)

【成分,性状】3%「サリチール」酸「カルチウム」、0.02%「キニーネ」、0.01%「ヨード」ヨリナル注射液。無臭、澄明又ハ僅カニ帶淡黄色。

【作用】解熱、制汗、食慾亢進、利尿、滲出液吸收、鎮咳、止血(嗜血)。

【適應症】肺結核、肋膜炎、「レウマチス」等。

【用法,用量】毎日又ハ隔日ニ症状ニヨリ1日 20.0—40.0(靜脈内)、腸結核ニハ内服禁忌。

26. 「カンフル」酸「ピラミドン」Pyramidonum dicamphoricum

制汗下熱作用アル白色可溶性粉末。1回 0.5—1.0。

27. 「ズルフオナル」Sulfonalum

【性状】白色稜柱狀、無臭ノ結晶。

【作用】他ノ睡眠劑(「ヴェロナル」、「アダリン」、「プロムラール」、「ルミナル」等)ノ如ク中樞ヲ鎮靜シテ奏効ス。蓄積作用アルタメ連用セザルヲ可トス。吸収緩慢ナリ。

【用法,用量】1回 0.5—1.0 1日 4.0 迄。

28. 「タンノフォルム」Tannoform

【成分,性状】「ファルムアルデヒト」ト「タンニン」酸ノ化合物。淡赤白、水ニ不溶ノ粉末。無味、無臭。

【用法,用量】外用ニハ滑石ニテ倍シ撒布。内用腸收斂劑トシテハ1日 3回 0.25—1.0。

29. 「タウゲン」Taugen (武田)

【成分,性状】海産軟體動物ヨリノ抽出物。「ベタイン」Betain、「タウリン」Taurin、「グリコゲン」Glykogen、少量ノ灰分、比較的少量ノ磷酸ヲ含ム。淡褐色、無臭、佳味、水溶性粉末。

【用法,用量】制汗ニハ1.0ヲ臥床時、連用スルニハ1日 3.0—4.0ヲ強心劑ト伍用、制汗營養作用アリ、濕氣ヲ禁ズ。1錠=0.3。

〔註〕解熱劑、強心劑、「カルチウム」製劑、神經強壯劑ハ止汗劑ト伍シ用ヒラル、コト多シ。

驅蟲劑

Anthelmintica; Wurmmittel;
vermifuges; vermifuges.

驅蟲劑

主トシテ腸管内ノ寄生蟲驅除ニ用フル藥劑。多クハ寄生蟲ヲ迷惑状態ニ陥ラシメ、腸管内棲息ヲ不適當ニスル。

寄生蟲

牛、豚、魚類ナドヲ食スルコトニヨリ多クハ人類ニ寄生シテ來ル。絛蟲 Cestodes, Bandwürmer ハ豚肉ヨリ來ル有鉤絛蟲 *Taenia solium*, 牛肉ヨリ來ル無鉤絛蟲 *Taenia mediocanellata*, 魚類ヨリ來ル裂頭絛蟲 *Bothriocephalus latus* 等ガアル。

圓蟲 Nematodes ニハ蛔蟲 *Ascaris lumbricoides*, 蟯蟲 *Oxyuris vermicularis*, 十二指腸蟲 *Anchylostoma duodenale*, 鞭蟲 *Trichocephalus dispar*, 螺旋狀「トリヒナ」*Trichina spiralis* 等ガ屬スル。

寄生蟲ガ腸ニ寄生スル迄ニハ肺、ソノ他ノ器官ヲ通過スルモノガアルノデ、此等ノ臟器ノ榮養ヲ害シタリ又腸ニ寄生シテカラ後ニ於テモ毒物ヲ排泄シテ貧血ヲ起シ、榮養不良ヲ伴ヒ、下痢ヲ起シタリスル。蟯蟲ノ如キハ夜間肛門、外陰部ニ出テ來テ癢痒感ヲ起サシメルノデ幼兒殊ニ女子デハ不良ノ惡癖ノ原因トナルコトガアル。

驅蟲劑タルノ條件

腸寄生蟲ハ多クハ鉤又ハ吸盤ヲ以テ腸壁ニ固著シテキルノデ蠕動ヲ通常ノ下劑ナドデハ排除ノ目的ヲ達シ得ラレナイ。而シテ驅蟲劑トシテハ少ナクモ (1) 人體ニ對シテ毒性少ナク、吸收作用ノナルベク少キコト (2) 寄生蟲ニ對シテ有毒性タルコト (3) 胃腸症狀ノ少イコトト云フ三條件ニ適セネバナラナイ。

驅蟲劑使用法

(1) 腸内容排泄

先ヅ「ヒマシ」油、「センナ」、硫酸「マグネシア」等ヲ與ヘテ腸内容ヲ排泄シ置カネバラナヌ。酸性ノ強イモノ、食鹽ヲ多量ニ含ム食物、香辛料ヲ與ヘテ寄生蟲ヲ不機嫌ニシテ置クコトモ必要アル。

(2) 驅蟲劑投與

腸内容ノ排泄ヲ待ツテ驅蟲劑ヲ内服セシム。水分ハ多量ニ與ヘタ方ガヨイ。體內水分缺乏ガ起ルト腸ノ吸收機能ガ亢進スルカラ毒物、又驅蟲劑自體ノ吸收モ盛ニナル從ツテ中毒ノ危険モ多クナル。

(3) 緩下劑投與

1—2 時間後ニ緩下劑ヲ與ヘテ驅蟲劑ノ排出ヲ計ルト共ニ器械的ニ寄生蟲ヲ排除スルヤウニ努メル。

1. 「アンテニン」Anthenin (帝國新藥)

【成分】海仁草ノ有効成分。灰褐色、顆粒狀粉末、僅ニ海草臭アリ。

【用法、用量】蛔蟲、蟯蟲、鞭蟲等ノ驅除ニ、成人1回 0.5—1.0 (5—10 錠)、小兒1回 0.3—0.5 (3—5 錠) ヲ緩下劑ト共ニ服用。

2. 「ブトラン」Butolan (Bayer)

【成分】Carbaminsäureester des p-Oxydiphenylmethans.

【性状】無色、無味、無臭、結晶性粉末、腸ニテ分解シ「サントニン」トハ異リ寄生蟲ヲ殺滅スルト云フ (Wurmtöter)。蟯蟲驅除ニ用フ。

【用法、用量】大人1日 3回 0.5 gr 宛、1週間連用。小兒ハ 1/2、乳兒ハ 1/4 錠=0.5 治療後ハ肛門周圍ヲ清潔ニシテ少量ノ白降汞軟膏ヲ塗布スベシ。

3. 四「クロール」炭素 Carboneum tetrachloratum; carbon tetrachloride

【用法】十二指腸蟲、蛔蟲等ノ驅除ニ用フ。1回 2.0—4.0 cc. 吸收サレルト中毒ヲ起ス。「アルコール」、油脂ヲ禁ズ。

〔注意〕遮光、密栓シテ貯フ。

【製品】(1) 「アンキロール」Anchylor (内外新藥)。

(2) 「パラジトール」Parasitol

(3) 四「クロール」炭素 (武田、三共、イシカハ)。

4. 三「クロロフォルム」Chloroform

【用法、用量】絛蟲ヲ麻痺セシムルガ、奏效ハ確實デナイ。時ニ奏效スルト云フ。1回 5—10 滴ヲ空腹時内服。

5. 石榴皮 Cortex Granati

【性状】Punica Granatum ノ幹枝及根皮ヲ剝離乾燥ス。有効成分 Pelletierin, Pelletierin ハ榴根皮中ニテハ鞣酸化合物トナリ存スルカラ腸ヨリ吸收サレナイ。吸收サレルト反射機亢進強直發作ヲ起シ後ニ麻痺セシム。

【用法、用量】絛蟲驅除ニ 1回 30.0—50.0 ヲ用フ。古イモノナラバ 50.0—100.0 ヲ冷浸煮劑トシテ用フ。前日下劑 (硫苦) ヲ與ヘテ置キ、上記量ヲ 300 ノ水ニ冷浸後煮沸、濾液 150—200 ニナレバ 1 時間内ニ服用ス。Pelletierin ハ油ニ溶解スルカラ「ヒマシ」油ハ用ヒナイ方ガヨイ。

【處方例】石榴皮 30.0—50.0

水 30.0—40.0

上記 24 時間浸漬、後煮沸濾液 20.0 トナル迄、1 時間内ニ服用。1—3 時間後硫苦 15 服用。

6. 海仁草 (海人草, 鷓鴣菜) *Digenia simplex*

【性状】 紅色藻ヲ乾燥ス, 暗褐色。

【用法, 用量】 蛔蟲驅除ニ 1 日 10.0—30.0 ヲ煎劑トシ又「センナ」等ト伍用ス。俗ニまくりト云ヒ有効成分ハ「マクニン」デアル。

- 〔註〕 (1) 「ヂゲニン」Digenin (武田) ハ 1 日 4.0—8.0 (水, 散) 海仁草ノ有効成分。
 (2) 「ヂゲラキシン」Digelaxin (鹽野義) 1 日 12 錠。海仁草中ノ有効成分, 「サントニン」及下劑ヨリナル。
 (3) 「ヂゲルミン」Digelmin (三共) 大人 1 日 40—50 粒ヲ 2—3 回空腹時分服。
 (4) 「ノキマルコニン」Neu-Marukonin (マルコ) 1 回 0.7—2.0 又 2 錠宛 1 日 3—4 回
 (5) 「マクニン」Macnin (藤澤) 大人 1 回 1.0—2.0 (液), 0.7—1.5 (粉末) 又 3—6 錠

7. 「ヨード」蒼鉛「エメチン」*Emetine bismuthjodide*

【成分】 「エメチン」約 17—23%, 蒼鉛約 15—20% ヲ含ム。香氣ナキ淡黄赤色粉末。腸ニテ分解, 「エメチン」ヲ遊離ス。

【用法, 用量】 1 回 0.05; 1 日 3 回服用 (「アミーバ」赤痢) 1 丸 = 0.015。諸種ノ製劑アリ (三共, フタバ等)。

8. 鹽酸「エメチン」*Emetinum hydrochloricum*

【性状】 白色結晶性粉末, 水溶性。

【用法, 用量】 「アミーバ」赤痢, 肺, 肝臓ノ二口蟲ニ注射ス。1 日 1—2 回 (皮下, 筋肉, 靜脈), 1 回 0.02—0.05 1 日 0.15。皮下注射ノ極量 1 回 0.05。

9. 「コソ」花 *Flores Koso*

【性状】 *Hagenia abessinica* (薔薇科植物) ノ花ヲ乾燥。新シイモノノ方が確効アリ。有効成分 *Kosotoxin*。

【適應症】 線蟲驅除。

【用法, 用量】 1 回 15.0—20.0 ヲ「オブラート」ニ包ミ空腹時服用。場合ニヨリ 2—3 回ニ分服ス。下痢ヲ起サセルカラ下劑ハ與ヘナクテヨイ。倍量ノ蜂蜜ヲ以テ餌劑トシテ服用シテモヨイ。

10. 「ヘルミナル」*Helminal* (Merck) (武田)

【性状】 *Rhodomelaceae* 屬ノ海仁草 *Digenia* ヨリ抽出セル褐色「エキス」, 苦味アリ。

【用法, 用量】 蛔蟲驅除ニ小兒ノ年齢ニ應ジ 1 日 3 回 2—3 錠宛。1 錠 = 0.25。大人ハ適當ニ増量。幼兒ハ「ジヤム」, 粥, ナドニテ服用。「ヒマシ」油ソノ他ノ下劑ヲ用フベシ。

11. 同「カマラ」*Kamala*

【性状】 *Mallotus philippinensis*, *Rottlera tinctoria* ノ果實ノ表皮ニ發生セル毛茸 *hairs* ト腺 *capsular glands* ヲ採取乾燥セル赤色粉末。有効成分 *Rottlerin*。

【適應症】 線蟲驅除。

【用法, 用量】 1 回 5.0; 1 日 5.0—10.0—15.0

夕方下劑ヲ與ヘ翌朝 5.0 ヲ服用。1/2—1 時間後再ビ 5.0 ヲ服用。

瀉下作用ガアルカラ下劑ヲ投與シナクテヨイ。

12. 同「ナフタリン」*Naphthalinum*

【性状】 白色, 水ニ不溶ノ葉狀又稜柱狀結晶。

【用法, 用量】 (1) 「チモール」ト伍用ス。1 回 0.5—1.0 小兒ノ蟻蟲驅除ニハ 1 年以下 0.03—0.05, 2 年迄 0.1—0.2, 3 年迄 0.2—0.3, 5 年迄 0.3—0.5 ヲ與フ。又ハ灰白軟膏 (1; 10—20) トシテ肛門周圍ニ外用。

(2) 1 回 0.01—1.0 ヲ 1 日數回, 1 日 5.0 ニ至ル迄「カプセル」ニ入レ服用。

(3) 灌腸ニハ 1—5; 100, 洗滌水 1—5; 100。

13. 「ヘノボヂウム」油 *Oleum Chenopodii*

【有効成分】 米國産ノ草木ヨリ得ラルル *Ascaridol*。蛔蟲, 十二指腸蟲等ノ圓蟲類ヲ麻痺ス。吸收サレルト赤血球ヲ破壊シ, 黄疸ヲ起シ, 時ニハ昏睡, 呼吸麻痺ナドヲ起ス。

聽覺障礙ハ内耳ノ侵カサレルニヨル。

【用法, 用量】 蛔蟲, 十二指腸蟲ノ驅除ニ 1 回 10—20 滴ヲ毎 2 時間, 3 回内服セシメテ後ニ下劑ヲ與フ。前處置トシテ「センナ」, 「ヒマシ」油等ヲ與ヘオクコト。

〔註〕 「ネマトール」*Nematol* (三共) ハ販賣名, 1 回 20—30 滴 (0.67—1.0 gr)

14. 「パパイン」*Papain*

【成分】 蕃瓜樹 *Carica Papaya* ノ果實中ニ存スル蛋白消化素。

【作用】 線蟲, 十二指腸蟲等ハ外皮ガ弱イタメ, 傷害ヲ受ケ時ニ腸外ニ排泄サル。

【用法, 用量】 1 回 1.0 ヲ數回投與。奏効スル迄。

〔註〕 同様ノ意味ニ用フル藥劑ノ椰子 *Cocus nucifera* ノ未熟種液 (椰子乳) 及ビ「カリカ, ケエルシフオリア」*Carica quercifolia* ノ綠果ノ乳汁液等アリ。孰レモ奏効ハ期待サレナイ。

15. 吐根末 *Pulvis Radicis Ipecacuanhae*

【用法, 用量】 「アミーバ」赤痢, 住血吸蟲症ニ 1 日 0.3—1.0 ヲ阿片「チンキ」ト共ニ丸又散 1 劑トシテ内服。

16. 綿馬根 *Radix Filicis*

【性状】 *Aspidium Filix mas* ノ根莖。殆ンド無臭, ヤ、甘ク, 少シ收斂性。

有効成分ハ *Filixsäure* デアツテ無脊椎動物ノ滑平筋ヲ麻痺スル。

水ニ不溶デアルタメ吸收サレ難イガ, 吸收サレルト中毒ヲ起

ス(主ニ視覚障碍)。又油ニ溶ケルカラ「ヒマシ」油ヲ用ヒヌ方
ガヨイ。

【用法,用量】 絛蟲特ニ裂頭絛蟲驅除ニ用フ, 綿馬「エキス」ハ1回5.0—
8.0—10.0 綿馬根ハ30—50.0 ヲ細末トナシ用フルコトアルモ
不便ナルタメ多ク用ヒラズ。

「フィルマロン」Filmarn (Böhringer) ハ1回0.5—0.7
ヲ用フ, 綿馬根ノ「エーテルエキス」ヲ10%「ヒマシ」油溶
液トシタモノデアル。

「フィルマロン」油ハ1回10.0 ヲ内用, 「モンナ」, 硫苦等ヲ
1—2 時間後ニ服用サセル。

17. ㊦「サントニン」Santonin

【成分】 「シナ」花ノ有効成分。

【作用】 胃, 肛門ヨリ吸収サレ体内ニ酸化サレテ Santogenin トナリ
腸管内ニ排泄サレテ 蛔蟲, 腸「トリヒナ」, 蟻蟲, 鞭蟲等ノ圓
蟲ニ作用シテソノ運動ヲ麻痺セシムル。

【副作用】 黃視症, 痙攣, 眩暈, 下痢等。物體ガ紫色ニ見ヘテ後黃視症
ヲ呈ス。「サントゲン」尿ハ黃色ヲ呈シ, 之ハ「アルカリ」ヲ
加フレバ赤色トナル。

【用法,用量】 1回0.05—0.1; 1日0.05—0.1—0.2。1日量ヲ2—3日
連用。坐藥, 注腸用ニモ併ス。

【處方例】 「サントニン」 0.1
「ラキサトール」 0.2
上記1日3回空腹時分服。

【製劑】 (1) 「ドラスミン」Drasmin, santoninsaures Natrium
(鹽野義) 大人10%液1—2ccヲ1日1—2回注射
(皮下, 靜脈, 臀筋内)。

(2) 「サントゾール」Santosol (日本新藥)「ドラスミン」ニ
凡テ同ジ。

18. 「スチブナール」Stibnal (萬有)

【成分】 Natrium-stibiotartarat ノ食鹽水溶液。水ニ可溶。潮解性アリ。

【適應症】 住血吸蟲, 「カラアラザール」等。

【禁忌】 重症心臟病。

【用法,用量】 第1回1號(0.30)
第2回2號(0.45)
第3回3號(0.60)
第4回4號(0.75)

以上再ビ1號ヨリ初メテ總量7.5ヲ用フ。婦人, 小兒ハ適
宜減ズ。(靜脈内注射) 溶液ハ粉末0.15(1錠)ヲ蒸餾水10cc
ニ溶解シ2分間煮沸滅菌ス。

19. 「チモール」Thymolum, Methylisopropylphenol

【性状】 白色結晶, 水ニ不溶。

本劑ハ直接寄生蟲ニ作用シテ驅蟲作用ヲ呈スル。十二指腸虫

絛蟲驅除ニ用フ。

【用法,用量】 1回2.0—4.0 ヲ「カプセル」ニ入レテ1時間内ニ2回
ニ分服。1回6.0—12.0 ヲ服用セシムルコトアリ。「ナフタリ
ン」1.0—2.0, 「ネマトール」ト伍用スルコトアリ。

【注意】 「アルコール」, 油ニ溶解スルカラ赤酒ヲ避ケ又「ヒマシ」油モ
與ヘズ。尿ガ暗褐色トナルコトアルモ危険ナシ。頭痛, 眩暈,
蛋白尿等ヲ起スコトアリ。

變質劑

Alterantia.

變質劑

生體ノ同化, 異化ニ變化ヲ與ヘテ病的ノ產物及ビ組織ノ吸收ヲ促シ,
健全ナル細胞又組織ノ發生ヲ促ス藥劑。

「カルチウム」, 「ヨード」, 水銀, 砒素, 磷等ハ之ニ屬スル。古來ヨリ
慢性ノ消耗性疾患ニ用ヒラル。例ヘバ結核ニ「カルチウム」, 「ヨード」
劑ヲ用ヒ, 微毒ニ「ヨードカリ」ヲ内服セシムル如キデアル。

以下「カルチウム」, 「ヨード」劑ニ就キ述ベルコトトスル(磷, 砒素
劑ハ強壯劑ノ項參照)。

(A) 「ヨード」劑

「ヨード」劑ノ作用

新陳代謝ニ影響シテ炎症產物其他ノ病的產物ノ吸收ヲ促シ, 「コロイ
ド」ノ液化吸收, 乳汁分泌減少等ノ作用ヲ有スル。

連用スレバ中毒ヲ發スル。即鼻粘膜ノ充血, 分泌増加(「ヨード」鼻
「カタル」) 流涙, 氣道「カタル」, 胃症(食思缺損, 胃痛) 丘疹, 所謂
「ヨード」座瘡等ヲ發スル(Jodismus)。

1. 「イクイヨヂン」Equijodin, Calcium monojod- behenate (三共)

【性状】 邦製「サヨヂン」, 「ヨード」25%, 「カルチウム」4.1%ヲ含ム。

【用法,用量】 1回1.0—3.0ヲ食後1時間, 3回ニ分服。

2. 「ヨードカルチウム」Injectio calcii jodati

【成分】 「ヨード」ヲ1%, 2%, 3%, 5%ヲ含ム。各社製品アリ。

【適應症】 結核, 肺炎, 肋膜炎, 腹膜炎, 微毒, 喘息, 「ロイマチス」, 翠
丸炎, 子宮内膜炎, 蕁麻疹, 腺病質等。

【用法,用量】 通常5—20ccヲ毎日又隔日ニ靜脈内注射。3%ナラバ
1.0—5.0ccヲ皮下又靜脈内注射。

3. 「ヨードアルバチッド」Jodalbacid (Bayer)

【性状】 10%ノ「ヨード」ヲ含ム。「ヨード」蛋白劑。帶黃白色粉末。
水ニ溶解ス。体内ニテ徐々ニ「ヨード」ヲ抽出ス。

【適應症】「ヨード」劑一般使用時ニ用フ。

【用法,用量】1日3—6回1.0gヲ散劑トシ「オブラート」ニ包ミ與フ。

4. 「ヨダルビン」Jodalbin (Parke Davis) (三共)

【成分】「ヨード」ト蛋白質ノ抱合物。無味、類赤色粉末。「ヨード」約22%ヲ含ム。

【適用】「ヨード」適應症ノ總テニ用フ。

【用法,用量】1回0.3ヲ1日3回。

5. 「ヨヂピン」Jodipin (Merck)

【性状】「ヨード」胡麻油又「ヨード」扁桃油ニシテ黄色油狀液。10%ト。25%トアリ。7.7ハ「ヨードカリ」1.0ニ相當ス。

【作用】内服後10—15分ニシテ唾液、鼻汁中ニ證明サル。胃デハ變化ヲ受ケズ。腸ニテ吸收サレ、組織ニテ「ヨード」ヲ遊離シ作用ス。

【適應症】微毒、肺氣腫、喘息、動脈硬化症等。

【用法,用量】

- (1) 内用ニハ10%ヲ1日3回、1回3—4gヲ「カプセル」劑又ハ「メンタ」油ヲ加ヘ或ハ牛乳等ト混和使ス。
- (2) 皮下注射ハ10—20cc (25%)ヲ1日1回行ヒ10回後一時休止シテ反覆ス。

6. 「ヨヂヴァール」Jodival (Knoll)

【成分】Monojod-isovaleryl-harnstoff.

【性状】白色結晶性、微ニ甘草臭ヲ有シ冷水ニハ不溶。特ニ神經組織ニ親和ス。

【適應症】神經藥トシテ神經痛、「ロイマチス」、痛風、喘息、神經微毒、肺氣腫等。

【用法,用量】1回0.3 (1錠)ヲ1日3—4回。

7. 「ヨドール」Jodol, Tetrajodpyrol (Kalle)

【性状】微細黄褐色粉末。無味無臭。「ヨード」89%ヲ含ム。

【適應症】外用ニハ「ヨードホルム」ノ代用品トス。内用ニハ微毒、甲状腺腫、狭心症、「ロイマチス」等ニ用フ。

【用法,用量】

- (1) 1回0.2gヲ1日3回内用ス。
- (2) 粉劑、丸劑、坐藥等ニ混和外用ス。

8. 「ヨードスタリン」Jodostarin, Taririnsäuredijodid (Roche)

【性状】無色無味鱗狀結晶。「ヨード」47.5%ヲ含ム。「アルカリ」性腸液ニ遭ヒ初メテ吸收サル。

【適應症】心臟及血管諸症 (冠狀動脈硬化症、狭心症、不整脈等)、氣管支喘息、肺氣腫、微毒、鉛中毒等。

【用法,用量】「ヨードカリ」ニ同ジ。1日1—3回; 1—2錠宛。

9. 「ヨードチリン」Jodothyron (Bayer)

【性状】無臭、白色ノ粉末。本品1.0gハ「ヨード」0.3mgヲ含ム。機器製「ヨード」劑。

【適應症】脂肪過多、バセドウ氏病、甲状腺腫、動脈硬化症等。

【用法,用量】1日1—5錠ヨリ徐々ニ増量。

甲状腺劑服用中ハホーレル水又エラルソンノ如キ砒素劑ヲ與ヘテ中毒ヲ防グ。

10. 「ヨチオン」Jothion, Dijodhydrooxypropan (Bayer)

【性状】黄色「シロツブ」様液。「ヨード」ヲ80%含ム。外用「ヨード」劑。表皮ヨリ50%ハ吸收サルト云フ。「ヨードチンキ」、「ヨードカリ」軟膏、「ヨードワヅリメン」等ノ代用品タリ。

【適應症】第三期微毒、關節炎、動脈硬化症、骨髓骨膜炎、淋巴腺炎、肺氣腫等。

【用法,用量】普通10%軟膏、「ワセリンオレーフ」油、「グリセリン」溶液トナシ1日2回皮膚ニ5—10ヲ塗擦。

11. 「ヨードカリ」Kalium jodatatum

【性状】白色可溶性結晶。99.7%以上ノ純「ヨードカリ」ヲ含ミ「ヨード」ノミノ含有量76.5%。

【作用】鹽類作用、新陳代謝作用 (病的產物吸收)。

【適應症】微毒、動脈硬化症、喘息、氣管支「カタル」、腺病質等。

【用法,用量】

- (1) 1日數回0.1—0.5ヲ水、散、錠及丸劑トシテ内用。
- (2) 外用ニハ吸入水 (1—3; 100)、局部溶水 (5.0—10.0; 100.0); 注入水 (1.0—5.0; 100) 灌腸水 (1.0—5.0; 100)。
- (3) 胃症ヲ避ケルニハ多量ノ重曹ヲ伍用シ食後ニ與フ。
- (4) 「ヨード」劑服用後ノ數日間ハ水銀劑 (甘汞等)ノ外用ヲ禁ズ。即「ヨード」水銀ヲ形成シテ局部ヲ腐蝕スルカラデアル。
- (5) 腎病者デハ「ヨード」ノ排泄ガ遅クレルカラ用ヒヌ方ガヨイ。重症心臟病ヤバセドウ氏病ニハ禁忌デアル。ルゴール液ヲバセドウ氏病ニ用ヒルコトモアル。

12. 「リポヨヂン」Lipojodin, Dijodbrassidinsäureäthylester (Ciba) (武田)

【性状】白色無味無臭、針狀結晶。水ニ不溶、脂、「リポイド」ニ溶解ス。「ヨード」41%ヲ含ム。

【作用】徐々ニ吸收サレテ70—120時間後ニ排泄サレル。神經組織及「リポイド」ニ對スル親和力 (Neurotropie, Lipotropie) 著明ナリ。

【適應症】「ヨードカリ」ニ準ズ (微毒、慢性皮膚病、動脈硬化、喘息等)。

【用法,用量】1回1錠ヲ1日3回毎食後服用。

連用ニハ 1 回 1—2 錠ヲ隔日ニ與ヘ、20 日間連用シタル後約 10 日休業ス。

13. ㊦「ヨードナトリウム」Natrium jodatum

【性状】白色結晶性粉末。濕氣ヲ引キ易イ。

【用法、用量】「ヨードカリ」ニ準ズル。

14. 「サヨヂン」Sajodin, Calcium monojodbehencum (Höchst)

【性状】白色無味無臭ノ粉末。水、「アルコール」ニ不溶。25% ノ「ヨード」ト 4.1% ノ「カルチウム」ヲ含ミ、日光ニ會ヘバ僅ニ黃色トナル。服用容易、「ヨードカリ」ヨリ胃症ヲ起スコト少ナク、腸ヨリノ吸収ハ容易デアル。「ヨードカリ」ノ代用有機性「ヨード」劑。

【適應症】「ヨードカリ」ニ準ズル。

【用法、用量】1 日 1.0 ヲ 2—4 回 食後 30—60 分ニ分服。1 錠=0.5。

〔註〕(1) 鐵「サヨジン」Eisensajodin (Höchst) ハ 5.6% ノ鐵、25% ノ「ヨード」ヲ含ム。大人 1 日 2—3 錠。

(2) 「サヨヂン」ニハ三共製品アリ。即「イクイヂン」ハ 26% ノ「ヨード」ヲ含ミ 1 回 1.0—3.0 ヲ 1 日 3 回毎食後與フ。コノ邦製「サヨヂン」ハ「ヨード」中毒ヲ起サズト。

B. 「カルチウム」劑

「カルチウム」ハ各細胞ノ定規成分デアツテ、細胞ノ生活ニ必須ノモノデアル。之ヲ缺如スルト成長ハ障碍サレ、毒作用ニ對スル神經ノ感受性ヲ昂メル。摘出臟器ハ養液中ニ食鹽、「カリウム」鹽ノ外ニ「カルチウム」鹽ヲ缺クトキハ其ノ機能ヲ繼續セシメル事が出來ナイ。

多量ノ「カルチウム」ハ滲出機轉ヲ妨ゲ炎症ヲ消退シ血液凝固性ヲ促シ、又血管ノ滲透性ヲ減ズル。「デギタリス」ト伍用スレバ強心作用ヲ補フ。「カルチウム」其物ニモ強心作用ガアルト云フ。「カルチウム」鹽ノ多クハ水ニ不溶デアルカラ腸壁ヲ收斂スルモノガ多イ。

1. ㊦石灰水 Aqua Calcariae s. Calcis

【性状】石灰ノ飽和液ニシテ 1 立中ニ約 1.31 ノ石灰ヲ含有ス。澄明無色ノ液、強「アルカリ」性。

【作用】制酸、制瀉、收斂。

【用法、用量】

- (1) 制瀉劑トシテ 50—100 ヲ 1 日數回分服牛乳ニ混ジ與フ。
- (2) 小兒ノ消化不良、下痢、異常酸酵ニ 1 小兒匙宛 3 回。
- (3) 佝僂病ニ 2.5—10.0 ヲ内服。

2. ㊦沈降炭酸石灰 Calcium carbonicum praecipitatum

【性状】白色、水ニ不溶ノ粉末。

【適應症】(1) 制酸、收斂劑トシテ 1 回 0.5—1.0; 1 日 1.5—2.0 ヲ慢性下痢、酸中毒、胃液分泌過多等ニ散劑、振盪合劑トシテ與フ。

(2) 外用ニハ齒粉トス。

3. ㊦鹽化「カルチウム」Calcium chloratum

【性状】無色ノ結晶、又白色結晶性粉末。引濕性、水ニ可溶。

【適應症】腺病質、出血症、氣管支喘息、蕁麻疹、「テタニー」、肋膜炎等ニ止血、滲出抑制、鎮痙劑トシテ與フ。

【用法、用量】

(1) 1 回 0.5—1.0; 1 日 1.5—4.0 内服。

(2) 糊帶水 (4—5%), 點眼水 (0.1—1.0%)。

【處方例】

- (1) 鹽化「カルシウム」5.0, 苦味「チンキ」2.0, 「シロツブ」8.0, 水 100.0 ヲ 1 日量トナス。
- (2) 鹽化「カルシウム」10.0, 水 500.0 ヲ 1 日 3 回 1 茶匙宛。

4. ㊦「グリセリン」磷酸石灰 Calcium glycerophosphoricum

【性状】白色水溶性粉末。

【適應症】神經強壯藥、肺結核、腺病質。

【用法、用量】1 回 0.2—0.4; 1 日 0.6—1.5 ヲ水又散劑トシテ與フ。

5. 次亞磷酸石灰 Calcium hypophosphorosum

【性状】白色結晶性粉末又無色透明板狀結晶。七分ノ水ニ可溶。

【適應症】結核、貧血、腺病、佝僂病等。内服スレバソノマ、尿中ニ排泄サレ、尿中ノ尿素及磷酸量ガ増スカラ蛋白分解ヲ促スモノラシイト云フ。

【用法、用量】1 回 0.1—0.5; 1 日 0.5—1.0 (散、水)。

6. ㊦乳酸石灰 Calcium lacticum

【性状】無色針狀結晶又白色粉末。

【適應症】出血性素因、滲出性體質、喘息、結核、蕁麻疹、多汗症、肋膜炎等。

【用法、用量】

(1) 1 回 0.5—1.0; 1 日 2.0—10.0 (水、散、錠) 屢々鐵、磷劑ト伍ス。

(2) 浴療 30—100.0。

7. ㊦沈降磷酸石灰 Calcium phosphoricum praecipitatum

【性状】白色輕粉、水ニ不溶。

【適應症】結核、腺病質、佝僂病、貧血。

【用法、用量】1 回 0.5—1.0; 1 日 1.5—2.0 ヲ散、丸、又錠劑トシテ内服。

8. 含糖石灰 Calcaria saccharata

- 【性状】 無色ノ塊、水溶性、「シロップ」ニ可溶。
 【作用】 制酸劑トシテ又「クレゾール」、萘酸中毒ニ用フ。
 【處方】 含糖石灰 5.0
 「シロップ」 100.0
 上記毎 10—15 分、1 食匙宛。

9. 「カルチウム・サンド」 Calcium (Sandoz) (鹽野義)

- 【成分】 「グルコン」酸「カルチウム」calcium salt of gluconic acid ノ 10% 滅菌水溶液、石灰 9.3% ヲ含ミ酸化「カルチウム」トシテ 13% ニ相當ス。
 【作用】 「グルコン」酸「カルチウム」ハ葡萄糖ノ酸化生成物ニシテ有機體内ニ分解サレ、解離セル「カルチウム」ノ蓄積ヲ順境ニ導ク。胃腸ヲ害セズニ體内ニ吸収サレ血中ノ石灰含有量 Blutkalkgehalt (Blutkalkspiegel) ヲ増量ス。
 【適應症】 石灰缺乏(「テタニー」、妊娠、授乳期、骨折等)、植物性神經障礙、(喘息、偏頭痛、粘液疝痛等)、血清病、蕁麻疹、クイケン氏浮腫、出血(胃腸出血、咯血、子宮出血等)、肋膜炎、氣管支炎、「アングナ」、肺炎、子宮附屬器炎、副睪丸炎、手術後ノ肺炎豫防等。

【用法、用量】

- (1) 大人毎 2—3 日ニ 10 cc ヲ筋肉内又靜脈内。
 (2) 小人ハ毎 2—3 日ニ 2—5 cc ヲ筋肉内又靜脈内。
 (3) 内服ハ 1 日 1.5—2.0 (末)錠劑、沸騰錠アリ、注射器ハ「アルコール」ニテ消毒セザルコト、(沈澱ス)

【註】 同一邦製品アリ。「カルチコール」Calcicol、「カリザニン」Kalysanin (鹽野義)、「サンカール」Sancal (三共)、「グリカール」Glycal (大木)、「カルコーゼ」Calcese (藤澤)等。

滋養製劑

Nutrientia; Nährpräparate.

滋養劑

胃腸ヲ勞セズニ消化、吸収ノ容易デアツテ營養價ノ豐富ナル藥劑。

健康者ニハ滋養劑ハ適シテキナイ。健康者デハ消化機能が完全デアラカラ、消化、吸収ノ難易ヲ考ヘナクテモヨイカラデアラル。却ツテ消化ノ餘リヨクナイ食物ヲ攝リ其ノ残渣ヲ腸ノ蠕動ヲ起サシメ便通ヲ整調ナラシメ得ルカラデアラル。

適應

病後恢復期、消化器病、消耗性疾患、熱性病、虛弱者、腺病質等。

種類

- I 蛋白質—「カゼイン」、*「ペプトン」*、肉「エキス」等。
 II 含水炭素劑—*「麦芽」*「エキス」; 果糖等。
 III 脂肪劑—*「肝油」*。
 IV 複合滋養劑—*「ヒギアマ」*、小兒粉。
 V 「*ビタミン*」劑—之ハ熱量ヲ發セズ。

蛋白質

1. 肉製劑

1. *「ワーレントイン」*肉液 Valentine's meat juice.
 蛋白 2.0—4.0% ヲ含ム。1 回 1 茶匙、1 日 1.50—30.0 ヲ 10 倍ノ温湯ニ混ジ服用。
 2. *「リービツヒ氏肉」*「エキス」Liebig's Fleischextrakt.
 蛋白 20%、肉「エキス」38.2% ヲ含ム。1 日 15—30.0 ヲ 温湯ニテ稀釋服用。
 3. 「*オキソ*」Oxo (乾卵)。
 肉蛋白、「*ペプトン*」、「*ファイブリン*」、等ヲ多量ニ含ム。適量ヲ温湯ニ溶解服用。牛乳、重湯ト併用可。
 4. 「*カルニン*」Carnine (鳥居)。
 新鮮生牛肉ヨリ得。1 日 大人 15—30 gr、小人 5—15 gr。
 5. 新鮮肉汁 Succus carnis recens.
 蛋白 6—7% ヲ含ム。1 回 1 食匙ヲ糖水、「*コンニヤツク*」ト共ニ服用。消化機能ヲ充進又シ食慾ヲ促ス。
 6. 「*ボビナイン*」Bovine.
 牛肉抽出液。1 回 5.0—10.0 ヲ 1 日 3 回。
 7. 「*ナーロール*」Nahrol (三共)。
 牛血ヨリ製セル「エキス」ニ「*チヨコレート*」衣ヲ附ス。1 日 3 回 2 球宛。
 8. 「*プーロー*」Puro.
 蛋白質 3.35%、肉「エキス」19.1% ヲ含ム。1 回 1 茶匙ヲ 1 日 3 回他ノ飲料ト共ニ服用。
 9. 「*ソマトーゼ*」Somatose (Bayer)
 肉蛋白ヨリ製セル「*アルブモーゼ*」、「*ペプトン*」劑。蛋白 81.5% ヲ含ム。1 回 10.0—15.0; 1 日 30.0—40.0。
 10. 「*ビーフ・ジェリー*」Beef Jelly.
 Pine apple ノ果汁中ノ消化酵素ニヨリ溶出セル牛肉「エキス」1 回 1/2—1 茶匙 (2.0—3.0) ヲ熱湯ニ入レ食鹽ヲ入レ服用。
 11. 「*ボビナイン*」Bovine (友田)。
 牛肉ノ「エキス」。1 回 大人 3—5 g ヲ漸次増量 1—10 gr ニ至リ牛乳又ハ水ヲ以テ稀釋服用。熱湯、「*アルコール*」性飲料ト服用セズ。
 12. 「*リバ*」Riba.
 魚蛋白ヨリノ「*アルブモーゼ*」劑。78% ノ「*アルブモーゼ*」ヲ含ム。1 回 15—30.0; 1 日 40.0—100.0 ヲ牛乳、「*コーヒー*」、茶、赤酒ト共ニ與フ。

13. 「トロポン」 Tropon.
動物性蛋白 1, 植物性蛋白 2 ヨリナル肉「エキス」劑。蛋白 83—93% ヲ「エキス」0.1—0.8% ヲ含ム。1 回 20.0—30.0; 1 日 40.0—150.0 ヲ「スープ」, 牛乳, 「コーヒー」ト併用ス。
14. 鐵「トロポン」 Eisentropon.
「トロポン」50%, 有機鐵 2.5% ヲ含ム。1 日 10.0—15.0。「トロポン」劑ハ高價ナル。
15. 「ポリタミン」 Polytamin (武田).
動物蛋白質ヲ酵素ニテ消化サセタル「アミノ」酸劑(「トリプトファン」, 「チスチン」, 「チロジン」, 「リジン」, 「ヒスチジン」, 「アルギニン」等ヲ含ム) 末ヲ 1 回 1 茶匙 1 日 3—4 回。「コーヒー」, 「サイダー」, 「スープ」等ニ和シ服用。
- 1) 「ポリタミン」錠 Polytamin Tabletten.
純「ポリタミン」ニ乳酸石灰ヲ配ス。1 回 4—5 錠; 1 日 3—4 回。
 - 2) 液狀「ポリタミン」 Polytamin liquid.
末ヲ溶液トス。大人 1 回 5—10 gr ヲ 1 日 3—4 回, 原液ノマ、カ又ハ「サイダー」, 「シトロン」, 「コーヒー」, 牛乳等ニテ服用。
 - 3) 「ヨードポリタミン」 Jod-Polytamin.
純「ポリタミン」液ニ「ヨード」0.5% ヲ配ス。用液ハ液狀ニ同ジ。
 - 4) 「グワヤコール・ポリタミン」 Guajacol-Polytamin.
純「ポリタミン」液ニ「グワヤコール・ズルホン」酸「カリ」2% ヲ配ス。用量ハ(2)ニ同ジ。
 - 5) 「アルゼン・ポリタミン」 Arsen-Polytamin.
純「ポリタミン」液ニ「メチルアルジン」酸「ソーダ」0.01% ヲ配ス。用量ハ(2)ニ同ジ。
 - 6) 「キナ・ポリタミン」 Qurina-Polytamin.
純「ポリタミン」ニ「キナ」皮 3% ヲ配ス。用量大人 1 回 5—10 gr ヲ 1 日 3—4 回。

2. 牛乳製劑

1. 蛋白乳 Eiweissmilch.
牛乳 1 立ニ「ペグニン」又凝乳素 1 食匙ヲ加ヘ 45°C, 30 分加熱後, 濾過シテ凝固脂肪ヲ除キ, 濾過ニ用ヒタ布ニ殘ル「カゼイン」, 脂肪塊ヲ細目ノ篩ニテ細粉トシ, 之ニ酪乳 500 cc ヲ加ヘ, 更ニ水 500 cc 又滋養糖 2—3% ヲ加ヘ攪拌煮沸シテ得タル乳汁。
蛋白 3%, 脂肪 2.5%, 乳糖 1.5%, 鹽類 0.5% ヲ含ム。
2. 「ラロサン」 Larosan (Roche)
「カゼイン」, 「カルチウム」ノ合劑。少量ノ冷牛乳ニ本劑 20 g ヲ入レ混和, 500 cc ノ煮沸牛乳中ニ入レ 5 分間攪拌, 湯又ハ重湯ヲ加ヘテ 1 立トナス。(「ラロサン」, 乳) 乳兒, 小兒ノ榮養障礙, 下痢ニ用フ。蛋白乳代用品。
3. 乾酪 Käse.

- 牛乳ニ凝固酵素ヲ加ヘ, 「カゼイン」ヲ凝固セシメタルモノ。
4. 乳清 Serum lactis, (Molke).
消化障礙ニ用フル乾酪凝固後ノ殘液。
 5. 「ヨーグルト」 Joghurt.
乳酸菌ヲ加ヘテ得ル消化障礙ニ用フル乳酸。
 6. 「ガラクトサン」 Galactosan (和光堂).
「カゼイン」ト「カルチウム」ノ抱合體。小兒消化不良, 榮養障礙ニ用フ。症狀ニヨリ 2—5% ヲ水, 脱脂乳, 全乳ニ溶解服用。
 7. エデルワイス牛酪乳 Edelweiss Buttermilk (Edelweiß) (三共).
アルプス山麓産牛酪乳乾燥末。17 g ヲ水 200 ニ溶解シ全牛酪乳ヲ製シテ服用。
 - 1) エデルワイス全乳粉 Edelweiss-Milk (Edelweiss) (三共).
新鮮「アルプス」乳ヲ粉狀化ス。31 ヲ冷水又温湯ニ溶カシ全量 250 cc トスレバ「アルプス」乳ヲ得。
 - 2) 「ウルトラクチナ」 Ultractina (Edelweiss) (三共).
1) ニ紫外線ヲ照射ス。6 茶匙 (12 g) ヲ少量ノ水ニテヨク捏ネ糊狀トナシ, 水ヲ加ヘテ 100 g トスレバ「ウルトラクチナ」乳ヲ得。

3. 卵蛋白製劑

1. 「レチトール」 Lecithol, Ovocithin purrum.
凡テ「オボレチチン」ニ同ジ。
2. ハイデン養素 Nährstoff Heyden.
鶏卵ヨリノ「アルブモーゼ」劑。含有蛋白質 85, 31% 1 回 4; 1 日 10—20 ヲ牛乳, 「スープ」, 「ココア」ニ混ジ用フ。
3. 「オバルチン」 Ovaltine „Wander“
鶏卵, 「クリーム」, 麥芽「エキス」, 「ココア」ヲ原料トス。温牛乳又ハ温湯中ニ 5—10 g ヲ溶解, 少量ノ砂糖ヲ加ヘ服用。
4. 「オボレチチン」 Ovo-Lecithin.
「レチチン」ハ燐ノ有機化合物。中樞神經ニ多量含有サル。乾燥卵黃中ニハ 17% 含有ス。成長, 造血ニ必要ナル養素ナル。1 回 0.1—0.5; 1 日 0.3—1.0。

4. 植物性蛋白劑

1. 「アロイロナート」 Aleuronat,
小麥蛋白劑。不溶。蛋白 84%, 「レチチン」1% ヲ含ム胃腸, 神經疾患ニ用フ。
2. 「グリデイン」 Glidin.
小麥蛋白劑。蛋白 81%, 「レチチン」1% ヲ含ム。單味又「ココア」ニ和シ用フ。1 日 25—40.0。
3. 「レグモン」 Legumon.
大豆蛋白劑。可溶。少量ノ水ニ溶解シテ後「ミルク」, 「スー

プ、重湯等ニ伍シテ服用。

含水炭素製劑

「デアスターゼ」ニヨリ澱粉ヨリ糊精及葡萄糖ヲ得テ消化シ易クシタモノが多い。牛乳ト混用シ蛋白、脂肪ノ不足ヲ補ハネバナラス。

1. 「デキストロプーア」 Dextropur (岩城).
9.97% ノ結晶水ヲ有スル純葡萄糖。大人 1 回 2—3 茶匙ヲ 1 日 3—4 回牛乳、白湯、果汁等ニ伍シテ服用。
2. 「マルツ」汁「エキス」 Extractum Malti, Malzsuppen-extrakt.
大麥麥芽 (もやし) ヨリ得タル「エキス」。「マルトーゼ」57.02, 糊精 12.41, 蛋白質 4.29, 灰分 2.51, 水分 23.75 ヲ含ム。
小兒ノ便秘ニ牛乳ヲ適當ニ稀釋、約 1 合トナシ本「エキス」5—10—15 g ヲ加ヘ 5—10 分煮沸シ用フ。
3. 果糖 Lävulose.
白色、水溶性、甘サ不味。1 日 25.0—50.0 ヲ糖尿病、病後ノ恢復期ニ用フ。
4. 精製蜂蜜 Mel depuratum.
葡萄糖ト果糖ノ混合物。
5. 「サツカリン」 Saccharinum, Benzoësäuresulfid.
含水炭素デハナイガ、甘味ハ蔗糖ノ 500 倍デアル。腸異常酸酵ニ 0.2—0.5 ヲ用フルコトガアルガ、通常 1 日 0.03—0.05 ヲ用フ。小兒消化不良ニモ用ヒラル。難溶性デアルガ重曹ト用フルト「ソーダ」鹽トナリ溶ケル。
1) 可溶性「サツカリン」 Saccharinum solubile.
2) 「サリスタローゼ」 Kristallose.
3) 「ツツケリン」 Zuckerin.
以上孰レモ「サツカリン」ノ「ソーダ」鹽、1 日 0.03—0.05 ヲ用フ。
6. ソツクスレット滋養糖 Soxlet's Nährzucker.
白色粉末、水溶性。「マルトーゼ」。「デキストリン」、乳糖、「カルチウム」、食鹽ヨリナル。
哺乳兒ノ滋養矯味劑トシテ稀釋牛乳ニ 5—8% ノ割ニ加ヘ服用。
7. 「ビタローゲン」 Vitarogen (三菱).
英産乳牛ニ「ヴタミン」D ヲ含有セシメタ粉末。

脂肪及類脂肪製劑

1. 肝類 Oleum Jecoris, Lebertran.
魚類主ニ鱈、鯨ノ肝ヨリ得タル脂肪油。「ヴイタミン」A, D モ含ム。結核、腺病質、夜盲、佝僂病等ニ 1 回 5.0—10.0; 1 日 20.0—30.0 ヲ服用。

2. 肝乳 Emulsio olei Jecoris, emulsion of cod liver oil (三共).
純肝油 60% ヲ含ム。温糖、冷水、番茶等ニ混ジ服用 1 回 5.0—10.0.
3. D.C.L. 「マルト」肝油 D.C.L. Extract of malt and cod liver oil.
純肝油ニ「マルツエキス」ヲ配ス。大人 1 回 10—15 g, 小兒 1 回 5 g.
4. スコット 肝油乳劑 Emulsio olei Jecoris (Scott).
肝油 150.0, 「グリセリン」50.0, 次亜磷酸石灰 4.3, 次亜磷酸「ソーダ」2.0, 水 130.0, 「アルコール」10.0 ヲリナル。
5. 「ヂエコマルト」 Jecomalt (Wander)
肝油ニ麥芽「エキス」ヲ配セル粉末。1 日 3 回 1—2 食匙宛。單味又ハ温牛乳ニ配合ス。
6. 三共磷肝油乳劑 Emulsion of cod liver oil phosphorized (三共)
三共肝乳ニ純磷 0.01% ヲ含有。大人 1 日 1—3 g. 極量 1 回 10 g; 1 日 30 g.
7. 肝油球 (イシカハ) Globulus cod liver oil.
【成分】肝油ノ「カプセル」劑。大人 4—5 個 (1 個 0.5 gr) ヲ 1 日 3 回。小兒ト女子ハ 0.1 個 0.3 入ヲ用フ。
1) 「ヨード」肝油球 Globulus oleum Jecoris Jodi (イシカハ).
0.1% 「ヨード」ヲ含ム。大人 0.3 球, 小兒 0.15 球ヲ 1 回 1—2 個宛, 1 日 1 回。
2) 「グアヤコール」肝油球 Globulus Oleum Jecoris Guajacoli.
肝油珪ニ「グアヤコール」1% ヲ配ス。大人 0.3 球, 小兒 0.15 球 1 回 1—2 個宛 1 日 3 回。
3) 「キニーネ」肝油球 Globulus Oleum Jecoris Chinini.
肝油球ニ 0.71% ノ「キニーネ」ヲ含ム。大人 0.3 g 球, 小兒 0.15 球 1 回 1—2 個宛 1 日 3 回。
8. 高橋氏改良肝油 Takahashi's cod liver oil improved (三共).
「ヴイタミン」A ヲ多量ニ含ム。1 回 5—20.0 g.
9. 「メタヂエン」肝油 Emulsion metagen and cod liver oil, (Parke, Davis) (三共).
濃厚「ヴイタミン」劑。「メタヂエン」40% ヲ添加ス。大人 1 回 15 g, 小兒 4—12 g.
10. 「ヌトローゲン」 Nutrogen (萬有).
磷肝油酸。磷 0.01% ヲ含ミ、「レチチン」、卵黃、「カルチウム」モ含ム。大人 1 日 10.0—30.0 g ヲ多量、水ト共ニ服用。味噌汁ニ混用スルモ可ナリ。

混合榮養劑

1. 「ヒギアマ」 Hygiama (Theinhardt) (三共).

萌芽セル穀物ニ牛乳、「ココア」等ヲ配ス。食前 10—15g
ヲ少量ノ熱湯ニテ混和攪拌シ、徐々ニ牛乳、茶、「コーヒー」等
ニ混合シ用フ。

2. 「インファンチナ」Infantina (Theinhardt) (三共)。

溶解性含水炭素 57% 脂肪 5.5% 蛋白質 13.4% ヲ含ム。1
回 10.0—15.0; 1日 30.0—50.0 ヲ牛乳ニ混ジ服用。

3. ネツスル氏小兒粉 Nestle's Kindermehl。

蛋白 8.4, 脂肪 5.3, 含水炭素 76.8, 灰分 2.0 ヲリナル。熱
湯ニ煮沸シテ必要量ヲ溶解シテ他ノ流動物ニ混ジ服用。1回
10.0; 1日 40.0—50.0。

〔註〕小兒粉ニハ尙メリン氏 Mellin, レフルンド氏 Löfflund
アリ。用量、用法ハネツスル氏小兒粉ニ同ジ。各養素ノ
含會率ハ多少差違アリ。

「ビタミン」劑

Vitamin; Vitamine

「ビタミン」

蛋白質、含水炭素、脂肪、無機鹽類其他ノ養素ヲ如何ニ充分攝取シテ
モ尙、必要缺クカラザル要素ニ「ビタミン」ガアル。現今「ビタ
ミン」ハ大體 5 種位アルモノトサレテキル (ビタミン A, B, C, D,
E, コノ外ノモノモ研究サレツ、アル)。

「ビタミン」ヲ創唱シタノハ Funk, 1911 デアツテ初メ氏ハ米糠ヨ
リ抗神經炎成分ヲ分離シタノデアアル。

又副養素 *accessorische Nährstoffe*, *accessory factors* (Hop
kins, Hofmeister, Boruttan) ト呼ブヲ妥當ナリト云フ人ガアル。
Stepp 氏ハ補足養素 *Ergänzungsstoffe* ト云ヒ、Mendel 氏ハ榮養
「ホルモン」*Nahrungshormone*, *food hormon* ト呼ビ *Abderhal*
den ヤ *Schaumann* ハ「ヌトラミン」*Nutramin* ト云ツテキル。

「ビタミン」ハ植物界ニ於テ生成サレ存在シ、動物ハ體內デ之ヲ造
ルコトハ出來ナイ。然シ一定臟器例ヘバ肝臟ニ過剰分ヲ貯藏スル。一種
ノ物質デアアルコトハ確カデアアルガ未ダ化學的構造ハ不明デアアル。「ビ
タミン」ヲ缺タト一定ノ症狀ヲ呈スル。即チ「ビタミン」缺乏症 *Avita*
minososen デアル。

1. 「ビタミン」A

動物油殊ニ肝油ノ中ニ多量含マレル。脂肪、油脂ニヨク溶ケ (*fat*
soluble)、熱ニ對シテ相當安定デアアル。「アルカリ」ニハ比較的強ク抵抗
スルガ酸ニハ弱イ。又紫外光線ニテ破壊サレ易イ。

コレガ不足スルト結膜乾燥症 *Xerosis* ヤ夜盲症 *Hemeralopie* ヲ
起スノデ結膜乾燥症「ビタミン」*Xerosisvitamin* トモ呼バレル。

2. 「ビタミン」B

穀類ノ銀皮 *Silberhaut*, 胚芽, 豆類等ニ含マレル。水溶性ヲ熱ニハ
割合弱ク *Scherman, Grose* ニヨルト 100°C, 4 時間デ 20% 破壊
サレルト云フ。「アルカリ」ニハ抵抗弱ク 1/10 規定苛性「ソーダ」ニ
20°C, 90 時間作用サセルト大部分破壊サレ、20°C, 18 時間デハ殆ンド
影響サレナイガ 90°C, 30 分間加熱スルト全部破壊スルト云フ (*Os*
borne, Levenworth) 故ニ脚氣病デ「アルカリ」劑ハ用ヒヌ方ガヨイ。

之ガ缺乏スルト脚氣ヲ起すが、「ビタミン」B ノ缺乏ガ直チニ脚氣
ヲ起ストハ限ラナイ。又諸種ノ要約ガ働ラクモノト考ヘラレル。タゞ脚
氣ニ「ビタミン」B 劑ヲ與ヘルト輕快ハスル。故ニ此ノ「ビタミン」
ヲ脚氣「ビタミン」*Kakke-Vitamin* トモ云ヒ、脚氣デハヨク神經炎
ヲ起スノデ抗神經炎性「ビタミン」*antineuritic vitamin* トモ云
フ。皮膚疾患「ペラグラ」豫防因子ノ「ビタミン」B₂ ガアリ、其他
B₁, B₆ 等ガアリ、「ビタミン」B モーノ複合體 *complex* ト見
做サレツ、アリ。

3. 「ビタミン」C

新鮮ナル野菜、果實 (ごまご、苺、れもん、蜜柑、ほうれん草等) ニ
含マレル水溶性要素ヲ熱ニハ甚ダ弱ク 120°C, 30 分加熱スルト殆ンド
全部破壊サレル。乾燥ニモ弱ク、中性、「アルカリ」性ニ對スルヨリモ酸
ニ對スル方ガヨリ安定デアアル。之ヲ缺乏スルト壞血病 *Skorbut*, *scu*
rvy, *メルレル・パロー氏病* ヲ起ス。

抗壞血病性「ビタミン」*antiscorbutic vitamin* 又壞血病「ビ
タミン」*Skorbut-vitamin* トモ呼バレル。

4. 「ビタミン」D

「ビタミン」A ト共ニ動物油脂ノ中ニ存スル。A ト同様脂肪油ニ溶
ケ、抵抗性モ略ボ A ニ同ジデアアル。D ハ A ヲ酸化ニ對スル抵抗が大
デアアル。之ヲ不足又缺乏スルト、「カルチウム」ヤ燐ノ代謝機能ニ關係
シ、佝僂病ヲ起ス。植物性及ビ動物性ノ「ステリン」ニ紫外線ヲ照射ス
ルト「ビタミン」D ニ轉化スルモノガアル (*Provitamin*)。

5. 「ビタミン」E

穀類特ニ小麦ノ胚芽中ニ含マレル。脂肪ニ可溶デ抵抗性ハ略 A ト同
ジデアアル。之ガ不足スルト繁殖能ヲ害セラレル。

〔註〕近時「ビタミン」過剰症 *Hyperavitaminose* 「ハビタ
ミン」D ニ就テ認メラレタ。

「ビタミン」製劑

「ビタミン」B 劑、「ビタミン」A 劑、D 劑、A-D 劑或ハ各種
「ビタミン」組合劑、「ビタミン」ニ他種強壯劑トヲ混合シタルモ
ノ等多數ノ製劑ガ市販ニアル。一一之レガ列舉ハ煩雜ナレバ、其ノ中ノ
一部ノミヲ舉ゲル。

1. 「ビタミン」A 及 D 劑

A 劑ハ多ク肝油ヨリ、D 劑ハ紫外線照射「ステリン」ヨリ作ラル。

1. 「ビオトーゼ」 Biotose.

【成分】「ビタミン」A, B, C, D ヲ含ムト。
【粉末】1日 5—15.
 2. 「ビオステリン」 Biostelin. (理研)

「ビタミン」A 劑. 1回 1—3 個ヲ 1日 3回.
 3. 「ビタミン」A (三共)

1回 1—3 個ヲ 1日 3回.
其他諸會社ヨリ A ヲ「オレーフ」油等ニ溶カシタルモノヲ市販ニ出シテ居ル.
 4. 「ビタミン」D (理研)

椎茸ヨリ得タル「エルゴステリン」ニ紫外線ヲ照射シタルモノニシテ、油劑ニ溶カシテアル.
 5. 「ヴィガントール」 Vigantol. (Merck)

「エルゴステリン」ニ紫外線ヲ照射シタルモノノ油劑デアル.
 6. 「ヴィタロン」 Vidalon.

「ヴィガントール」ヲ含有スル肝油.
「ビタミン」A 及ビ D 劑.
- ## II. 「ビタミン」B 劑
- 多クハ米糠、胚芽、酵母ヨリ製ス。
1. 「アベリー」 Abery. (第一製業)

脚氣ニ 1日、末 2.0.; 液 10.; 錠 9 錠; 1回 1 cc. 宛 1日 1—2 回皮下注射.
 2. 「アンチベリベリン」 Antiberiberin. (都築—南信)

強力「アンチベリ」末 1日 3—5 g. 「エキス」ハ 1日 1—2—4. 錠ハ 1日 3—6 錠.
 3. 「ベリベロール」 Beriberol. (ラヂウム)

粉末ヲ 1日 3.0 (6 錠), 注射薬ハ 1回 1 cc. (1 筒) ヲ皮下又筋肉内. 液ハ 1日 9.0 g.
【註】純「ベリベロール」B. purum (ラヂウム) ハ 1日 0.05 以上ヲ内服. 又 2%水溶液ヲ皮下或ハ筋肉内注射ス.
 4. 「ベリカイン」 Bericain. (帝國新藥)

「ビタミン」B 劑. 末 1日 3.0—4.0. 錠ハ 1回 4—6 錠; 注射ハ 1回 1—2 cc.

5. 「ベリグミン」 Berigumin. (小池)

「ビタミン」B 劑. 液 1日 20—30 g. (2 日以上ハ作ラズ). 末 1回 4—6 gr. 注射 1回 1—2 cc. (1—2 筒) ヲ皮下.
6. 「ベリスチン」 Beristin. (岸田)

脚氣劑トシテ 1日 3—5 g. 水劑トシテハ稀鹽酸ト伍用ス.
7. 「コルンエキス」 Corn-Ex. (三星—鳥居)

1日 30—45.0 gr. ヲ水ニテ稀釋 3 回分服.
8. 「エビオス」 Ebios. (大日本麥酒)

1日 1.5—2.0—3.0.
麥酒酵母製劑ニシテ、他ニ類似品ガアル.
9. 「ホルミン」 Hormin. (後藤風雲堂)

脚氣ニ 1日 4.0 g.
10. 「ホスタミン」 Hostamin. (都築)

「カルチウム」ト「ビタミン」ノ結合體. 大人 1回 0.5—1.0 ヲ 1日 3 回毎食後脚氣, 栄養不良等ニ與フ.
11. 「ネオコルン」 Neo-Corn. (三星—鳥居)

1 cc. (1 筒) ヲ皮下注射料トス.
12. 「ネオヴィタミノール」 Neovitaminol. (田邊五)

衝心性脚氣ニ 1日 1回 2 筒 (2 cc.) 宛毎日. 麻痺型ニハ隔日 2 cc. 衝心型ニハ 1回 2 cc. ヲ皮下又静脈内 時ニ 1/2—1 時毎ニ反復. 1「アンブレ」中ニ 0.002 ノ硝酸「ストリヒニン」ヲ含ム.
13. 「オリザニン」 Oryzanin. (三共)

「ビタミン」B 劑. 液ハ 1回 5.0 gr. 宛 1日 4 回 (夏期ハ 1日 分迄投與, 冬ハ 2 日分迄) 末ハ 1回 2.0 gr. 宛 1日 3 回. 1 錠ニ 0.5 (末), 「エキス」ハ 1回 3.0 ヲ 1日 3 回. 注射液ハ 1日 1—3 回 1 筒 (1 cc.) 宛筋肉内.
【註】強「オリザニン」アリ.
14. 「パラヌトリン」 Paranutrin. (鹽野義)

「ビタミン」B 劑. 皮下注射 1日 1—3 cc.; 液 1日 10—20 cc.; 末 1日 3—6 g.; 錠 1日 6—12 錠.
15. 「ピゾール」 Pysol. (Comet)

大人 1日 3.0 cc (1 筒) ヲ静脈内. 末ハ 1日 3.0—5.0. 液ハ 1日 10—15 g. 皮下用ハ 1 筒=1 cc 入.
16. 「スペルゾーン」 Spelzon. (武田)

末 1 回 1.0; 1 日 3.0—5.0 (6 錠). 液 1 回 10.0; 1 日 20.0—40.0
ヲ脚氣ニ用フ.

17. 照内末 Teruuchimatsu. (龜井一友田)

脚氣ニ末ヲ 1 日 6.0, 錠 12 錠ヲ食後 3 回分服. 注射液ハ 1 回
1 cc (1 筒) 又ハ 2 cc. ヲ皮下.

18. 「ウリヒン」 Urichin. (松本)

脚氣ニ末ヲ 1 回 0.3—1.0; 1 日 1.0—3.0.

19. 「ビタフォルチン」 Vitafortin. (齊藤)

脚氣ニ 1 日 9.0 ヲ 3 回分服.

20. 「ヴァイタミン」 B. (都築)

1 回 5 cc. (靜脈内用) 又 2—4 cc. (皮下注射用) ヲ毎日又隔日施行

21. 「ヴァイタミノール」 Vitaminol. (田邊)

1 日 1 回 1—2 cc. (1 筒ハ 1 cc. 及 2 cc. 入アリ) ヲ靜脈内又皮
下注射. 「ストリヒニン」ヲ含ム「ネオ・ヴァイタミノール」アリ.

臓器製劑

「ホルモン」 Hormon.

各臓器及組織ノ化學的連絡ヲナス臓器及組織ヨリ分泌サルル特異物質
デアツテ覺醒素トモ呼バレル. コノ分泌サレタ特異物質ハ血液ニ入ツテ
遠隔ノ或臓器ノ機能ニ影響ヲ及ボシ, 或場合ニハ機能ヲ充進シ又反對ニ
抑制スル.

臓器療法 Organotherapie.

腺性臓器ニ内分泌ノアルコトヲ唱導シタノハ クロード・ベルナール
Claude Bernard デ, 之ヲ確定實證シタノハ ブローン・セカール
Brawn Séquard デアル. 即チ氏ハ臓器療法ノ端緒ヲ開イタノデア
ル. 本療法ハ内分泌疾患ノ治療ニ缺クベカラザルモノデアツテ 近來ハ
色々ノ方面ニモ使用サレテキル.

例ヘバ「インシュリン」ヲ結核患者ノ肥胖療法ニ用ヒ, 卵巣「ホルモ
ン」ヲ妊娠嘔吐ニ用ヒ或ハ更年期症狀ニ使用スル.

体内デ生ズル炭酸モ一種ノ「ホルモン」ト考ヘラレル. 即呼吸中樞ハ
之ニヨリ恒ニ刺激サレテキルワケデアル. 尿素ヤ尿有機物モ尿利ヲ起シ,
胃ノ「ガストリン」モ血液中ニ吸収サレテ胃液分泌ヲ充メル. コノ「ガ
ストリン」ハ胃ノ幽門部粘膜ヨリ「ペプトン」ヤ糖分ニヨリ接觸刺激サ
レテ生ズル.

胎兒カラノ「ホルモン」ハ母體ノ乳腺ノ發育ヲ佳良ナラシメル.

甲状腺劑

有効成分ハ餘リ消化液ノ變化ヲ受ケナイ. 少量ヲ健康人ニ與ヘルト脈
搏増シ, 利尿, 發汗, 物質代謝充進 (瘦削, 體重減少等) ヲ來シ, 大量
ハ中毒 (發疹, 惡心, 嘔吐, 食慾減退, 頭痛, 心悸充進, 震顫等) ヲ發
シ時ニハ蛋白尿, 糖尿ヲ呈スル (Thyreoidismus).

「クレチニスムス」 Cretinismus, 粘液水腫 Myxödem, 除甲状腺
惡液質 Cachexia strumipriva 等ニヨク奏効ス.

脂肪過多, 喘息, パセドウ氏病ニ用ヒ近時刺戟劑トシテ用フ. 精神病
ニ用フルコトアリ.

1. 「アンチチレオイデン」 Antithyreoidin. (Möbius)

【成分】 甲状腺抽出羊ノ血清ニ石炭酸 0.5% ヲ加フ.

【用法, 用量】

(1) 皮下注射ハ隔日ニ 1 筒 (1.0 cc.), 5 回後ハ毎日.

(2) 1 錠=0.05. 初メ 2 日間ハ 1 日 3—4 錠, 次ノ 2 日目ヨ
リ 2 錠宛増量, 10 錠ニ至ル.

(3) 1 錠=0.5. 1 日 2—4 錠

(4) 血清 (10 cc.) 1 日 3 回 10 滴宛, 隔日 5 滴増量, 1 日
3 回 30 滴ニ至ル.

【適應症】 パセドウ氏病ニ用フ.

2. 「エリチーラン」 Elityran. (Bayer)

【用法, 用量】

(1) 1 回 1—2 錠ヲ 1 日 3 回.

(2) 1 回 0.5—2.0 cc. ヲ毎日又隔日筋肉内注射.

1 錠=0.025 g. (10 海狗單位)

1 筒 (2 cc.)=8 單位.

【適應症】 甲状腺機能低下 Hypothyreoidismus, 粘液水腫 Myxö-
dem, 脂肪過多等ニ用フ. 陰性甲状腺劑 negatives Schild-
drüsenpräparat.

3. 「ロダゲン」 Rodagen. (三共)

【成分】 甲状腺抽出山羊乳粉末ニ乳糖ヲ等量ニ加フ. 白色佳味.

【用法, 用量】 1 回 2.0; 1 日 5.0—10.0.

【適應症】 「アンチチレオイデン」ニ同ジ.

4. 「チラーデン」 Thyraden. (Knoll)

【成分】 豚甲状腺「エキス」, 生理的食鹽水ニテ製ス. 白色無味無臭ノ
末.

1.0 ハ新鮮甲状腺 2.0 ニ相當シ. 1 錠=0.15 ハ 0.3 ニ相當ス.

【用法, 用量】 1—2 錠ヲ 1 日 3 回.

甲状腺製劑ハ甲状腺機能補償ニ適ス. 又新陳代謝充進ノ目的ニ
テ脱脂療法等ニ用ヒラル.

5. 「チラーヂン」 Thyradin. (武田)

【成分】 1 筒 (2 cc.) ハ乾燥甲状腺 2 g. 末 1 g. ハ 5 g. ニ對應ス.

【用法, 用量】

- (1) 1回 2 cc. 宛 1日 1-2回皮下.
 (2) 末 1日 0.2-0.5 ヲ分 3.

6. 「チレオグランドール」 Thyreoglandol. (Roche)

【成分】 1 cc. ハ新鮮甲状腺 1 g. ニ對應シ, 1錠ハ 0.3 ニ相當ス.
 【用法, 用量】 1日 3-9錠 (1-3筒)

7. 「チレオイド」 Thyreoid gland Desiccated (Parke Davis) (三共)

【成分】 乾燥甲状腺. 末 0.065 g. ハ新鮮甲状腺約 0.325 g. ニ當ル.
 【用法, 用量】 1回 0.0065-0.13 g. ヲ 1日 3回. 1錠=0.1.

8. 「チレオイド」錠 Thyreoid tablets. (Burroughs-Welcome)

【用法, 用量】 1回 0.05-0.3; 1日 0.1-1.0.
 1錠=0.1 及 0.3.

9. 「チレオイヂン」 Thyreoidin. (Poehl)

【成分】 1錠=0.3 及 0.5.
 【用法, 用量】 1回 1-2錠ヲ 1日 3回.

10. 乾燥「チレオイヂン」 Thyreoidinum siccatum. (Merck)

【性状】 灰黄色乾燥粉末. 0.1 ハ新鮮甲状腺 0.25 ニ相當ス. 1錠=0.1 及 0.3.
 【用法, 用量】 1回 0.05-0.1; 1日 0.1-0.4.

11. 「チレオヨヂン」 (「ヨードチリン」) Thyreojodin (Jodthyrin). (Bayer)

【成分】 「ヨード」含量 0.3%. 黄色粉末無臭. 1錠 (0.3) ハ「チレオイヂン」0.1 ニ相當ス.
 【用法, 用量】 1回 0.3-0.5; 1日 1.0-3.0.

12. 「サイロプロテイン」 Thyroprotein, (Parke Davis) (三共)

【成分】 1筒 (1 cc.) ハ 0.0013 g. 甲状腺有効「エキス」ニ「クロレトーン」0.5% ヲ含ム.
 【用法, 用量】 1回 1-2 cc. (1-2筒) ヲ皮下注射料.

13. 「チロキシン」 Thyroxin. (Roche)

【成分】 甲状腺有効分人工製品.
 【用法, 用量】 1日 2-4錠; 注射 1-2筒. 1錠=1 mg.; 1筒 (1.1 cc.)=0.001.

14. 「ヨルゴン」 Jorgon. 3,5-Dijod-tyrosin.

【成分】 「サイロキシン」 Thyroxin ノ一構成分子ト見做サルルモノニシテ生体内ニテハ寧ロ甲状腺ノ有毒作用ヲ制止スト云ハル.

【用法, 用量】 大人 1日 0.1-0.3 食間ニ 3回分服.

【適應症】 バセドウ氏病. 甲状腺療法ニ適スル場合.

【用法, 用量】 大人一日 0.1-0.3 食間ニ三回分服.

副腎製劑

副腎ヨリノ意義アル「ホルモン」ハ 髓質 Mark ヨリノ「アドレナリン」デアル. 「アドレナリン」ハ主ニ交感神経末梢ニ作用シテ之ヲ興奮セシメ, 心, 血管, 平滑筋臓器, 分泌腺ニ働ク.

交感神経が促進的ニ作用スルモノハ心促進神経, 血管収縮筋 (血管壁ニ分布スル交感神経末梢刺戟) 気管支筋弛緩, 唾液腺, 子宮, 瞳孔散大筋等デアツテ, 抑制的ニ作用スルモノハ胃腸, 膀胱デアル. 故ニ血管収縮ニヨル血圧上昇 (脚氣ニハ使用セズ), 心搏動増加強盛, 唾液, 涙液, 粘液等ノ分泌ヲ増加シ, 子宮運動ヲ促シ, 胃腸ノ運動機能ヲ抑制シテ嘔吐, 下痢ヲ制シ, 輸尿管ヲ収縮セシメテ膀胱ヲ弛緩ス. 肝デハ糖形成促進サレ糖尿ヲ起スコトハ「インシュリン」ト反對デアル. 健者デハ常ニ血中ニ分泌サレテ血管ノ「トームス」ヲ高メ, 心臓ヲ鼓舞シテ居ル.

血中ニアル間ハ長ク變化シナイガ, 組織ニ觸レルト酸化サレル.

【適應症】 心臓及血管麻痺 (肺炎, 腹膜炎, 敗血症, 手術後, 外傷ソノ他ノ大出血), 虚脱, 子宮出血, 喘息, アヂソン氏病. 脊髄癆發症, 腎性浮腫, 「マラリア」發作誘起劑 (Provokationsmittel). 局所止血劑.

【副作用】 急性中毒一肺水腫, 呼吸困難等ヨリ呼吸停止, 死.

慢性中毒ハ人ニ稀ナリ. 連用スレバ血管硬化ヲ來タス.

【用法, 用量】 0.2-0.3 mg. ニテ危險症狀ヲ發スル人アリ. 通常 1,000倍溶液ヲ用フ.

虚脱ニハ 1000倍溶液 5-6滴ヲ 1/2-1立ノリンゲル氏液ト共ニ徐々ニ静脈内注射. 「ズプラレニン」モ同様ニ用ヒラル. 製劑, 合成品, 多ク市販サル.

1. 「アドレナリン」 Adrenalin.

止血劑トシテ用フ.

鹽化「アドレナリン」1,000倍溶液 (三共) トシテ市販ニ出サレテ居ル.

2. 「アドナルヂン」 Adnaldin. (田邊五)

【用法, 用量】 皮下注射ハ 0.5-1.0 cc. 又静脈ニモ用ヒラル.

3. 「エピネフリン」 Epinephrin. (Ciba)

【用法, 用量】 「アドレナリン」ニ同ジ. 皮下注射ハ 1回 0.5-1.0 cc. (千倍) ヲ用フ. 妊娠嘔吐ニ 10滴ヲ用ヒ奏効スルコトアリ.

4. 「レバミン」 Levamin. (高田一友田)

【用法, 用量】 注射 1000倍液 0.5-1.0 ヲ皮下注射. 静脈内ハ少量ヲ徐々ニ. 1筒ニハ 1 cc. 人工合成品ナリ.

5. 「ネフラレニン」Nephraerenin (Richter) (田邊元)

【用法, 用量】 1000 倍溶液ヲ製シ「アドレナリン」ニ準ズ。

6. 「オポレニン」Oporenin. (武田)

【用法, 用量】

- (1) 虚脱 1 回 0.25—0.5 cc. (1,000 倍液) ヲ皮下又静脈内注射。
- (2) 氣管支喘息 1 回 0.5—1.0 ヲ皮下注射。
- (3) 百日咳 1 回 0.12—0.3 cc. (1,000 倍)

7. 「ピツグレナン」Pituglenan. (ジルテルン—三共)

【成分】 1 筒 (1 cc.) ハ副腎成分 0.9 mg. 腦下垂體「エキス」0.5 g. ヲ含ム。

【用法, 用量】 主ニ氣管枝喘息ニ 1 回 1 cc. ヲ皮下注射ス。

8. 「パラネフリン」Paranephrin. (Merck)

【用法, 用量】

- (1) 1 日 0.5—1.0 ヲ内用。
- (2) 1 回 0.5—1.0 cc. ヲ皮下注射。
本劑ハ副腎有効成分ヲ抽出セル「アドレナリン」ト同一成品ナリ。

9. 「ジಂತナリン」Synthenalin. (黒田)

【用法, 用量】

- (1) 皮下注射 0.3—1.0 cc. (静脈内ハ少量)
- (2) 吸入 1—3 cc. ヲ食鹽水又硼酸水 100 cc. ニ混ジ 1 日量トナシ 1 日 2—3 回分服。
- (3) 盗汗 0.5—1.0 cc. 皮下。本劑ハ合成品ナリ。

10. 「インテレニン」Interenin. (武田)

【成分】 牛副腎皮質ヨリノ「ホルモン」, 「アドレナリン」ヲ含マズ。1 筒 (1 cc.) ハ 腎皮質 0.1 gr. 末 1 gr. ハ 6 gr. 1 錠ハ 0.6 gr. ニ各々相當ス。

【用法, 用量】 アヂソン氏病, パセドウ氏病, 筋無力症, 神經衰弱, 「モヒ」中毒等ニ 1 日 1—2 回 (1—2 cc.) 皮下ニ注射, 末ハ 1 日 (食後又食間) 1 錠=0.1。

膵臓製劑

糖尿抑制アル「インシュリン」ガ最モ意義アルモノデアツテ, 糖尿病ノ治療ニ用フル。膵ノランゲルハンス氏島 Langerhans' Inseln ヨリ分泌サレル「ホルモン」デアル。「インベリン」Inverin (武田), 「ランゲリン」Langerin (田邊元), 「インゼリン」Inselin (友田) 等ガ販賣サレテキル。外國製品トシテハ「トロント」Toronto (三共) ト「リリー」Lilly (鹽野義) ヨリ發賣サル。

單位 (「トロント」—「コンノート」研究所)

24 時間餓セシメテ置イタ體重 2 kg. ノ家兎血糖量ヲ 4 時間内ニ 1/2 マデ低下セシムル量ノ 1/3 ヲ 1 單位トスル。
糖尿病ニ用フルト 1 單位ゴトニ含水炭素 1—4 g ヲ体内ニ貯ヘル。此ノ家兎ハ通常 0.1% ノ血糖量ヲ有スルガ、之ガソノ 1/3 迄低下スル頃ハ痙攣ヲ起スコトが多い。
單位數ハ各「レットセル」ニ明記シテアルガ通常 1 c.c 中 10 單位ヲ含ムモノヲ用フ。

【作用】

- (1) 糖消費能亢進
- (2) 肝臓内「グリコーゲン」貯藏
- (3) 副腎系抑制
- (4) 甲状腺機能抑制 → (パセドウ氏病治療 肥肝療法)
- (5) 腦下垂體抑制 → 腦下垂體性糖尿抑制
- (6) 上皮小體トノ協同作用 → 肝内「グリコーゲン」形成, 貯藏 → 糖尿輕快

【副作用】

- (1) 輕症 → 顔面蒼白, 飢餓感, 倦怠, 發汗, 惡感。
- (2) 重症 → 恐怖, 不安, 複視, 眩暈, 震顫等ヨリ虚脱, 血壓ト體温下降, 時ニハ死。
- (3) 原因 → (イ) 食物ノ吸收サレヌコト (下痢, 嘔吐, 飢餓等) (ロ) 注射ヲ食事前過度ニ長時間オクコト。 (ハ) 大量ノ「インシュリン」ヲ短時間内ニ注射スルコト。 (ニ) 患者ノ「トレランツ」増加 (体内ニテ「インシュリン」過産サル)。 (ホ) 運動ヲナスコト。
- (4) 處置。糖分ヲ與ヘル。即氷砂糖, 砂糖水, 飴, 果糖汁等ヲ與ヘル。必要アラバ「ゾンデ」ヲ用ヒ。又葡萄糖 (10—50% ヲ 20—30—50) ノ注射ヲナス。「アドレナリン」(1000 倍 0.3—0.7 cc.) ノ皮下注射モ行ツテ見ルベキデアル。寡血糖症ヲ起シタ後ハ注意シテ注射ス。

【適應症】 糖尿病, 肥肝療法, 重症黄疸ソノ他肝臓疾患, 惡阻等。

【用法, 用量】 「インシュリン」容器ノ「ゴム」帽ハ取ラズニ, 體温ニ温メ 5% 石炭酸又「ヨードチンキ」ニテ消毒, 次ニ注射針 (煮沸消毒) ヲコノ「ゴム」帽ヨリ瓶内ニ刺シ入レテ吸入。

- (1) 輕症 1 日 1 回朝食前 30 分 5—10 單位ヲ筋肉内。糖尿消失迄。
- (2) 重症 1 回 10—30 單位ヲ 1 日 1—2 回食前 30 分。症状 輕快スレバ次第ニ減量。
- (3) 糖尿病昏睡ニハ 毎 1 時間 10 單位ヲ 4 回, ソノ後毎 2 時間 10 單位。大體ニ於テ 24 時間内 60 單位以下。
- (4) 肥肝療法 1 日 2—3 回食前 1/2 時間ニ 2—3 單位。無効ナラバ輕キ空腹感ヲ起ス迄増量 (通常 5—10 單位)
- (5) 惡阻ニハ 25% 葡萄糖 50 cc. ヲマゾ静脈内注射シテ後 30 分「インシュリン」2—3 單位。

「ランゲリン」Langerin. (田邊元)

【成分】 経口的「インシュリン」剤。1丸=4單位。

【用法, 用量】 糖尿病=2-3粒宛1日3回, 8日間連用後1-2粒ニ減ズ。

【注意】 「インシュリン」ハ「ペプトン」, 「トリプシン」ニヨリ破壊サレルカラ効果ハ疑ハシイト云フ。

腦下垂體製劑

腦下垂體ハ「トルコ」鞍中ニアツテ前葉 Adenohypophyse ト後葉 Neurohypophyse 及中葉トヨリナル。前葉中ニハ成長ニ關スル「ホルモン」ト生殖腺ノ機能ヲ亢進スル「ホルモン」トガ含マレル。妊娠尿ヨリ「ホルモン」ニツイテハ不明ナ箇所多イ。

【作用】

(A) 平滑筋ノ直接興奮

- (1) 子宮 → 陣痛強盛, 子宮收縮ニヨル止血。
- (2) 腸 → } → 手術後腸麻痺除去
- (3) 輸尿管 → } → 蠕動亢進 → } → 結石診断
- (4) 膽囊 → } → 膽石排出, 診断治療
- (5) 膀胱 → 緊張亢進 → 膀胱麻痺治療
- (6) 腎 → 生理的ニハ一時減少後増加, 尿管症ニハ減尿作用アリ。

(B) 循環系

- (1) 心臓 → 心動緩徐, 強盛 → 急性心臓衰弱ニ用フ。
- (2) 血管 → 收縮 { → 血圧上昇
→ 止血的作用

(C) 内分泌腺

- (1) 甲狀腺, 「クローム」親和系促進作用
- (2) 上皮小體, 性腺, 腺抑制作用
- (3) 胸腺ニ對スル作用不明。

【適應症】 陣痛微弱 (分娩第1期ニハ不適), 子宮出血, 「アクロメガリー」, 尿管症, 脂肪過多 (下垂體性), 喘息 (「アドレナリン」ト協同ス), 「イレウス」, 心臓衰弱。

【禁忌】 分娩第1期, 動脈硬化症等。

1. 「アントイトリン」Antuitrin. (Parke Davis) (三共)

【成分】 腦下垂體前葉「ホルモン」1 cc. ハ有効成分 1.2 gr = 相當ス。

【用法, 用量】 無月經, 月經過多, 低能兒=1回 1/2-1 cc. (1/2-1筒) ヲ皮下注射。

2. 「ダウドリン」Daudolin. (武田)

【成分】 腦下垂體後葉。

【用法, 用量】 陣痛微弱, 弛緩性子宮出血, 尿管症=1回 0.5-1.0 cc. ヲ皮下注射ス。

3. 「ゲブルチン」Geburtin. (鹽野義)

【成分】 腦下垂體後葉製劑。

【用法, 用量】 陣痛微弱, 弛緩性出血=1回 1 cc. ヲ皮下, 又靜脈内ニハ 0.5 cc. ヲ注射ス。

【註】

「アトニン」Atonin (武田) モ後葉製劑。靜脈内ニハ 0.2-0.5 cc.; 皮下及筋肉内ニハ 1.0 cc. (1筒)。

4. 「ヒポフイジン」Hypophysine. (Byla) (丸善)

【成分】 腦下垂體全葉「ホルモン」, 1 g. ハ有効分 5 g. ニ相當ス。

【用法, 用量】

(1) 1日 0.05-0.1 (4-8錠) 内服。

(2) 注射ハ隔日ニ1筒 (皮下, 筋肉)

【註】 (1) 「バイエル」製品アリ (「ヒポフイジン」強) 後葉「ホルモン」ニシテ1回 0.3-0.5 ヲ皮下又筋肉内注射ス。内科ヲハ 0.3-1.0 cc.

(2) 「ビラ」製品。Hypophyse lobe anterior ハ牛又羊ノ前葉「ホルモン」。注射ヲ隔日ニ1筒 (2 cc.) 皮下又筋肉内。末1日 0.5-1 g.; 錠1日 4-8錠。

5. 「ピトシン」Pitocin. (Parke Davis) (三共)

【成分】 腦下垂體後葉製劑。

【用法, 用量】 1回 0.3-1.0 cc. ヲ筋肉内注射。必要アラバ 20-30分ヲ隔テ反復ス。

6. 「ピツヒノール」Pituchinol

【成分】 Chinin-Hypophysenhinterlappen-präparat.

【用法, 用量】 分娩各期ニ用ヒラル。1回 1 cc. ヲ皮下, 筋肉内ニ用フ。

7. 「ピツグランドール」Pituglandol. (Roche)

【成分】 腦下垂體後葉製劑。

【用法, 用量】 1回 1/2-1-2-3筒ヲ状態ニヨリ皮下又筋肉内ニ注射。

8. 「ピツイガン」Pituigan. (鳥居)

【成分】 腦下垂體後葉製劑。

【用法, 用量】

(1) 「ピツイガン」ハ皮下, 筋肉, 靜脈内ニ 0.5-1.0 cc. ヲ注射。

(2) 強「ピツイガン」ハ筋肉内ニ 0.5-1.0 cc.

9. 「ピチユイロビン」Pituilobine. (Byla) (丸善)

【成分】 腦下垂體後葉「エキス」

【用法】 1日 1筒皮下注射。又 リンゲル氏液ニ混ジ靜脈内注射。

10. 乾燥腦下垂體前葉 Pituitary Glands Dessiccated

U.S.P. (Parke Davis) (三共)

【成分】 腦下垂體全葉ノ乾燥粉末。0.065 g. ハ有効成分約 0.325 g.

ニ相當ス。

【用法, 用量】1日 0.065—0.26 g.

11. 「ピツイタリー」液 Pituitary Solution. (マルホ)

【成分】 腦下垂體後葉劑

【用法, 用量】1回 0.3 ヲ皮下ニ注射シテ後 305 以内ニ無効ナラバ更ニ 0.6 cc ヲ注射ス。

12. 「ピツイトリン」 Pituitrin. (Parke Davis) (三共)

【成分】 後葉「エキス」。

【用法, 用量】1筒 (1.0 cc) ハ有効成分 0.1 ヲ含ム。1回 0.3—1.0 ヲ皮下又筋肉内。

〔註〕 外科用「ピツイトリン」ハ尿閉, 腸管麻痺, 出血, 「シヨック」等ニ手術直後又ハ 3—4 時間以内ニ 0.5—1.0 cc. ヲ筋肉内注射ス。

〔注意〕 「アルコール」ニテ沈澱スルヲ以テ注射器ノ消毒ニ「アルコール」ヲ用ヒズ。

13. 「ピツレニン」 Pitu-Renin. (田邊元)

【成分】 後葉及副腎有効成分ヨリナル。

【用法, 用量】 氣管支喘息ニ 1 cc. ヲ注射。又 1—2 錠ヲ 1日 3回 食間服用。

14. 「プベローゲン」 Puberogen. (友田)

【成分】 腦下垂體前葉「ホルモン」。

【用法, 用量】 性腺發育不全, 更年期症狀, 進行性指掌角皮症, 早産兒等ニ 1日 1回 1—2 cc. ヲ皮下注射ス。

〔註〕 (1) 「ヒポホリン」 Hypophorin (武田) モ同ジ腦下垂體前葉劑。1日 1回 2—3 cc. ヲ皮下又筋肉内注射。末ハ 1日 0.3—0.6 (3—6 錠) ヲ分 3 食後。

(2) 腦下垂體前葉錠 Anterior lobe of pituitary Tablet (Parke Davis) (三共) 1回 2 錠。1 錠 0.1625 g. 20 錠迄増量シ得。

15. 「チモフィジン」 Thymophysin. (谷村)

【成分】 幼若動物ノ胸腺及下垂體後葉「エキス」。

【用法, 用量】 各期分娩時, 子宮弛緩症, 腸麻痺等ニ 1回 0.5—1.0 cc ヲ筋肉内注射。注射部位ノ消毒ニハ石炭酸使用。

卵巣製劑 Ovarialpräparate

【作用】

- (1) 血管收縮 (Cholin ナキコト) 血壓上昇。
- (2) Cholin ハ血壓低下作用ヲ有ス。
- (3) 生殖器充血, 凝血作用促進

- (4) 生殖器, 乳房肥大。
- (5) (アドレナリン), 炭水化物「トレランツ」變化。
- (6) 抗交感神經ノ「トームス」ヲ充ム。
- (7) 性慾亢進。
- (8) 婦人ニテ卵巣ヲトレバ月經出現セズ。動物ニテ卵巣ヲ除去スレバ交尾慾ヲ失フ。
- (9) 受胎後ノ黃體ハ胎兒發育成長ニ關係アル「ホルモン」ヲ分泌ス。
- (10) 其他, 石灰代謝, 血液像等ニモ關係ス。

1. 「アゴメンジン」 Agomensin (Ciba).

【成分】 卵巣ノ水溶性物質, 卵巣機能ヲ亢進シ, 性器ニ充血ヲ起ス。

【適應症】 月經不順, 無月經, 月經過少, 月經閉止, 子宮發育不全, 惡阻, 不妊症等。

【用法, 用量】

- (1) 1回 2—3 錠; 1日 3回。
- (2) 注射ハ 1週ニ 2—3回 1—4 cc 宛ヲ皮下又筋肉内。月經困難ハ 2週間以上ヲ要ス。

2. 「ゲネグラドール」 Geneglandol (三共)

【成分】 谷口博士黃體製劑。

【適應症】 子宮發育不全, 月經異常, 不妊症, 常習性流産, 惡阻, 更年期。

【用法, 用量】 1日 1.0 cc (1「アムプレ」) ヲ皮下又筋肉内ニ注射シ, 時ニハ 1日 2—3回又ハ 1回 1.5—2.0 cc ヲ使用ス。室温ニテ沈澱ヲ生ズルヲ以テ注射前 40°C 内外ニ加温ス。

3. 「ギナドール」 Gynandol (友田)

【成分】 結晶性卵巣濾胞「ホルモン」ノ食鹽水溶解液, 1cc=50 單位。

【性状】 無色無臭, 透明溶液。

【適應症】 子宮發育不全, 月經異常, 更年期障礙, 性慾缺乏, 缺落症狀, 乳汁分泌不全, 代償性月經, 不感症等。

【用法, 用量】

- (1) 1日 1回 1—2 cc 皮下注射。
- (2) 1日 3回 1回 2 錠宛食前。

4. 「クリマクトン」 Klimakton (Knoll) (三共)

【成分】

1 錠	{	純卵巣「エキス」 0.03.
		純甲状腺「エキス」 0.006.
		「プロムラール」 0.15.
		「ヂウレチン・カルテム」 0.15.

【適應症】 更年期障礙。

【用法, 用量】 1回 2 錠 1日 3回 (食後)。

5. 「ルテオグラドール」 Luteoglandol (Roche)

【成分】 黃體「エキス」, 淡黃色澄明液及ビ白色糖衣錠。1「アムプレ」及 1 錠中ニハ 0.5 卵巣黃體ヲ含ム。

【適應症】月經過多，更年期神經症，思春期障礙，子癇，惡阻。

【用法，用量】1日1回1錠又1「アムプレ」，1日3錠，1—2「アムプレ」。

6. 「オーフォリン」 Oophorin (Freund u Redlich).

1錠0.3及0.5.

【適應症】月經閉止期，卵巢脫落症狀，月經困難，心悸亢進，肥胖症，皮膚硬化症，肝膿腫。

【用法，用量】1回3—4錠；1日10—12錠又1筒ヲ皮下注射。

7. 「オオフォルミン」 Oophormin (武田).

【適應症】卵巢缺落症狀（頭痛，眩暈，耳鳴，多汗，不眠，四肢及腰部冷感，心悸亢進，記憶力減退，性慾減退等）卵巢機能障礙（無月經，月經寡少，月經異常，初老等），新陳代謝病（高血壓，皮下脂肪沈著，癩皮症，慢性「モヒ」中毒等）精神神經病（不眠，頭痛等）更年期。

【用法，用量】

- (1) 注射1回1—2ccヲ1日又隔日1回皮下注射（上膊又肩胛間部）。
- (2) 内服粉末ハ1日1.0—1.5ヲ3回ニ分服。乳糖ヲ伍スモ可。錠ハ1回3—5錠ヲ1日3回迄，1錠0.5。

8. 「オバホルモン」 Ovahormon, Ovarial-follikel-hormon (武田).

【適用】性器發育促進，血色素量，赤血球數增加，乳汁分泌促進，乳腺肥大，性慾亢進等。

【適應症】卵巢機能不全及性器發育不全（無月經，不妊症，不感症，月經痛，月經不順，月經過多，冷感症）卵巢機能減衰乃至缺落症狀乳汁分泌不足又減退或ハ缺乏，常習性流産，惡阻，神經衰弱，不眠等。

【用法，用量】

- (1) 注射1回1.0ccヲ水溶ハ皮下又ハ静脈内，油溶ハ筋肉内。
- (2) 末，錠ハ1回0.5—1.0（1—2錠1錠=1 M.E.）

9. 「オバラーデン」 Ovaraden (Knoll) (三共).

1回1—2錠（錠0.25）1日2—6錠，1g.ハ新鮮卵巢2.0ニ相當ス。卵巢「エキス」，適應ハ「オーフォリン」ニ準ズ。

〔註〕「オヴァーラーデン・トリフェリン」錠（Knoll）ノ1錠中ニハ「オヴァーラーデン」0.3，「トリフェリン」0.1，「チヨコレート」0.1ヲ含ム。ソノ1分ハ新鮮卵巢腺3分ニ對應ス。1日2—3錠ヲ咀嚼嚥下セシム。Triferrinハ「パラヌクレイン」酸鐵ニテ23%ノ醃化鐵，2.5%ノ磷ヲ含ム。

10. 「オヴァリン」 Ovarine (Byla).

【成分】末1gハ新鮮卵巢5gニ相當。

【適應症】月經時下腹痛，卵巢機能障礙，更年期障礙。

【用法，用量】1日0.4—2.0（4—8錠）注射ハ毎日又ハ隔日1「アムプレ」（2.0cc）皮下又筋肉内，1錠=0.15。

11. 「オボプロール」 Ovobrol (Grenzach).

1錠 {「オボグランドール」1mg.
「セドプロール」1錠

1回1—2錠：1日1—6錠ヲ熱湯ニ溶解シテ服用。

12. 「オヴオグランドール」 Ovoglandol (Roche).

【成分】1錠又1「アムプレ」中ニ腺1g.ヲ含ム。筋肉内ニハ毎2日ニ1「アムプレ」（1.1cc）ヲ與フ。

淡黄色澄明液及白色糖衣錠トアリ。

【適應症】月經不順，更年期障礙，妊娠障礙，子癇，惡阻，去勢後，高血壓等。

【用法，用量】1回1錠；1日3錠。

13. 「ペラニン」 Pelanin (鹽野義).

【成分】妊娠尿ヨリ製セル卵巢濾胞「ホルモン」。

【適應症】卵巢機能減退（早老，月經障礙等）不感症等。

【用法，用量】

- (1) 皮下，静脈内ニハ水溶性ノモノヲ1日100—500—1000 m.u.
 - (2) 内用ニハ1日100 m.u.—500 m.u.ヲ連續内服。
- 【包裝】(1) 水溶性注射液1cc=100 m.u. ト250 m.u.
(2) 油溶性（筋肉内）注射液0.5cc=500 m.u. 1000 m.u. 2000 m.u. ト5000 m.u.
(3) 1錠ハ100 m.u. 250 m.u., 500 m.u.

14. 「プロクリマン」 Prokliman (Ciba).

【成分】卵巢「ホルモン」，「ペリスタルチン」，「サリチル」酸「ソーダカファイン」，「ジメチール・アミノ・フェニール・メチール・ピラツオロン」。

【作用】鎮靜，血壓上昇，缺落症狀除去等。

【適應症】更年期障礙，缺落症狀，不眠症，偏頭痛，便秘，出血，月經過多。

【用法，用量】1日2—4錠，（1—2回）。

15. 「シストメンジン」 Sistomensin (Ciba).

【成分】卵巢脂肪可溶性「ホルモン」

【作用】「アゴメンジン」ト對ス。即月經ヲ制限ス。本質的ニハ生殖器ノ發育ヲ促シ臨牀的ニハ月經ヲ制限ス。

【適應症】月經過多，閉經期出血，子宮出血，子宮發育不全，面皰等。

【用法，用量】

- (1) 1日3回1—2宛。
- (2) 1日1—2「アムプレ」ヲ筋肉内注射，出血時ニハ止血マデ用フ，月經1—2日前ニ用フルト可。

16. 流動黃體「エキス」 Soluble Extract Corpora Lutea (Parke Davis) (三共).

【成分】 黃體製劑 1cc 中溶解性「エキス」0.02g ヲ含ム。

【適應症】 月經閉止, 月經過少, 月經時「ノイローゼ」, 惡阻, 更年期障礙。

【用法, 用量】 1 回 1cc.

17. 「テリガン」 Thelygan (Henning) (三共).

【成分】 卵巣「ホルモン」, 甲状腺, 副腎, 脾臓及腦下垂體「エキス」ト鹽酸「ヨヒンピン」。

【適應症】 無月經, 月經困難, 更年期障礙, 性器發育不全, 不妊症, 不妊症等。

【用法, 用量】

(1) 筋肉又皮下ニ 1 回 1cc 宛注射。

(2) 1 回 1 錠, 1 日 3 回食後服用。

睾丸製劑

幼時睾丸ヲ除去スレバ男子ノ第二次性徴現レズ。卵巣ト同様睾丸ハ腦下垂體, 「クローム」親和系ニ拮抗スル。

【適應】 生殖器性神經衰弱, 陰萎, 早漏, 老衰, 血脈充進, 心悸充進, 不眠, 半身不隨, 「モヒ」中毒等。

1. 乾燥睾丸實質 Orchic substance desiccated (Parke Davis) (三共).

【用法, 用量】 1 回 0.2—0.65 gr (末)

0.065 gr. ハ新鮮睾丸實質約 0.455 gr. ニ相當ス。

2. 「オルヒス」 Orchic substance (Wilson, マルホ).

【用法, 用量】 末 0.4—1.2, 錠 3—9 錠ヲ 3 回ニ分服。

3. 「オルヒチン」 Orchitine (Byla) (丸善).

【用法, 用量】

(1) 注射 1 日 1 筒又隔日ニ 1 筒 (2cc) ヲ皮下, 筋肉内。

(2) 末 1 日 1.5—2.0 (4—8 錠) 1 錠=0.25.

4. 「サピエニン・エム」 Sapienin—M (三共).

【用法, 用量】 無熱時毎日又隔日ニ 1 回 20cc (1 筒) ヲ靜脈内注射。

5. 「スペルマチン」 Spermatin (武田).

【用法, 用量】

(1) 1 回 1—2 cc ヲ毎日又隔日 1 回皮下注射。

(2) 1 回 3 錠ヲ 1 日 3 回。

6. 「スペルミン」 Spermin (Poehl).

【成分】 睾丸, 卵巣, 攝護腺, 甲状腺, 脾, 脾中ノ白血球ヨリ得タル「ヌクレイン」分解物。

【用法, 用量】

(1) 1 回 2cc ヲ毎日又隔日ニ皮下注射, ヤ、重症ニハ 1 日 1—2 回。

(2) 「エツセンツ」1 日 2—3 回食前 30 分 15—20 滴。

(3) 1 日 3 回 2 錠宛食前服用。

肝臓製劑

肝臓ノ機能ノ全體ハ末ダ明ラカデナイガ、毒素ヲ無毒ノモノトスル作用ノアルコトハ判ツテキル。葡萄糖ヲ「グリコーゲン」トシテ保有シ必要ニ應ジテ之ヲ體內ニ送り、又膽汁色素ヲ製シテ一部ハ膽囊内ニ貯ヘル。血液ノ凝固ヲ助ケル作用モアル。即チ脱落症トシテ「アンチトロムピン」過剰ニヨル血友病ヲ見ルコトガアルノデアル。ソノ他ノ詳細ナ内分泌機能ハヨク判ラナイ。造血器官ニ働ラキ造血機能ヲ充進セシメル(貧血ニ對スル肝臓食餌—貧血ノ條參照)。

1. 「ヘバラクチン」 Hepalactin (田邊元).

【成分】 肝、脾、ノ「ホルモン」

【適應症】 消化不良, 下痢, 便秘等。

【用法, 用量】 1 日 3 回 0.9 ヲ分服。錠ハ 3—6 錠。

2. 「ヘパチン」 Hepatine (Byla) (丸善)

【成分】 豚ノ肝ヨリ製ス。1g. (末) ハ肝 4g. ニ當ル。

【用法, 用量】 悪性貧血, 肝諸疾患, 黄疸, 膽石 1 日 0.5—1.0 (4—8 錠)。注射ハ隔日ニ 1 筒 (2cc) ヲ皮下又筋肉内。

【註】 (1) 「ヘパン」Hepan (大日本製藥) ハ牛ノ肝ヨリ製ス。1日 1—3g (末) 又 4—12 錠。1 錠=0.25.

(2) 鐵「ヘパン」Hepan.Eisen ハ「ヘパン」ニ還元鐵ヲ配ス。1 日 4—12 錠。

3. 「ヘパトローゼ」 Hepatose (田邊元)

【成分】 生肝臓有効成分, 「ビタミン」, 解毒「ホルモン」, 「グリコーゲン」, 鐵蛋白, 「レチチン」, 等ヲ含ム。

【用法, 用量】 貧血, 結核ニ 1 日 3 回毎食後 1g.

4. 「ヘパトキシ」 Hepatoxin (田邊元).

【成分】 河豚ノ肝ヨリ抽出セル毒素溶液。

【作用】 末梢ノミヲ麻痺ス。「モヒ」代用品。

【適應症】 坐骨神經痛, 夜尿症, 喘息, 陰萎, 腰痛, 胃痙攣等。

【用法, 用量】 0.7—2cc ヲ毎日又隔日ニ皮下注射, 連用スル時ハ増量シテ 4.0g. ニ至ル。1 筒=1cc.

5. 「マルトレバー」 Malt-lever (和光堂).

【成分】 頓肝ノ造血解毒「ホルモン」, 「ビタミン」ヲ含ミ, 「マルツエキス」ヲ配ス。

【用法, 用量】 貧血, 浮腫, 脚氣ニ大人 1 回 10—15 gr. 朝夕 2 回。

6. 「ヤクリトン」Yakriton (三共).

【成分】 肝臟解毒「ホルモン」.

【適應症】 重症幼乳兒消化不良, 肺炎, 百日咳, 尿毒症, 腎炎, 蛋白尿, 亞阻, 夜尿症.

【用法, 用量】 1 單位 (1 cc) ハ家兎體重 1 kg ニツキ 3% 鹽化「アムモニウム」10.0 cc ノ腹腔内注射ニヨル痙攣ヲ 5 分前皮下ニ用ヒ豫防シ得ルト云フ. 皮下又注射料トス.

血管壁製劑

1. 「アニマザ」Animasa (Osnabrück) (田邊元).

【成分】 幼若動物ノ血管内膜ト中膜ヨリノ「ホルモン」.

【適應症】 高血壓, 動脈硬化, 腦出血, 萎縮腎等.

【用法, 用量】

- (1) 注射 2—3 日毎ニ 1 cc 宛筋肉内
- (2) 1 日 2 回 1 錠又 0.3 g. 宛服用.

2. 「カリクレイン」Kallikrein (Bayer).

【成分】 循環系有効「ホルモン」.

【適應症】 高血壓, 狭心症, 「アクロチアノーゼ」, 「アクロパレステジー」, レノー氏病, 間歇性跛行症, 癩皮症等.

【用法, 用量】

- (1) 内服 1 日 25—50 滴宛 1 日 3 回.
- (2) 筋肉内注射ハ 1/2—1 筒 (0.5—1 cc).

3. 「テラツーン」Telatuten (Luitpold).

【成分】 血管内, 中, 外膜ノ成分.

【用法, 用量】 「アニマザ」ト同ジ適應症ニ 1 週 2, 3 回 1「アムプレ」(1.1 cc) ヲ徐々ニ靜脈内注射, 12—20 回ニテ終了.

骨格筋製劑

「ミオストン」Myoston (Henning) (三共).

【成分】 骨格筋ヨリノ抽出製劑.

【適應症】 狭心症, 冠狀動脈硬化等.

【用法, 用量】

- (1) 1 日 1—2 回 1cc (1 筒) 宛皮下又筋肉内.
- (2) 内服ハ 1 日 20 滴宛 1 日 2—3 回.

心臓製劑

「ラカノール」Lacarnol (Bayer)

【成分】 心臓「ホルモン」劑. 骨格筋「エキス」ノ「ヌクレシード」. 冠狀動脈ヲ選擇的ニ擴張ス.

【用法, 用量】 恒久性不整脈, 心臓性喘息ニ用ヒ, 又「デギタリス」ト併

用ス. 1 回 10—25 滴ヲ 1 日 1—3 回内服. 1 日 1—2 回皮下ニ 1 cc (1 筒) ヲ注射.

松果腺製劑

【作用, 適應】 性的興奮ヲ抑制減退シ鎮靜劑又月經困難ニ用フ.

1. 「エピグランドール」Epiglandol

松果腺無蛋白水溶液, 1 cc ハ新鮮松果腺 0.2 ニ相當ス.

2. 乾燥松果腺錠 Prineal Gland Tablets (Parke Davis) (三共).

【成分】 幼牛ノ松果腺ヨリ得. 1 錠ハ新鮮腺質 0.039 g. ニ對應.

【用法, 用量】 1 回 1 錠ヲ 1 日 3 回, 連用ス. 1 錠=0.0065.

脾臓製劑

「ホルモナル」Hormonal (友田)

【成分】 消化時胃粘膜ヨリハ蠕動充進「ホルモン」分泌サル (Zuelzer 氏). 此ノ「ホルモン」ハ脾ニ貯ヘラルト云フ.

【適應症】 腸痙攣, 慢性便秘.

【用法, 用量】 腸筋内ニ 15—20 cc ヲ注射ス. 時ニ副作用 (發熱, 血壓下降) アリ. 放尿ヲヨク伴フ.

〔註〕 「ネオホルモナル」Neohormonal ニハ「ホルモナル」ノ如キ「アルブモーゼ」ニヨル副作用少ナシ. 靜脈又筋肉内ニ 20 cc ヲ注射.

胸腺製劑

1. 乾燥胸腺 Glandula Thymi siccum

【成分】 1 錠 (0.05) 中有効成分 0.015 ヲ含ム. 新鮮胸腺 0.3 ニ相當ス.

【適應症】 1 日 12—15 個ヲ徇僕病, バセドウ氏病, 萎黃病ニ與フ. 胸腺淋巴體質ニハ用ヒズ.

2. 「チモグランドール」Thymoglandol (Grenzach).

【用法, 用量】 1 日 1—3 錠又ハ毎 2 日 1 筒ヲ皮下注射ス.

3. 「サイマスグランド」Thymus Gland, Desiccated (Parke Davis) (三共).

【成分】 縮羊胸腺ノ乾燥粉末. 0.065 g. ハ胸腺ノ 0.325 g. ニ當ル.

【用法, 用量】 胸腺ノ早期退行, 痛風等ニ 1 回 0.13 ヲ 1 日 3—5 回.

胎盤製劑

乾燥胎盤實質 Desiccated Placenta (Parke Davis) (三共).

【成分】 新鮮ナル牛胎盤ヨリ脂肪ヲ除キ粉末トナシ, 「カプセル」ニ入ル.

【用法,用量】 1回1「カプセル」ヲ1日3回。乳汁分泌促進劑トシテ服用。

臍帶製劑

「ピーオーユー」P-O-U Hormon (日本新藥)。

【成分】 哺乳類臍帶「ホルモン」, 癭細胞ヲ分解スト (石原)。

【用法,用量】 1日1—2 cc。ヲ上膊皮下注射, 1日0.3—0.6 (3—6錠)ヲ食間3回。

肺臟製劑

咯血, 肋膜炎, 内臓出血, ソノ他止血劑トシテ用ヒラル。

1. 「クラウデン」Claudein (Fischl)。

【成分】 肺抽出液。「トロムボキナーゼ」ヲ含ム。

【用法,用量】

- (1) 1回10 ccヲ1日1—2回注射皮下, 筋肉内。1筒=2.5
- (2) 1日4—8錠。
- (3) 液1回10 ccヲ1日1—2回。

2. 「プユルミン」Pulmine (Byla) (丸善)。

【成分】 山羊肺臟「エキス」, 末1gハ肺6.0g。ニ相當スル。

【用法,用量】

- (1) 1日4—10g (4—8錠)ヲ内服。
- (2) 2日毎ニ1筒 (2cc)ヲ皮下又筋肉内注射。

乳腺製劑

乾燥乳腺實質 Mammary Substance, Desiccated (Parke Davis) (三共)。

【成分】 幼牛ト成牛ノ乳腺組織乾燥末。帶灰褐色特異ノ臭味アリ。

【適應症】 卵巣機能亢進ニヨル月經困難及過多。

【用法,用量】 1回0.325—0.65gヲ内服。

腎臟製劑

「レニン」Rénine (Byla) (丸善)。

【成分】 豚ノ腎ヨリ採取セル「エキス」, 1gr (末)ハ臟器6gニ相當ス。

【用法,用量】 尿毒症, 腎炎ニ1筒宛毎2日皮下又筋肉内。或ハ1日2.0—6.0: 1日4—8錠。

上皮小體製劑

1. 「パラチロイヂン」Para-Thyroidine (Byla) (丸善)。

【成分】 上皮小體ノ抽出「エキス」, 1ccハ腺ノ0.05gニ相當ス。本液ハ痙攣性毒物中和物質ヲ血液中ニ送出ス。

【適應症】 バセドウ氏病, パーキンソン氏病, 「テタニー」等。

【用法,用量】 毎2日1筒 (2cc)ヲ皮下又ハ筋肉内注射。

2. 乾燥上皮小體錠 Parathyroid Tablets (Parke Davis) (三共)

【成分】 1錠ハ0.0065gヲ含有シ, 0.052gノ腺質ニ相當ス。

【用法,用量】 1回1錠。

攝護腺製劑

「プロスタチン」Prostatine (Byla) (丸善)。

【成分】 豚又ハ牛ノ攝護腺總「エキス」, 末1gハ牛ノ腺5gニ相當ス。

【適應症】 陰萎ソノ他攝護腺障礙。

【用法,用量】

- (1) 隔日ニ1筒ヲ皮下又筋肉内注射。
- (2) 1日0.4—0.6 (末), 4—8錠。

海豚製劑

1. 「ヘパトキシシン」Hepatoxin

【成分】 河豚ノ肝ヨリ製ス。肝臟製劑参照。

2. 「テトロドトキシシン」Tetrodotoxin (三共)。

【成分】 ふぐ毒素ノ純正品。「モルモット」1kgニ對スル最小致死量1/14ニ相當スル分量ノ50倍ヲ0.5%石炭酸水1cc中ニ含マセリ。

【作用】 神經毒

- (1) 少量ハ知覺, 運動神經及中樞ヲ麻痺ス。
- (2) ヤ、多量ニナレバ迷走神經ヲ麻痺ス。
- (3) 更ニ進ンデ血管運動神經, 呼吸中樞ヲ麻痺スル。
- (4) 藥用量デハ鎮靜鎮痛鎮痙的ニ作用ス (夜尿症ニ用フ)。
- (5) 尿路ヲ充血セシム (膀胱, 尿道炎ニ用ヒズ)。

【副作用】 口圍, 舌尖ノ一過性知覺異常, 頭部充血等。

【適應症】 神經痛, (ロイマチス), 喘息, 百日咳, 破傷風, 陰萎, 夜尿症, 性交時性或缺乏症等。

【禁忌】 膀胱, 尿道疾患。

【用法,用量】 1回0.5—1.0ccヲ皮下ニ毎日注射ス。

浣腸劑

Klystiermittel

浣腸ハ排便, 滋養供給, 或ハ藥劑適用等ノ意味ニ用ヒラル。排便ガ充分行ハレナイト毒物ガ腸管カラ體內ニ吸收サレテ色々ノ忌ハシキ症狀ヲ呈スルカラ速カニ排便ノ方法ヲ講ジネバナラナイ。又經口ノニ榮養攝取ノ不可能ナ時ニハ直腸榮養ヲ施行シナクレバナラナイ。強心劑トシテ屢々用ヒラル「ヂギタリス」ノ「グリコシード」ハ「メヂウム」ニヨツテ非常ニ影響ヲ受ケルモノデアツテ經口ノ投與デハ消化分泌液ノ影響ヲ受ケルカラ

場合ニヨリ非經口の投與が必要ナル。カ、ル時ニハ直腸内適用ニヨツテソノ吸收、目的ヲ達セシメルノデアル。又藥劑ノ直腸内適用ハ下痔靜脈ヨリ吸收サレテ下腹靜脈ヨリ大靜脈ニ入ルカラ、門脈閉鎖ノ場合ニモ靜脈内注射ニ準ジテ應用サレルモノデアル。通常「グリセリン」洗腸器ヲ用フルガ、榮養補給ニハ「イルリガートル」ヲ用ヒ或時ハ點滴灌腸 Tropfenklystier, Dauereinlauf ヲナシ或時ハ高壓灌腸 hohe Irrigation ヲ行フ。後者ハ「イレウス」ニ行ハレル。

生理的食鹽水、リンゲル氏液、等張葡萄糖液 (5%) 等ノ點滴灌腸ハ又身體乏水ヲ防グ目的ニ使用ラレル。

排便洗腸料 (孰レモ 1 回量)

- (1) 「グリセリン」 5.0—10.0—15.0 微温湯 10.0—20.0—30.0
 - (2) 「グリセリン」 30.0 重碳酸「ソーダ」 5.0 温湯 250.0
 - (3) 「ヒマシ」油 10.0—30.0
〔註〕 代用品、等量ノ「オレーフ」油、胡麻油。
 - (4) 藥用石鹼 10.0 微温湯 100.0
〔註〕 之ニ少量ノ「グリセリン」ヲ加フルコトアリ。
 - (6) 體温ノ水 500—1000 cc.
〔註〕 之ニ少量ノ食鹽ヲ加フルコトアリ。
- 以上ハ適宜反復ヲ要スルコトガアル。1 回ニハ大體 200—400 迄ヲ用フル。

滋養洗腸料

水分、鹽類、糖分 (特ニ葡萄糖)、蛋白質ソノ他ノ窒素化合物、脂肪等ノ補給ヲ目的トスル。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| (1) 牛乳 250.0 | 卵黃 2 個 |
| 赤酒 30.0 | 食鹽 3.0 |
| (2) 卵黃 3—5 個 | 20% 葡萄糖 150.0 |
| 食鹽 3.0—5.0 | |
| (3) 牛乳 300.0 | 卵黃 3 個 |
| 食鹽 3.0 | 澱粉 30.0 |
| 赤酒 20.0 | |
| (4) 牛乳 250.0 | 葡萄糖 6.0 |
| (5) 牛乳 100.0 | 卵黃 2 個 |
| 重湯 50.0 | 「サナトーゲン」 10.0—15.0 |
| (6) 牛乳 100.0 | 卵黃 2 個 |
| 「デキストリン」 1.5 | 食鹽 1.5 |
| 赤酒 10.0—15.0 | 阿片「チンキ」 2—5Gtt |
| (7) ノオルデン・サロモン氏 | |
| 第一法 | 第二法 |
| 「デキストリン」 100.0 | 「リバ」 60.0 |
| 「アルコール」 9.0 | 「アルコール」 9.0 |
| 食鹽 2.5 | 食鹽 2.5 |
| 水 300.0 | 水 300.0 |
| (計 700 カロリー) | (計 700 カロリー) |
| (8) ノオルデン・サロモン氏點滴洗腸料。 | |

- | | |
|----------------|----------------|
| 「デキストリン」 150.0 | 「デキストリン」 150.0 |
| 食鹽 7.0 | 「リバ」 50.0 |
| 「アルコール」 30.0 | 食鹽 7.0 |
| 水 1000.0 | 「アルコール」 30.0 |
| | 水 1000.0 |
| (9) シュミツト氏 | |
| ハイデン榮養素 44.0 | 「デキストリン」 60.0 |
| 食鹽 2.7 | 水 300.0 |
| (計 664 カロリー) | |
| 上記 1 日 2 回洗腸 | |
| (10) 葡萄糖 6.0 | 牛乳 250.0 |
| 食鹽 1.0—2.0 | |
| (11) ボアス氏 Boas | |
| 牛乳 250.0 | 卵黃 2 個 |
| 赤酒 20.0 | 澱粉 10.0 |
| 食鹽 2.0 | |

以上患者ニハ左側臥位又仰位ヲ命ジ、點滴洗腸法ヲ最良トス、洗腸後ハ少クモ 2 時間安靜ヲ命ジ、又阿片「チンキ」ニテ前處置ヲナシ後ニ注腸ヲ行ハナイト蠕動ノ充進ニヨリ内容ヲ排除サレルコトガアル。咳嗽ヤ努責モ勿論禁ズル。

治療的直腸洗腸料

- (1) 1—2% 重碳酸「ソーダ」水。
上記粘液溶解ノ目的ニ使用。
- (2) 石灰水 400.0 牛乳 200.0
水 200.0
上記粘液溶解ノ目的ニ洗腸料トナス。
- (3) 食鹽 10.0 結晶炭酸「ソーダ」 15.0
葡萄糖 40.0 水 100.0
上記尿毒症、「アチドーゼス」、心臟衰弱時點滴洗腸料。
- (4) 「パンギタール」 1.0—2.0 水 15.0
上記洗腸料
〔註〕 「パンギタール」ノ代用品トシテ「ヂガレーン」、「ヂギタミン」、「ヂギフオリン」等用ヒラル。又リンゲル氏液、ロツク氏液、生理的食鹽水、5% 葡萄糖ト混ジテ用ヒラレル (小灌腸 Mikroklysma)。
- (5) カンタニー氏液。
「タンニン」酸 3.0 「アラビヤゴム」 25.0
阿片「チンキ」 5—10 gtt 水 1000.0
上記收斂性洗腸料
- (6) 0.2—1.0% 「プロタルゴール」溶液。
上記收斂洗腸料。
〔註〕 同様ノ意味ニ 0.05—0.1% 硝酸銀ヲ用フルガ、後ニ食鹽水ニテ注腸、中和シテ置カネバナラヌ。0.2—0.5% 「タンニン」酸液モ亦同ジク收斂性洗腸料トスル。

- (7) 獸炭 5.0—10.0 水 500.0
上記吸着性洗腸料
〔註〕 白陶土 50.0—250.0
水 500.0
モ同ジ目的ニ使用スル。
- (8) 抱水「クロラール」 2.0 「アラビアゴム」 50.0
水 50.0
上記鎮痙鎮靜洗腸料
- (9) 1—5% 食鹽水 1% 「チモール」水
「アラビアゴム」 0.5 水適宜
上記適宜量混和、微溫湯立等共ニ注腸（殺菌、消毒、蟻蟲寄生症）
〔註〕 i. 蟻蟲驅除ニハ 0.1% 鹽規水、又ハ「ヘノボヂウム」油 20
滴ヲ加フ。
ii. 1—2% 硼酸水、0.2—0.3% 膠様銀液モ用ヒラル。
- (10) 「デガレーン」 10gtt 「ストロファンツステンキ」 10gtt
「テオチン」 0.1—0.2
上記 5cc ノ微溫湯ト共ニ心臓衰弱、腹水、浮腫等アル時ノ洗腸
料トナス。
〔註〕 門脈系鬱血時ニテ「デギタリス」ノ經口的投與モ吸收不充分ナ
ルタメ奏効思ハシカラザル時ニヨイ。

外用藥

Äussere Mittel

Remedies for external use

A. 罌法料 Umschlagmittel

1. 硼酸 Acidum boricum

硼酸ハ微弱デハアルガ防腐力ヲ有スルノデ新ラシイ又ハ甚シク化膿シテ
キナイ創傷ノ洗滌料トスル。又罌法ニハ 2—3% ヲ用フル。
刺激性ガ少ナイカラ腔（2%）、眼、口腔、膀胱（何レモ 1%）ノ洗滌料
トスル。

2. 「アルコール」 Alcohol

【用法、用量】 40—50% ヲ初期炎症ニ消炎劑トシテ用フ。

3. 過「マンガン」酸「カリ」 Kalium permanganicum

【性状】 紫黑色、柱狀結晶、水ニ紫紅色ヲ呈シテ溶解ス。液ハ日光ニ遭
ヒ速カニ分解過酸化「マンガン」ヲ析出。

【用法、用量】 罌法（1—3%）、「モヒ」中毒、磷中毒ノ胃洗滌料（1：
3000）、消毒水（0.1%）注入料（0.5—1.0%）。

4. 醋酸「アルミニウム」液 Liquor Aluminium acetici

【性状】 無色透明、酸性、醋酸臭アリテ收斂性甘味ヲ有ス。7.3—8.3%

鹽基性醋酸「アルミニウム」ヲ含有ス。冷所ニ密栓貯藏。

【作用】 防腐止血、收斂、肉芽發生防止。

【用法、用量】 罌法（1%）、止血料（1—2%）含嗽（0.25—0.5%）。

〔註〕 代用品多シ。（Alsol „Athenstedt“ etc.）。

5. 過酸化水素水 Liquor hydrogenii peroxydatii

【性状】 無色透明ノ液。3.0—3.3% ノ純過酸化水素ヲ含ム。殺菌消毒劑。

【用法、用量】 主トシテ洗滌、含嗽料（1—3%）。

〔註〕 各社製品アリ（「オキシフル」、「ピロゾン」等）。

6. 生理的食鹽水 Liquor Natrii chlorati physiologicus

【成分】 食鹽 8.5gr ヲ蒸餾水 1000 c.c. ニ溶解濾過 100°C ノ蒸氣浴中
ニテ 30 分間滅菌。

7. 次醋酸鉛液 Liquor Plumbi subacetici (鉛醋水)

【性状】 收斂性甘味アル無色透明液、大氣ニ接シ炭酸ヲ吸收シテ濁濁ス。

【用法、用量】 罌法（1—2%）、含嗽料（0.5—1.5%）注入料（2.0—6.0%）、
洗眼料（0.5—1.0%）。

8. 醋酸鉛 Plumbum aceticum (鉛糖)

【性状】 無色透明又白色、水溶性板狀結晶。ヤ、甘味アリ醋酸臭ヲ有ス。

【作用】 收斂、分泌抑制。

【用法、用量】 罌法料（0.1—0.5%）、洗滌料（0.15—0.5）含嗽料（0.1—
0.5%）、吸入料（0.1%）、點眼料（0.2—2.0%）。

9. 「レゾルシン」 Resorcinum

【性状】 無色、水溶性、微甘味。分解シ易ク特臭アリ。防腐消毒劑。

【用法、用量】 罌法（2—3%）、稀ニ内服（1 日 0.5—2.0）。

10. ブーロー水 Solutio Burowii

【成分】 鉛糖 1.0、明礬 5.0、水 100.0。

【用法、用量】 濃厚液ハ腐蝕作用アルヲ以テ 10 倍ニ稀釋外用ス。

撒布藥 Streupulver

水分ノ蒸發ヲ促シ、汗ノ吸收、血管收縮、充血消退ヲ促進セシムル藥劑。
撒布器（カビールスケ氏撒布器等 Kabierske's Pulverbläser etc.）ヲ
用フルヲ可トスル。

1. 「アイロール」 Airol, Bismutum subgallicum oxyjodatum : Wismutoxyjodidgallat (Roche).

【性状】 無臭、灰綠色ノ微細粉末。水ニ不溶。空氣ニ遭ヒ濕潤、赤色化
ス。「ヨード」44.8%、酸化蒼鉛 44.5% ヲ含ム。

【作用】 防腐、收斂、分泌制限、乾燥。創面ニテ發生機ノ酸素ヲ發生ス。

- 【用法,用量】 撒布料, 軟膏, 「ワセリン」軟膏, 坐藥 (5-10-20%)。
2. 「アリストール」Aristol (Bayer).
 【成分】 Dithymoldijodid.
 【性状】 微臭, 暗赤色, 「ヨード」46%ヲ含ム。水, 「グリセリン」ニ不溶, 「アルコール」, 「エーテル」, 「クロロホルム」ニ可溶。防腐, 制臭, 鎮痛, 分泌抑制劑。
 【適應症】 「ヨードフォルム」代用品。創傷, 火傷, 潰瘍, 婦人病, 鼻咽頭疾患等。
 【用法,用量】 撒布劑トシテ硼酸 50%ヲ混用。軟膏ニハ「オレフ」油「ラノリン」ト 5%。點眼ニハ「オレフ」油 10%。
3. 局次硝酸蒼鉛 Bismutum subnitricum
 【性状】 白色, 水ニ不溶ノ重キ粉末。殆ンド無味。
 【用法,用量】 收斂防臭劑トシテ撒布劑トナシ, 内服ニハ 0.2-1.0ヲ1日數回。
4. 局白陶土 Bolus alba
 【成分,性状】 主ニ抱水硫酸「アルミニウム」ヨリナル。白色又類白色, 磨碎シ易キ塊又粉末。
 【適應症】 撒布劑, 齒粉, 火傷等, 本劑ハ乾燥吸着作用強シ。硼酸ト混和スルコトアリ。腸「カタル」, 「コレラ」, 赤痢ニ内服セシムルコトアリ, 硝酸銀, 水銀劑ノ丸劑賦形藥トス。
5. 炭末 Carvo pulveratus, Kohle
 【成分】 獸炭末 Carbo animalis, 植物性炭末 Carbo vegetabilis 等アリ。
 【作用】 創液吸收, 惡臭除去, 細菌及「トキシシン」ノ吸著。
6. 局「デルマトール」Dermatol. (次没食子酸蒼鉛)
 【性状】 黃色, 水ニ不溶。無味ノ粉末。
 【作用】 收斂, 乾燥。
 【用法,用量】 「ヨードフォルム」代用。「タルクム」ト 1:4ノ比ニ混ズルコトアリ。内服ニハ 0.25-0.5ヲ1日數回下痢症ニ分服セシム。
7. 「オイロフェン」Europhen, Isobutylorthokresoljodid. (Bayer)
 【性状】 無臭, 類黃色粉末。水ニ不溶。防腐, 制泌, 鎮痛作用アリ, 28.1%ノ「ヨード」ヲ含ム。
 【適應症】 用法ト共ニ「ヨードフォルム」ニ準ズ。
8. 「イゾフォルム」Isoform, Parajodanisol. (Höchst)
 【性状】 無色, 「アニス」様臭氣アリ。水ニ難溶ノ粉末。爆發ノ危険アルタメ大抵ハ磷酸石灰ヲ混ジ市販ス。
 【作用】 「アリストール」ニ同ジ。(防臭, 防腐, 鎮痛等)。
 【適應症】 「ヨードフォルム」ニ準ズ。

9. 局「ヨードフォルム」Jodoformium.
 【性状】 黃色, 光澤アル葉狀結晶又結晶性粉末。窓透性臭氣アリ。水ニ難溶。「ヨード」含有 95.7%。
 【作用】 防腐, 制臭, 白血球遊出抑制, 創傷液分泌減少, 輕度ノ鎮痛作用, 肉芽發生促進。防腐作用ハ「ヨードフォルム」ガ血清, 創液ニヨリ分解, 發生機ノ酸素ヲ放出スルコトニヨル。
 極量 1回 0.2; 1日 0.6。大量ハ吸收作用ヲ呈シ, 危險ナル中毒ヲ發ス。
 【用法,用量】 撒布劑, 吹入料 (鼻腔, 咽頭), 軟膏 (1:10-15), 「タンボン」(1:20「グリセリン」) 桿狀坐藥。
10. 「ヨドール」Jodol. (Knoll)
 【成分】 「テトラヨードピルロール」, 黃色無臭無味ノ細末。水ニ難溶。「ヨード」8.9%ヲ含ム。
 【作用】 防腐, 防臭, 「ヨードフォルム」ニ代用ス。
 【註】 (1) 「ヨドール」Jodolen (Knoll)
 「ヨドール」ト蛋白ノ化合物。「ヨドール」約 30%ヲ含ム。「ヨドール」ヨリ刺戟作用少ナシ。
 (2) 「メントール・ヨドール」Mentholjodol (Knoll)。
 「ヨドール」ニ 1%ノ「メントール」ヲ伍ス。
11. 「ピリフォルム」Pyriform. (三共)
 【成分】 30%ノ「ヨード」ヲ含ム。Jod-oxychinolinsulfosäure 8分ト Natrium carbonat 2分ヨリナル水溶性粉末。消炎, 殺菌, 消毒劑。
 【用法,用量】 胃腸潰瘍, 「アメーバ」赤痢, 呼吸器炎症性疾患等ニ内服, 注射 (2% 10 cc.) 洗滌, 撒布料トシテ用フ。
12. 局「タルクム」Talcum. (滑石)
 【性状】 微細脂肪感ヲ呈スル粉末。
 【作用】 乾燥, 冷却作用アリ。皮膚病ニ用ヒ, 又丸藥ノ衣トスル。
13. 「サリチル」酸「タルクム」Talcum salicylicum.
 【成分】 「タルクム」ニ 5%ノ「サリチル」酸ヲ加フ。
 【適應症】 多汗症, 足汗, 盜汗等。
14. 「タンナール」Tannal (「タンニン」酸「アルミニウム」)
 【性状】 類褐色水ニ不溶ノ粉末。
 【用途】 撒布藥ノ外, 含嗽藥等。
15. 「タンノフォルム・タルクム」Tannoformtalcum.
 【成分】 「タンノフォルム」10.0-30.0%ヲ混ズ。
 【適應症】 多汗, 褥瘡, 濕疹等。

16. 「ビオフォルム」 Vioform. (Ciba)

【成分・性状】 Jodchloroxychinolin. 灰黄色粉末. 無味無臭. 水ニ殆ンド不溶.

【作用】 防腐, 防臭, 刺戟作用ナシ.

【適應症】 「ヨードフォルム」代用品.

【處方】 「ヴィオフォルム」 4.0—6.0, 次硝酸蒼鉛 9.0, 「ラノリン」 7.0 「オレーフ」油. 適宜. 全量 100 トナシ 「ビオフォルム」蒼鉛軟膏トシテ使用.

17. 過酸化亜鉛 Zincum peroxydum (三共)

【成分】 Zinkperoxyd 50%, Zinkoxyd 50% ヲ含ム. 白色粉末 8% ノ有効酸素ヲ含ミ, 過酸化水素ノ消毒性ト亜鉛華ノ收斂性トヲ有ス.

【用法】 濕疹, 火傷等ニ 10% 軟膏又ハ撒布劑. 内服ニ 1 日 0.5—0.7 ヲ適量ノ「アルカリ」ト共ニ下痢ニ用フ.

「パスタ」泥膏 Pasta.

油脂ト粉末トヲ練和, 粥様ノ稠度ヲ有スル藥劑. 作用ハ兩成分ノ和ニ等シ.

1. 土肥氏「ラノリン・パスタ」Dohi's Lanolinpasta.

【成分】 「サリチル」酸 2.0, 亞鉛華ト澱粉各々 24.0 「ラノリン」 50.0

【作用】 「サリチル」酸ニハ防腐, 鎮痒, 制汗, 角質溶解ノ作用アリ.

【適應症】 濕疹 (殊ニ乾性) ソノ他癢痒性皮膚疾患.

2. 土肥氏「テール・パスタ」Dohi's Teerpasta.

【成分】 木「タール」, 硫黃華, 亞鉛華各々 10.0. 豚脂 30.0.

【作用】 木「タール」 Pix liquida ニハ皮膚刺戟ヲ去リ, 鎮痒, 消炎作用アリ. 硫黃ハ皮膚分泌液ニヨリ硫化「アルカリ」ヲ形成シ角質軟化, 寄生蟲撲滅, ナホ表皮形成, 血管收縮等ノ作用モ有スル. 亞鉛華ハ此ノ兩劑ガヤ、モスレバ却ツテ皮膚ヲ刺戟スルノデソノ緩和劑デアル. 亞鉛華自體ニハ被膜形成ニヨル收斂作用及ビ創面乾燥, 痂皮形成ノ作用アリ.

【適應症】 脂漏性濕疹, 癢痒濕疹, 寄生蟲ニヨル皮膚疾患 (癬風, 白癬, 疹癬等).

【註】 Anthrasol ハ無色「ワゼリン」ヲ用ヒ汚染ヲ防グ.

3. ラッサ氏「パスタ」Lassar's Pasta.

【成分】 亞鉛華ト澱粉右々 25.0. 米國製「ワゼリン」 50.0.

【適應症】 土肥氏「パスタ」ノ如ク濕疹ニ用フ, 「ピチロール」 5—30% ヲ加フルモ可. 苔癬ニ用フレバ癢痒ヲ去ル. 繻帶ノ使用出來ヌ箇所デハ亞鉛膠 Zinkleim ヲ用フ.

4. ウキルソン氏軟膏 Unguentum Wilsoni.

【成分】 安息香酸 1.0, 豚脂 30.0, 亞鉛華 5.0.

【適應症】 土肥氏「ラノリンパスタ」ニ同ジ.

塗布劑 Bepinselungsmittel.

油脂ニ他ノ藥劑ヲ伍シタルモノデ, 皮膚ノ分泌ヲ減ジ, 鱗屑, 痂皮ヲ除キ, 皮膚ノ乾燥ヲ防ギ表皮形成ヲ促ス.

油脂トシテハ植物性 («オレーフ」油, 椿油, 「ヒマシ」油) 動物性 (肝油 「ラノリン」, 豚脂等) 及礦物性 («ワゼリン」等) ノモノヲ用フ.

1. 「フォルマリン」水.

【成分】 1.0—10.0%

【適應症】 多汗症

2. 「クローム」酸水.

【成分】 5.0%.

【適應症】 足汗症.

3. 「イヒチオール」劑

(1) 50% 「イヒチオールグリセリン」

【適應症】 炎症, 火傷, 丹毒, 癬.

(2) 「イヒチオール・ワゼリン」等分ニ混ジ消炎丹毒ニ用フ.

(3) 「イヒチオール, アルコール」等分ニ混ジ消炎, 丹毒ニ用フ.

(4) イヒチオール」銀液.

【成分】 「コルラルゴール」 2.5, 「イヒチオール」 5.0, 「グリセリン」 10.0, 水 25.0.

【適應症】 蟲様突起炎, 子宮周圍炎.

4. 肝油劑

(1) 1.0% 「メントール」肝油.

(2) 1.0% 「オレーフ」油肝油.

(3) 10.0—50.0% 「グアヤコール」肝油.

(4) 10.0—30.0% 「クレオソート」肝油.

【適應症】 上記孰レモ肋膜炎, 腹膜炎ニ塗布.

5. 「ワゾゲン」劑 Vasogenpräparate.

(1) 20% 「グアヤコール, ワゾゲン」.

(2) 10% 「クレオソート, ワゾゲン」.

上記孰レモ腹膜炎, 肋膜炎ニ用フ.

(3) 6% 「ヨード・ワゾゲン」. 結核性淋巴腺炎ニ外用.

【註】 「ワゾゲン」ハ含酸素「ワゼリン」, 濃厚ナル黄褐色澄明液. 賦形藥トシテ用フ. 以上ノ外ニ「カンフル・クロホルム・ワゾゲン」, 「サリチルワゾゲン」, 「イヒチオール・ワゾゲン」ヲモ製ス.

6. 「メントール」劑

(1) 「メントール・オレーフ」油

【成分】「メントール」1.0, 「ラノリン」及「オリーブ」油各々 10.0

【適應症】神經痛, 筋痛.

(2) 「メントール・アルコール」(2.0—10.0%)

【適應症】癢痒鎮靜, 頭痛外用藥.

(3) 石炭酸「メントール・グリセリン・アルコール」

【成分】石炭酸 1.0—2.0, 「メントール」5.0, 「グリセリン」10.0, 「アルコール」90.0.

【適應症】癢痒鎮靜.

7. 「クロロホルム」劑

(1) 50% 「カンフルチンキ・クロロホルム」

【適應症】神經痛, 筋痛.

(2) 「クロ・フォルム」擦劑.

【成分】「クロ・フォルム」, 「カンフル」, 「オリーブ」油各々等分.

【適應症】神經痛, 筋痛.

(3) 「イヒチオール・クロロフォルム・カンフルチンキ」

【成分】「イヒチオール」15.0, 「クロロフォルム」20.0, 「カンフル」80.0.

【適應症】神經痛, 筋痛.

8. 石炭酸劑

(1) 5% 石炭酸「ワゼリン」

【適應症】炎症, 丹毒.

(2) 毛生液 Haarmittel.

【成分】「カンタリスチンキ」20.0, 「ヒマシ」油 10.0, 石炭酸 5.0, 「アルコール」100 迄. 「ベルガモット」油 適宜.

【適應症】禿髮症.

(3) 土肥氏禿髮液.

【成分】「カンタリスチンキ」10.0, 石炭酸 5.0, 「ラベルデル」精 10.0, 硼酸飽和「アルコール」80.0.

【適應症】禿髮.

(4) 石炭酸「レゾルシン・アルコール」.

【成分】石炭酸 2.0 (鎮痒), 「レゾルシン」1.0 (消毒還元), 「グリセリン」10.0, 「アルコール」及薔薇水各々 50.0.

【適應症】根性脱毛=毎日塗布.

9. 石灰水含有劑

(1) 杏仁石灰水

【成分】杏仁水 10.0, 石灰水 30.0, 「グリセリン」20.0.

【適應症】癢痒鎮靜.

(2) 火傷油.

【成分】亞麻仁油及石灰水等分.

【適應症】「ガーゼ」に浸シ火傷=覆法ス.

〔註〕止痛ニハ「アネステジン」, 「オルトフォルム」ヲ 5% 加フ.

10. 「カンフル」劑

(1) 「カンフルチンキ・クロロホルム」各々等分宛. 神經痛, 筋痛=外用. (既述)

(2) 「イヒチオール・クロロホルム・カンフルチンキ」(既述).

(3) クムメルフェルド氏液 Liquor Kummerfeldi.

【成分】沈降硫黃 12.0, 「カンフル」1.0, 「アラビアゴム」6.0, 薔薇水又石灰水 100.0.

【適應症】瘡瘡, 酒渣鼻. 輕度ノ刺戟アルタメ急性炎症ニ用ヒズ. 鉛ニ遭ヒ黑色トナル.

11. 「サリチル」酸劑

(1) 2.0—4.0% 「サリチル」酸「アルコール」.

【適應症】癢痒鎮靜.

(2) 20.0—50.0% 「ザレーン・アルコール」.

【適應症】「ロイマチス」, 神經痛, 痛風.

〔註〕「ザレーン」ハ「サリチル」酸ノ「メチル」及「エチルグリコール」酸「エステル」.

(3) 安息香「チンキ」, 「サリチル」酸「オリーブ」油.

【成分】安息香「チンキ」3.0, 「サリチル」酸 2.0, 「オリーブ」油 195.0.

【適應症】禿頭.

(4) 洗髮水.

【成分】「サリチル」酸 1.0, 「メントール」1.0, 「レゾルシン」5.0, 「ヒマシ」油 1.0—2.0, 「アルコール」200.0.

【適應症】禿髮.

12. 「ペルーバルサム」劑

(1) 50% 「ペルーバルサム」

【適應症】疹癬.

(2) 「カンフルペルーバルサム」.

【成分】「カンフル」1.0, 「ペルーバルサム」1.5 白堊 40.0, 亞麻仁油 80.0.

【適應症】凍瘡 (「ペルーバルサム」ニハ消毒, 皮膚保護作用アリ).

13. 「オリーブ」油劑

(1) 50% 亞鉛華「オリーブ」油.

【適應症】濕疹.

(2) 50% 「ピチロール・オリーブ」油.

【適應症】濕疹, 丹毒, 癬瘡.

(3) 「メントール・オリーブ」油.

【成分】「メントール」1%

【適應症】腹膜炎, 肋膜炎 (既述).

〔註〕「ラノリン」油, 「オリーブ」油 各々 10.0 = 「メントール」1.0 ヲ加ヘ神經痛, 筋痛ニ用フ (既述).

(4) 「クロロフォルム」擦劑.

【適應症】神經痛, 筋痛 (既述).

(5) 10% 「タンニン」酸「オリーブ」油.

【適應症】痔核。

14. 「レゾルシン」劑

(1) 「レゾルシン・アルコール」。

【成分】「レゾルシン」2.0—50.0, 「グリセリン」10.0, 「アルコール」100.0, 薔薇油 5 滴。

【適應症】皮脂漏, 癬風。

(2) 石炭酸「レゾルシン・アルコール」。

【適應症】批癩性脫毛(既述)。

15. 硫黃劑

(1) 「ミチガール」Mitigal (Bayer)。

【成分】25% ノ硫黃ヲ含ム。

【適應症】疥癬, 頑癬, 寄生性濕疹, 癬風等。

(2) 「デシフェクトール」Desinfectol。

【成分】10—50.0% トナシ用フ。

【適應症】疥癬。

〔註〕乳劑ハ沈降硫黃ト本劑 20.0 ニ水 80.0 ヲ加フ。用法同ジ。

(3) クルメルフェルド氏液

【適應症】瘡瘡, 酒渣鼻(既述)。

16. 日燒豫防水

【成分】鹽規 5.0—10.0, 「グリセリン」10.0, 「アルコール」45.0, 薔薇水 45.0。

【適應症】日燒豫防。

17. 「トリパフラビン・アルコール」

【成分】「トリパフラビン」5.0, 「グリセリン」2.5, 「アルコール」至 50.0。

【適應症】寄生性匍行疹, 毛瘡。

18. 凍傷液

【成分】「ヨードチンキ」2.0, 「ヒマシ」油 3.0, 純「アルコール」5.0, 「グリセリン」5.0, 「コロヂウム」30.0。

【適應症】凍傷。

19. ベルツ水 Baelz's Lösung.

【成分】苛性「カリ」1.0, 「グリセリン」30.0, 「アルコール」30.0, 水 40.0。

【適應症】凍瘡及皮膚皸裂(ひび)豫防。

20. 「トリクロール」醋酸 Trichloressigsäure.

【適應症】20—30—50% ヲ母斑, 疣贅, 雀斑, 血管腫ニ用フ。

【用法, 用量】綿棒ニ浸シテ塗布患部ノ白變シタル後, 殺菌「ガーゼ」ヲ當テ 10% 硼酸亞鉛華軟膏ヲ「リント」ニ伸シ貼布。痂皮脱落後反復ス。綿帶ヲ施スベシ。

〔註〕「エスカー」膏(マルホ) Eskar ointment ハ 25% 「トリクロール」醋酸軟膏。

E. 軟膏 Unguentum, Salbe.

濕潤面, 肉芽ニ用ヒ表皮形成ヲ促ス。化學的ニ無刺戟デナケレバナラヌ。「リント」ニ展バシ用フ。皮膚ニ藥效ヲ作用セシムルニハ皮脂ニ近イ動物性脂(豚脂, 「ラノリン」)ヲ用ヒ, 皮膚ノ保護ヲ目的トスルトキハ皮脂ト性狀ヲ異ニスル「ワゼリン」ヲ用フ。「ワゼリン」ハ米國製最モ可ナリ。

1. 「アツオデルミン」Azodermin (アニリン社)

【成分】Amido-azo-toluol ノ改良品。表皮生成劑。

【用法】「シヤールラツハロート」ト同ジニ軟膏泥膏トシテ 3—8% ノモノヲ用フ。火傷ニ特ニ可ナリ。

2. 2% 「プロモコル」軟膏 Bromocollsalbe.

【適應症】癢痒鎮靜 20% ノモノ用ヒラル。「プロモコル」ハ「プローム」有機化合物 Dibromtanninleim. 内用(1—5 日量)。

3. 「クリサロビン」軟膏 Crisalobinsalbe.

【成分】「クリサロビン」5.0—10.0% トス。

【適應症】禿髮, 白癬。塗擦後ハ「アルコール」ニテ拭ヒ, 翌日反復塗擦ス。顔面ニ用ヒズ。

4. 「イヒチオール」軟膏 Ichthyol-salbe.

【成分】「イヒチオール」10.0。單軟膏 100.0。

【適應症】癢痒鎮靜。

5. 「オルトフォルム」軟膏 Orthoformsalbe.

【成分】5—10% 「ラノリン」軟膏。

【適應症】鎮痛。肛門内裂傷。「デルマトール」, 「コカイン」, 「メントール」ヲ伍スコトアリ。

〔註〕同ジ意味ニ「アネステジン」軟膏(5—10%)ヲ用フ。

6. 「シヤールラツハロート」(Scharlachrot-salbe)

(Kalle-Bayer) (武田)

【成分】4.0% ヲ含ム。猩紅軟膏ト呼バレル。

【作用】肉芽發生, 表皮新生促進。

吸收作用(「アニリン」中毒)ニ注意ス。

〔註〕「ペリドール」軟膏 Pelidolsalbe, Diacethylamido-azo-toluol-salbe ハ「シヤールラツハロート」有効成分。「シヤールラツハロート」ヨリ刺戟少シ。2% 軟膏, 5% 撒布劑, 2% 「オレーフ」油トシテ用フ。

7. 「ツメノール」硝蒼軟膏 Tumenol-Wismutsalbe.

【成分】「ツメノール」5.0, 硝蒼 5.0, 亞鉛華 10.0, 單軟膏 50.0。

【作用】炎症々状態緩和、鎮痒、乾燥。

【適應症】膿疱、結痂性濕疹。

8. 硼酸軟膏 Unguentum Acidi borici, Borsalbe.

【成分】硼酸細末 1.0, 「グリセリン」1.0, 單軟膏 8.0 ヲ研和ス。

【適應症】濕疹、膿疱、面疱、火傷、疔、凍傷等。

〔註〕單軟膏ハ黃蠟 1.0, 胡麻油 2.0 ヲリナル。

9. クレーデ氏銀軟膏 Unguentum Argenti colloidale. (Crede), (Silbersalbe)

【成分】可溶性銀 15%, 白蠟 10%, 蒸餾水 5%, 安息香酸豚脂 70%。

【用法、用量】皮膚分ヲ「ベンチン」ニテヨク拭ヒ取り 1 日 2—3 回塗擦スルコト 10—15 分間。

10. 巴豆油軟膏 Unguentum crotonis.

【成分】巴豆油 5.0, 「カ・オ」酪 10.0, 白蠟 10.0。

【適應症】禿髮、脫毛、白癬。

11. ㊦「ヘブラ」軟膏 Unguentum Hebrae, U. diachylon.

【成分】單鉛硬膏、落花生油 各々等分ヲ重湯煎上ニ熔和シ冷却スルニ至ル迄攪拌ス。

【用法、用量】皮膚ニ貼用。塗り換ヘル時ハ「オレーフ」油又亞鉛華澱粉ニテ清拭ス。

【適應症】濕疹。

12. ㊦白降汞軟膏 Unguentum Hydrargyri album.

【成分】白降系 10 分ニ脱水「ラノリン」25 分ヲ混ジ之ニ黃色「ワゼリン」65 分ヲ研和ス。帶黃白色。

【適應症】鼻、眼瞼ノ濕疹、「パンヌス」、角膜炎等。用ニ臨ミ製スベシ。

13. カボシー氏複方軟膏 Unguentum Naphtoli compositum Kaposii.

【成分】「ベタ・ナフトール」5.0—10.0, 「カリ」石鹽 30.0, 「タルクム」10.0, 豚脂 70.0。

【作用】「ベタ・ナフトール」ニハ消毒殺菌收斂作用アリ。表皮ヲ剝脱シテ吸收作用(血色素尿等)ヲ起スコトアリ。

【適應症】痒疹、疥癬等寄生性疾患。

【用法、用量】塗擦後ハ撒布劑ヲ施ス。塗布期間 2—3 週間迄。

14. 「サリチル」酸石炭酸軟膏 Unguentum salicylo-carbolicum. (禿髮膏)

【成分】「サリチル」酸 10.0
石炭酸 5.0
「ワゼリン」 100.0 } 1 日 2 回塗布

【適應症】白髮、脫毛。

15. 硫黃軟膏 Unguentum sulfuratum; Schwefel-salbe.

【成分】硫黃華 10% ヲ含ム。

【適應症】脂漏性濕疹。

16. ウイルキンソン軟膏 Unguentum Wilkinsoni.

【成分】木「タール」1 分, 硫黃華 1 分, 「カリ」石鹼 2 分, 安息香豚脂 2 分ヲ研和シ、之ニ精製「タルク」0.5 分ヲ混和ス。灰褐色ヲ呈ス。

【作用】「テールパスタ」ニ同ジ。「テールパスタ」ニ無効ノ皮膚疾患ニ用フ。

17. 亞鉛華軟膏 Unguentum Zinci, Zinksalbe.

【成分】亞鉛華 5.0. 白色「ワゼリン」45.0

【適應症】瘡痒鎮靜。

18. 其他ノ軟膏

(a) 凍瘡ニ用フルモノ

(1) 石炭酸「ヨードチンキ・タンニン」酸軟膏。

【成分】石炭酸 1.0, 「ヨードチンキ」2.0, 「タンニン」酸 2.0, 「ラノリン」30.0。

(2) 凍瘡軟膏 Frostsalbe.

【成分】精製「カンフル」2.0, 「レゾルシン」0.5, 石炭酸 1.0, 「ワゼリン」「ラノリン」各 50.0。

(b) 神經痛、筋痛、「ロイマチス」ニ用フルモノ

(1) 「テレピン」軟膏

【成分】「テレピン」油 2.0, 「オレーフ」油 2.0, 白蠟 0.4, 單軟膏 10.0。

(2) 5% 「ロート」軟膏。

(3) 33.3% 「ザレナール」軟膏 Salenalsalbe.

(c) 收斂劑

「デルマトール」軟膏

【成分】「デルマトール」5.0, 「ラノリン」40.0, 「ワゼリン」5.0。

擦劑 Linimenta.

貼用後乾燥スルカラ糊帶ノ要ナシ。石鹼、脂肪、油類及之ニ類似ノモノヲ基礎質トス。

1. 土肥氏亞鉛華軟膏 Linimentum Zinci. (Dohi)

【成分】「トラガントゴム」5.0, 「グリセリン」3.0, 亞鉛華 10.0, 石炭酸 0.5, 水 100.0。

【適應症】 濕疹，特ニ癢痒性濕疹。

〔註〕 種々ノ藥劑ヲ伍スコトアリ。

- (1) 鎮痒ニハ石炭酸 (1—2%)，「メントール」 (1—5%)，「プロモコール」 (10%)
- (2) 寄生性疾患ニハ「ピロガロール」 (2—5%)
- (3) 同氏糊膏アリ。粉末ふのり 5.0，亞鉛華 10.0，石炭酸 0.5—2.0，水 100.0 ヨリナル。

2. 山田氏米糊膏 Reiskleisterliniment.

【成分】 米粉 8.0，安息香酸 1.0，水 100.0。

【適應症】 硫黃華 30% ヲ加ヘ疥癬藥トス。

3. 緒方氏「マクラニン」Maculanin (Ogata)

【成分】 10% 苛性「カリ」ニ白米ヲ 7—8 時間浸シテ透明ニナレバ研磨適度ノ硬サトス。

【適應症】 疣贅，雀斑，母斑，「アングイオーム」等ニ「アルコール」ニテ拭ヒタル後，本劑ヲ著ノ先ニツケ塗布，乾燥後糊帶シオク。

漆劑 (ワニス) Firnisse.

1. 「コロヂウム」Collodium.

【成分】 「ニトロモルローゼ」ヲ「エーテルアルコール」ニ溶解セルモノ。皮膚面ニ薄皮ヲ作ル。

- 〔註〕 (1) 20—40% ノ乳酸ヲ加ヘ鶏眼 (魚の目) 腫脹ニ用フ。
(2) 凍瘡「コロヂウム」ハ「カンフル」末 0.5，「ヨード」0.2，彈力「コロヂウム」20.0 ヨリナル。

2. 「トラウマチン」Traumatine.

【成分】 「グツタベルカ」10.0，「クロホルム」100.0。

【適應症】 痲皮形成作用アルヲ以テ水分ノ浸入ヲ防グニ用フ。

- 〔註〕 (1) 5.0—10.0% 「クリサロビン・トラウマチン」，寄生性皮膚病，苔癬，禿髮，白癬等ニ用フ。
(2) 5% 「ピロガロール・トラウマチン」。
(1) ニ同ジ適應。

3. 「チユール」Thyul. (鹽野義)

【成分】 Solanaceae 屬植物ノ油性成分。淡灰色ノ軟膏。凍傷各型ニ用フ。

【用法，用量】 患部ニ薄ク塗擦。(「コングリン」Congryn (マルコ) モ同ジ植物ヨリ製セリ)。

4. 「オクソチン」Oxozin. (三共)

【成分】 錫，亞酸化錫，酸化錫ノ混合物。灰白色ノ粉末。

【適應症】 癬，瘡等ソノ他葡萄狀球菌ニ因スル炎症性疾患ニ用フ。軟膏ハ 10% ノモノヲ用フ。

5. 「カルブンケン」Karbunken.

【成分】 有機性炭末。軟膏ハ「カルブンケン」25%，硼酸 5%，「ワセリン」70% ヨリナル。

【適應症】 「フルンケル」，「カルブンケル」，慢性濕疹，膿瘍，丹毒等。

6. 「ツメノール・アムモニウム」Tumenol Ammonium. (Bayer)

【性状】 黒褐色「イヒチオール」様流動體。

其他外用藥 (近來發賣サレテキルモノ)

1. 「ポアール」Poil (鹽野義)

主成分ハ Aluminium-Aceticotartarat 收斂殺菌劑。小兒ノ汗疹，膿瘡，陰部癢痒症等ニ用フ。

2. 「チルク」Zirk (三共)

【成分】 「カンフル」，「タンニン」酸，「デルマトール」，「サリチル」酸「アルミニウム」，亞鉛華，「ヨードカリ」，「グリセリン」，「チオノール」，「カルボール」，「チメルサルチル」酸「3.6 デアミノ・10・メチルアクリヂニウムクロリット」ニ基礎劑ヲ和セル軟膏。凍傷，濕疹，癢痒症ニ用フ。

【適應症】 濕疹，火傷，癢痒症，疥癬，天疱瘡等ニ軟膏又振盪劑トシテ與フ。

3. 銀「エレクトロイド」軟膏 Ointment of electroid-silver (國光—鹽野義)

【成分】 5% 純銀「コロイド」性軟膏。

【適應症】 皮膚病諸症，創傷等。

4. 「デシチン」Desitin. (田邊元)

【成分】 肝油，「ビタミン」A ヲ主トス。

【適應症】 外傷，凍傷，火傷等ニ「ガーゼ」又「リント」布ニ塗リ創面貼付ス。

5. 「デス・ザルベ」Des-Salbe. (三共)

【成分】 亞鉛華軟膏ニ肝油ソノ他數種ノ藥劑ヲ配ス。

【適應症】 創傷，潰瘍，濕疹，汗疹，丹毒，火傷等。

【用法，用量】 普通「リント」ニ展バシ貼用。

6. 「アントラゾール」Anthrasol. (Knoll)

【成分】 石炭「テール」ト杜松「テール」ヨリナル。

【適應症】 「テール」ニ同ジ。

【用法，用量】 原液ノマ・又ハ 10—50% ノ「アルコール」，油類溶液，軟膏，「パスタ」トシテ用フ。

7. 「ロトーン」 Rotone. (三共)
 【成分】「デリス」根ノ有効成分ニ木「タール」、硫黃、亞鉛華ヲ配ス。
 【適應症】疥癬、濕疹、汗疱ソノ他寄生性疾患。
8. 「オイロ」 Euro. (鹽野義)
 【成分】主ニ 1% Chrysarobin ト「サリチル」酸。
 【適應症】「クリサロビン」ニ準ズ。頑癬、癩風、禿髮性、慢性濕疹等。
 【用法、用量】手指、刷毛ニテ皮膚ニ塗布。衣服ヲ汚染セズ。
9. 「カタミン」 Catamin (Riedel)
 【成分】10%酸化亞鉛、5%硫黃ヨリナル。
 【適應症】疥癬、白癬、ソノ他化膿性皮膚炎。
 【用法、用量】局部ニ薄ク塗布。
10. 「ノヴォテール」 Novoteer (三共)
 【成分】木「タール」ノ改良劑。適應「テール」ニ同ジ。
 【用法、用量】「ペースタ」、リニメント、軟膏トシテ用フ。

防腐消毒劑

Antiseptica et Desinficientia.

防腐消毒劑

細菌ノ「リポイド」、蛋白等ニ變化(蛋白凝固、酸化、溶解)ヲ及ボシ
 菌ノ發育繁殖ヲ阻止シ又菌ヲ操滅スル藥劑(主ニ外科的消毒劑ヲ掲グ)。

1. 局「アルコール」
 50—70% ヲ可トス。皮膚消毒ニ用フ。
2. 局「ヨードチンキ」 Tinctura Jodi.
 常ニ新鮮ナルヲ要ス。局法ハ「ヨード」1分ヲ「アルコール」12分
 ニ溶解セシム。「ヨード」ヲ1%ノ割ニ「ベンチン」、「エーテル」
 ニ溶解代用スルコトアリ。皮膚(後ニ「アルコール」ニテ拭フコト)
 肛門、腔等ノ消毒ニ用フ。
3. 局「硼酸」 Acidum boricum.
 1—3% ハ細菌發育ヲ抑制ス。含嗽、撒布、洗滌ニハ 2—3% ヲ用フ。
4. 過酸化水素 Hydrogenium peroxydatum.
 洗滌用(0.3—1.0%)、創傷ノ殺菌防臭ニ用フ。1000倍ノ「アルコー
 ル」ヲ加フレバ消毒力ヲ増スト云フ。各社製品アリ。
5. 局「明礬」 Alumen.
 0.5—2.0% ヲ含嗽、吸入、腔洗ニ用フ。

6. 局過「マンガン」酸「カリ」 Kalium permanganicum.
 口臭ニハ 0.1—0.2% 液、胃洗ニハ 0.1% 液、惡臭性ノ皮膚潰瘍、腔
 洗、尿道洗滌ニハ 0.05—0.5% ヲ用フ。
7. 局石炭酸 Phenolum.
 創面、器械消毒(5%)、癢痒鎮靜ニ 1—2% ヲ外用ス。「ヨード」、「ブ
 ローム」、過「マンガン」酸「カリ」ハ配合禁忌。
8. 「リゾール」 Lysol.
 「カリ」石鹼、粗製「クレゾール」各々 1分ヨリナル。創傷ニハ 1%、
 手指、器械消毒ニ 1—3%、糞尿消毒ニ 5—10% ヲ用フ。
 「アルコール」、石炭酸、「リゾール」ハ何レモ細胞「リポイド」ヲ溶解
 ス。
9. 石灰乳 Kalkmilch.
 生石灰 1 ト水 4 ヲリナル液ヲ糞尿等ノ消毒ニ用フ。2—3 時間浸漬
 スベシ。
10. 「クロール」石灰乳 Chlorkalkmilch.
 「クロール」石灰 5、水 95 ヲリナル。用法ハ石灰乳ニ同ジ。
11. 局昇汞 Sublimat.
 1000 倍溶液ニヨリ多クノ芽胞ハ死滅ス。昇汞錠ヲ 1000 cc. ノ水ニ
 溶解シテ手術ノ消毒ニ用フ。金屬器械ノ消毒ニハ用ヒズ。
12. 局「フオルマリン」 Formalin.
 室内消毒ニ過「マンガン」酸「カリ」ト混ジ噴霧狀ニシテ用フ。又蒸發
 セシム。
13. 局「サリチル」酸 Acidum salicylicum.
 0.1% (洗滌用)、皮膚病ニハ 1.0—5.0% 外用。
14. 醋酸「アルミニウム」液 Liquor aluminium acetici.
 Liquor Buronii.
 1—5% 水溶液ヲ收斂性消毒劑トシテ含嗽、電法、腔洗滌ニ用フ。
15. 「クロラミン」 T, Chloramin T. Paratoluol-
 natrium-sulfochloramin.
 殺菌力ハ石炭酸ノ 2000 倍、蛋白凝固ナク、組織ヲ害セズ。0.2—0.3
 % 液ヲ洗滌、注入、濕布ニ用フ。
 [註] 「ハロミン」ハ邦製「クロラミン」ナリ。
16. 「ヂハロミン」 Dihalomin.
 殺菌力ハ「クロラミン」T ヲリモ強シト云フ。

17. 「トリパフラヴィン」 Trypaflavin.
0.1%液ヲ洗滌, 注入ニ用フ. 皮膚疾患ニ外用サル. 邦産「トリパフラ
ヴン」アリ (「イスラビン」, 「パンセプチン」等).
18. 「ピオクタニン」 Pyoktanin.
殺菌, 防腐作用アリ. 0.1—1.0 溶液, 1—2% 撒布劑, 2—10% 軟膏
使用.
19. 藥用「メチーレンブラウ」 Methylenblau medici-
nale. (Höchst) (Bayer)
鎮痛消毒劑トシテ 4% ヲ外用. 0.1—0.3 g. ヲ 1 回内服, 0.05—
0.1 g. ヲ皮下注射.
20. 「リヴァノール」 Rivanol. 2-Aethoxy.-6.9-diamino-
acridin-lactat. (Bayer)
0.5—0.6% 食鹽水液ヲ用フ. 日光ニ遭ヒ變化ス. 洗滌ニハ 500 倍,
化膿豫防ニ組織内注射スルニハ 1000—2000倍. 腸傳染病ニハ内服 (「リ
ブノレットン」)
21. 「マーキユクローム」 Mercurochrome (ダンニング)
注射液 (1%), 創傷用 (0.5—1.0%), 洗滌用 (0.2%), 尿道淋入用
(1—2%), 眼科用 (1—2%), 一般消毒料 (2—4%), 皮膚軟膏料 (1—2
%).
〔註〕「フルメヨヂン」, 「マーキユレイ」ハ邦産品.
22. 藥用「メチール・ヴァイオレット」 Methylviolett
medicinale. (Höchst) (Bayer)
創面, 潰瘍面ニ 1—10% 液, 粘膜消毒ニハ 0.1—1% 液, 軟膏ニハ
2—10% 液.

含嗽劑
Gurgelmittel

藥品名 (用量)	備 考
硼酸 (2—3%) Acidum boricum	口内炎ニ用フ. 時ニ薄荷水ヲ加 フ.
「クエン」酸 (1—2%) Acidum citricum	

鹽酸 (1—3%) Acidum hydrochloricum	
乳酸 (1%) Acidum lacticum	
蓚酸 (0.5—1.0%) Acidum oxalicum	
「サリチール」酸 (0.1—0.2%) Acidum salicylicum	
「タンニン」酸 (0.5—1.0%) Acidum tannicum	收斂劑, 特ニ出血ニ用フ.
明礬 (0.2—0.5—1.0%) Alumen	薄荷水ヲ加ヘ用フ.
「アルムノール」 (0.2—0.5%) Alumnol, β-Naphthol-disul- fosaures Tonerde.	收斂, 消毒.
鹽化「アンモン」 (1—3%) Ammonium chloratum	
石灰水 (50.0%) Aqua Calcis s. Calcariae	
硼砂 (3.0—4.0%) Borax	硼酸ニ同ジ.
「イスラビン」 (0.05—0.1%) Israviv	濃厚液ハ嘔氣ヲ催スコトアリ.
鹽素酸「カリウム」 (1.0—3.0%) Kalium chloricum	嚙下シ中毒死ヲ起スコトアルタ メ往時程用ヒズ.
過「マンガン」酸「カリウム」液 (0.05—0.1—0.2%) Kalium permanganicum	消炎, 滅臭. 本液ニヨリ汚染セ ルモノハ 3% 蓚酸又稀釋セル 稀鹽酸ニテ洗フ.
「ローション」 (10%) Lotion	口腔, 咽頭, 扁桃腺「カタル」 安息香酸 0.2, 「フェノール」 0.05, 「レゾルチノール」 0.2 「メントール」 0.2, 「アルコー ル」 7.5, 「チモール」 0.1, 「グ リセリン」 7.5, 硼酸 1.0, 水 100.0 ヨリナル

ミルラー氏液 Miller's Lösung	10—15 滴ヲ一盞ノ水ニ 落下シ 用フ。【成分】 安息香酸 3.0, 「ラタニア・チンキ」15.0, 薄荷 油 1.0, 「アルコール」100.0
重曹 (1.0—3.0%) Natrium bicarbonicum	粘液溶解 (乾燥性咽頭炎) ニ用 フ。「オキシフル」ヲ伍用スルコ トアリ。
「オキシフル」(5.0—10.0%) Oxyful (三共)	消炎, 殺菌。「ブローム・ナトリ ウム」, 「ミルラー・チンキ」ヲ加 ヘルコトアリ。各社ニヨリ販賣 名ヲ異ニス。
「チモール」(0.1—0.2%) Thymolum	滅臭
「ヨード・チンキ」(1.0%) Tinctura Jodi	消炎
「ラタニア・チンキ」5.0—10.0% T. Ratanhiaie	收斂劑。口内炎ニ用フ
醋酸亞鉛 (0.5—1.0%) Zincum aceticum	
硫酸亞鉛 (0.2—0.5%) Zincum sulfuricum	收斂

【處方例】

- (1) 「チモール」0.25, 安息香酸 3.0, 「オイカリツプス・チンキ」15.0, 純「アルコール」100.0, 根性薄荷油 10 滴。上記適宜淨水ニ滴下シ用フ。
- (2) 「ザロール」1.0, 「ミルラー・チンキ」ト「アルコール」各々 1.0。上記 20 滴ヲ一盞ノ水ニ滴下。齒齦炎, 扁桃腺炎ノ止痛。

- 〔注意〕 (1) 芳香ヲ加ヘルタメニ「メント」水, 「ラタニア・チンキ」又杏仁水, 茴香水ヲ加ヘルコトアリ。
- (2) 色ヲ付スルニハ食用紅, 「フクシン」, 「メチレン」青等ヲ加フ。

點眼料

Augentropfmittel

點眼料使用上ノ注意

- (1) 豫メ洗眼シオク可シ。
- (2) 頭ハヤ、後方ニナシ左拇指ト示指ニテ閉眼シ眼球ヲ上方ニ向ケテ、「ピベット」ヨリ下眼瞼外眥ニ點眼ス。
- (3) 溢ル、薬液ハ左手ニ持ツ脱脂綿ニテ拭フ。
- (4) 散瞳薬, 縮瞳劑, 局所麻酔劑ヲ點眼スル時ハ患者ヲシテ涙囊部ヲ壓セシメ、鼻涙管ヘノ薬液流入ヲ防グ。

1. 「アブリノール」(中村) Abrinol.

【性状,成分】 臺灣産「ゼクリチー」豆ヨリ抽出セル「アブリン」ノ溶液。黄褐色透明, 濃稠, 酸性, 水ニ微濁, 「アルコール」, 「エーテル」ニ白濁。

【適應症】 「トラホーム」其他結膜炎。

【用法,用量】 1 號液 1—2 滴ヲ結膜内ニ點眼シ内眥ヲ壓シ鼻涙管ヘノ流入ヲ防グ。約 10 分後ニ輕キ炎症ヲ發シ 2—5 日以内ニハ疾患ト共ニ炎症消退ス。炎症ヲ發セザル時ハ 2, 3, 4 號ヲ用フ。

【注意】 炎症強ク激痛アルモノニハ添附ノ中和用血清ヲ滴下ス。重症「トラホーム」ニハ多少刺戟症狀アリ。

【包装】 第 1 號 (「アブリン」ノ 50% 「グリセリン」5000 倍溶液) 第 2 號 (500 倍), 第 3 號 (150 倍), 第 4 號 (50 倍)。

2. 硝酸銀 Argentum nitricum

【作用】 腐蝕收斂。

【用法,用量】 0.3—0.5% (分泌少量), 1.0—2.0% (分泌多量)。點眼後ハ NaCl 水ニテ銀ヲ中和シ, 刺戟症狀ニハ冷電法。

3. 硫酸「アトロピン」Atropinum sulfuricum.

【作用】 抗交感神經麻痺劑。散瞳ハ點眼後 20—30 分ニ起リ 7—10 日ニシテ復舊ス。調節機ハ完全ニ麻痺ス。之ハ虹彩括約筋, 毛様筋ニ分布セル動眼神經末梢ノ麻痺ニヨル。同時ニ眼内壓モ充進ス。從ツテ點眼前, 羞明近業不能トナルコトヲ豫告シオクベシ。點眼後ハ内眼眥ヲ壓迫ス。溶液ハ新鮮ナル可キコト。

【適應症】 虹彩炎, 虹彩毛様炎, 中心部角膜潰瘍, 虹彩脫出。

【禁忌】 綠内障及眼内壓充進ノ傾向アル者。

【注意】 碧色鹽ニ貯フ。散瞳用ニハ (0.1—1.0:100) ノ溶液ヲ用フ。

4. 鹽酸「コカイン」Cocainum hydrochloricum

【作用】 局所麻酔。初メ輕キ灼熱感アリ。次第ニ知覺ヲ失フ。過度ニ點眼スレバ角膜上皮ヲ害シ其再生力ヲ妨グ。

【用法,用量】 0.05—2.0%。

5. 「クペロン」 Cuperon. (吉萬)

- 【成分】「トリクロール・ブチール・マロン」酸銅。
 【適應症】各種「トラホーム」特ニ瘢痕性、乳嚙性ノモノ。
 【用法】5—10% ヲ適宜「ガラス」棒ニテ下結膜囊ニ入レ、閉眼シテ後ニ充分擦入ス。

6. 「クエン」酸銅 Cuprum citricum.

- 【用法,用量】0.5—1.0%.

7. 硫酸銅 Cuprum sulfuricum.

- 【用法,用量】0.5% (外來患者用)
1.0—2.0% (醫家用).

8. 「デオニン」 Dionin.

- 【作用】鎮痛、淋巴循環ヲ佳良トナシ吸收促進ス。
 【適應症】虹彩炎、角膜潰瘍、角膜斑、角膜實質炎、硝子體出血。
 【用法,用量】0.5—2.0—5.0%。
 【注意】點眼後、浮腫、流涙、灼熱感等アリ。豫メ告ゲ置ク可シ。急性刺戟症候ノ經過後ニ試ム可シ。

9. 「エムレット」 Emret. (いわしや)

- 【成分】松柏科植物ヨリノ抽出成分ト「アクリヂン」屬色素ノ配合物。赤色、透明、中性液。
 【適應症】「トラコーマ」、結膜炎、角膜潰瘍、「フリクテン」、膿漏眼、涙囊炎等。
 【用法,用量】1日2—3回點眼。家庭用ニハ2—3倍溶液ヲ與フ、注射薬アリ。消炎、鎮痛、殺菌ニ用フ。

10. 硫酸「エゼリン」 Eserinum sulfuricum

- 【作用】抗交感神經興奮劑。縮瞳、眼内壓低下。
 【適應症】虹彩脫出、「カタラクト」初期、緑内障前期、角膜潰瘍。
 【用法,用量】0.25—0.5—1.0%。
 點眼後頭痛ソノ他ノ中毒症候ヲ發スルコトアルヲ以テ、内管ヲ壓迫シ藥液ノ鼻涙管内流入ヲ防グ。
 日光ニヨリ赤變又ハ褐色トナルカラ褐色瓶ニ貯フ、作用ニハ變リナシ。
 「サリチル」酸「エゼリン」ヲ代用シ得。

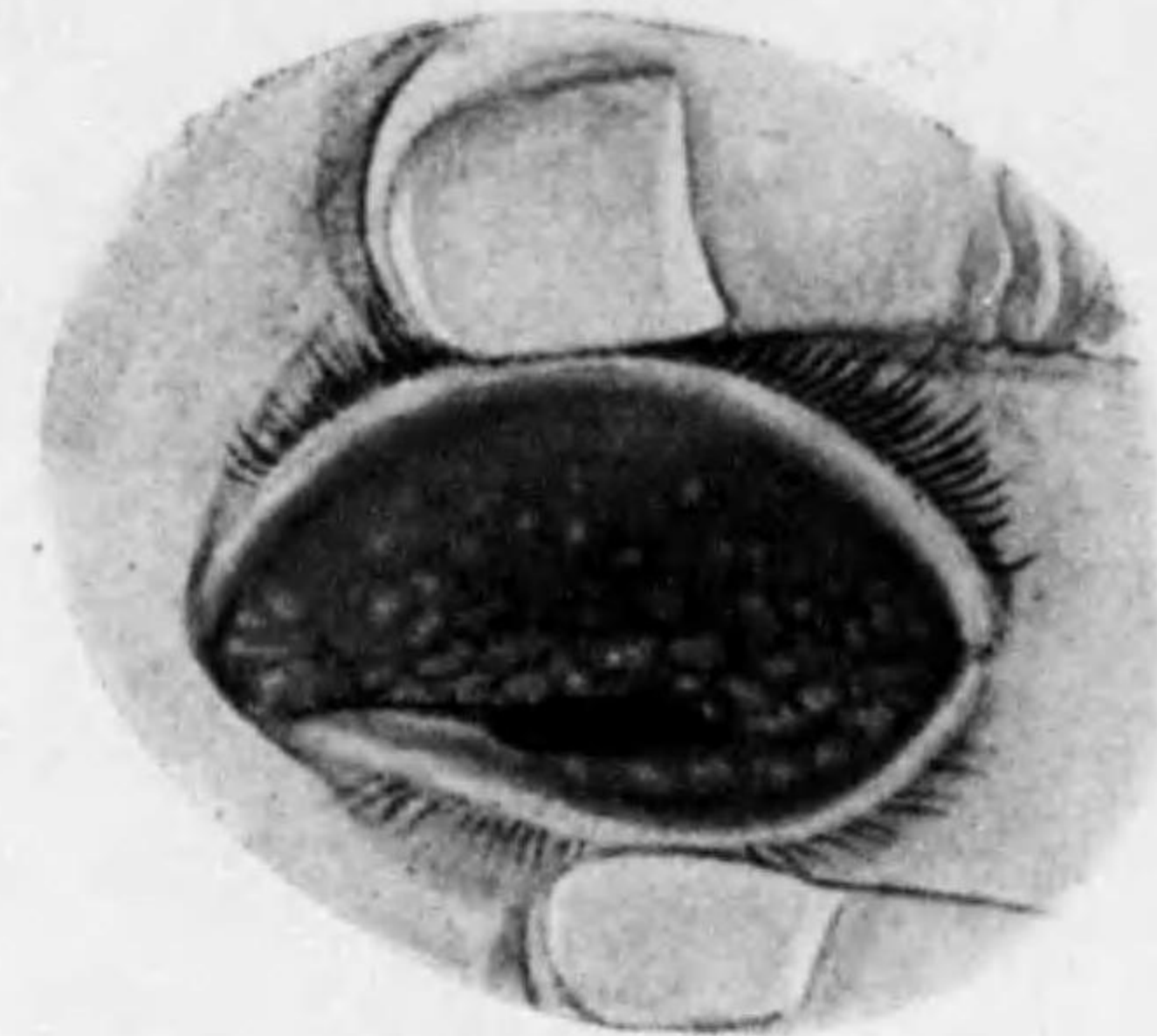
11. 「オイミドリン」 Eumydrin. (Methylatropinum nitricum).

- 【用法,用量】1—4%.

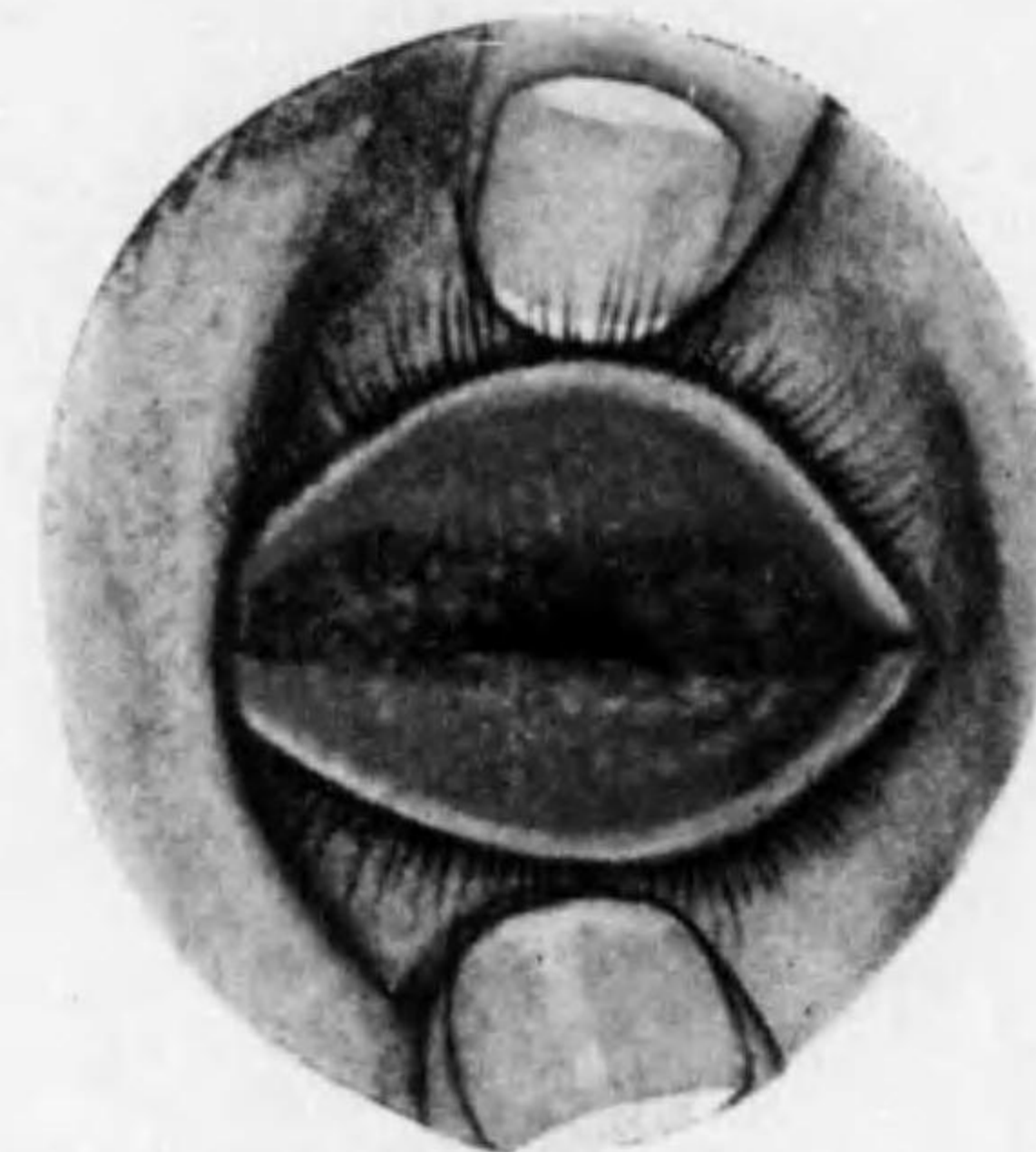
12. 「グラウコサン」 Glaukosan. (Woelm—三共).

- 【組成】左旋「グラウコサン」Laevo-glaukosan ハ「ズプラレナール・カプスール」ノ合成「アルカロイド」左旋性「デルタネフ

別表 9.



全盛期ノトラコーマ
Trachoma
腸結膜ハ充血・肥厚シ顆粒ハ桑實狀ニ密生ス。



コッホ・ウキークス氏桿菌 Koch-Weeks Bacillus
ニ因リテ起リタル膿胞性結膜炎
Conjunctivitis follicularis
肉芽増殖性ナルモ組織ノ肥厚ハ著シカラズ、多ク血管ノ走行ヲ認ム。

リン」ト非活動性「メチール」・アミノ・アチエトピロ・カテヒヤール」ノ各々 2% ヨリナル。

右旋「グラウコサン」 Dextroglaukosan ハ右旋性「ズブラレニン」ト「メチール・アミノ・アチエト・ブレンツカテヒン」ヨリナル。

「アミン・グラウコサン」 Amino-Glaukosan ハβ「イミド・アツオリアル・エチラミン」。以上三薬ハ眼壓ヲ低下ス。

【適應症】 左旋「グラウコサン」ハ慢性緑内障

右旋「グラウコサン」ハ緑内障・虹彩炎

「アミン・グラウコサン」ハ急性緑内障ニ用フ。

【用法,用量】 左旋「グラウコサン」ハ 15 分間隔ヲ置キ 3-5 回點眼ス。故ニ本治療ニハ約 1 時間ヲ要ス。屢々點眼スレバ膜ニ微細ナ結晶ヲ生ズルコトアルモ數時間ニテ消失ス。

右旋「グラウコサン」ハ豫メ 1% 「ホロカイン」又ハ「コカイン」ヲ點眼シテ後ニ 1-2 滴ヲ 2 回ニ點眼ス。後結膜下ニ注射ス。主ニ注射料トス。

「アミングラウコサン」モ 1-2% 「ホロカイン」液ヲ點眼シテ本液 1 滴ヲ鼻側ニ點ジ少ナクモ 30 分間ハ閉眼シテ。眼球ヲ四方ニ動かサセルトヨイ。之ニヨリ薬液ヲ先分ニ浸潤セシムル。

13. 「ホロカイン」 Holocain. (Höchst)

【成分】 鹽酸「パラ・ヂエトオキシ・ヂフェニールエチニール・アミジン」

【作用】 局所麻酔作用。「コカイン」ト異ナリ散瞳、血管收縮、眼内壓亢進等ノ作用ナク、強キ消毒作用アリ。

【適應症】 眼科手術（虹彩切除、異物除去等）。

【用法,用量】 1% 溶液。

14. 「ホモアトロピン」 Homoatropin.

【用法,用量】 1%。眼底検査用。

15. 「リヒテニン」 Lichtenin. (吉萬)

【成分】 鹽化「アドレナリン」ト 8 「エトキシヒノリン」 5 「ズルフオン」酸「ナトリウム」ノ溶液。

【作用】 紫外線吸収。

【適應症】 紫外線ニヨル障碼豫防（「スキー」、「スケート」、登山等）、羞明流涙ヲ伴フ疾患（結膜炎、角膜炎、虹彩炎等）。

【用法,用量】 光線照射前 10-15 分ニ 1 滴、爾後 1 滴點眼スレバ 3 時間有効。羞明性疾患ニハ 1 日 3-4 回點眼ス。

16. 「ミドリアチン」 Mydriatin.

【用法,用量】 1%。眼底検査用。

17. 「タウロ」 Tauro. (福井)

「アミノ・エチール・ズルフオン」酸ヲ主トス。他ニ有機物ヲ含

ム。1日2-3回點眼シ初メ3-5日間、重症ニハ3-5週間位用フ。

【適應症】「トラコーマ」。

18. 處方例

1) 硫酸亞鉛	0.03	3) 硫酸亞鉛	0.03
茴香水	2.0	千倍「アドレナリン」	1.0
蒸餾水	8.0	茴香水	2.0
上記點眼料(充血)		蒸餾水	8.0
2) 硫酸亞鉛	0.03	上記點眼料(結膜充血)	
鹽酸「コカイン」	0.05	4) 白降汞	0.1-0.5
茴香水	5.0	「ラノリン」	5.0
蒸餾水	5.0	「ワゼリン」	5.0
上記點眼料(充血)		上記塗布料(濕疹)	

鼻咽喉及口腔塗布劑

Bepinselungsmittel des Nasopharyngolaryngealraums und Mundes.

鼻咽喉塗布劑.

1. 「コカイン」水 Aqua Cocaini. (hydrochlor.)

【用法,用量】1.0-2.0-5.0% 液トス。

5千倍「アドレナリン」ヲ等分ニ混ズ。

【適應症】肥厚性鼻炎ニ用フ。「アドレナリン」ヲ伍用シテ吸收作用ヲ防ギ且効力ヲ増セシム。

2. 局 硝酸銀 Argentum nitricum.

【用法,用量】2-5% 溶液トシ慢性咽頭炎塗布。後食鹽水ニテ含嗽中和ス。

3. 局 「プロテイン」銀 Argentum proteinicum.

【用法,用量】

(1) 1.0-5.0% ヲ鼻咽喉塗布料。

(2) 5% 「プロテイン」銀 30.0

「メントール」油 0.5

上記萎縮性鼻炎塗布。

〔註〕局 「プロテイン」銀ハ純銀8%ヲ含ム銀ノ蛋白化合物、類黃褐色、水溶性粉末。

4. 局 「クレオソート」 Creosotum.

【用法,用量】「クレオソート」 1.0

「アルコール」 10.0

「グリセリン」 40.0

上記喉頭結核塗布料。

5. ルゴール氏液 Liquor Lugoli.

【處方】「ヨード」0.25-0.5-0.75, 「ヨードカリ」0.5-0.75-1.0, 「グリセリン」25.-30.0, 上記乾性咽頭「カタル」ニ塗布。

〔註〕「メントール」ヲ少量加フルコトアリ。

6. 局 「メントール」 Mentholum.

【用法,用量】「グリセリン」又ハ「オレーフ」油ニテ5-10% 溶液トス。咽頭塗布料。

7. 「マーキュロクロム」 Mercurochrome.

【用法,用量】1-3% ヲ口腔, 咽頭塗布料トス, 邦製ニハ「マーケレイ」Mercury (鳥居)アリ。

〔註〕「マーキュロクロム」ハ深綠色, 螢色彩アル顆粒狀結晶, 水ニ深紅色ヲ呈シテ溶解シ稀釋溶液ハ綠色ノ螢光ヲ呈ス, 殺菌力強ク, 毒性ハ少シト云フ。

8. 「ノボカイン」 Novocain. (Bayer)

【用法,用量】1.0-5.0% ヲ塗布ス。

9. 局 鹽化亞鉛 Zincum chloratum.

【用法,用量】

(1) 鹽化亞鉛 1.0, 薄荷水 30.0, 水 70.0

上記慢性咽頭「カタル」ニ塗布。

(2) 0.1-1% 鹽化亞鉛水

上記乾性咽頭「カタル」ニ1日1回塗布。

〔註〕鹽化亞鉛ハ收斂防腐作用アリ。

口腔塗布劑.

1. 局 石炭酸 Acidum carbolicum

【用法,用量】

(1) 石炭酸 0.3 } 齒痛時, 齦齒内塗布

「クロロホルム」1.0 } 用法(1)ニ同ジ。

(2) 結晶石炭酸「アルコール」溶液 } 用法(1)ニ同ジ。

(3) 5% 石炭酸水 } 用法(1)ニ同ジ。

(4) 石炭酸 9.0 } 用法(1)ニ同ジ。

「アルコール」1.0 } 用法(1)ニ同ジ。

「カンフル」25.0 } 用法(1)ニ同ジ。

(5) 純石炭酸 30.0 } 齒痛ニ用フ

純「アルコール」30.0 } 齒痛ニ用フ

「カンフル」60.0 } 齒痛ニ用フ

(「カンフェノール」ト呼バレル)。

2. 局 硼砂 Borax.

【用法,用量】20% 「グリセリン」溶液トシテ口内炎, 「アフテン」ニ用フ。

3. 局 重碳酸「ソーダ」Natrium bicarbonicum.

【用法,用量】 5.0% ノ「グリセリン」溶液ヲ口唇ノ皸裂(口唇ノあれ) 嚙口瘡ニ用フ。

4. 局 「ミルラチンキ」Tinctura Myrrhae.

【用法,用量】

- (1) 「ラタニアチンキ」ト等分ニ混合, 口内炎ニ 1日 2—4 回塗布。
- (2) 口腔含嗽ニハ 2—10%液

坐薬及腔球

Suppositoria analis et urethralis,
globuli vaginales.

肛門, 直腸, 尿道, 婦人科の疾患ニ用フル藥劑, 目的ニヨリ形, 大サ, 等ヲ異ニスル。

肛門坐薬 Stuhlzäpfchen

【注意】 重サ 2.0—3.0 トス。

【處方例】

- (1) 「タンニン」酸 0.2—0.3 「カカオ」脂 20.0
上記坐薬 10 本, 1 日 2—3 本肛門挿入。
〔註〕 「タンニン」酸ハ粘膜, 潰瘍, 創傷面ニ收斂作用ヲ呈シ, 間接ニハ止血作用ヲ呈ス。0.05—0.25% ニ於テ既ニ血管收縮ヲ起スト云フ (Heintz)。
- (2) 「チモール」 5.0 「カカオ」脂 20.0
上記坐薬 10 本ト爲シ蟻虫驅除料。
〔註〕 局「チモール」Thymolum ハ無色, 水ニ難溶ノ結晶, 石炭酸, 「クレゾール」ヨリモ防腐作用強シ。驅蟲藥トシテ 2.0—4.0 ヲ内用モシムルコトモアル。
- (3) 「サントニン」 0.05 「カカオ」脂 2.0
上記坐薬 1 本, 蛔虫驅除料。
〔註〕 局「サントニン」ハ坐薬トシテヨリモ經口の投與ノ方ガ屢々用ヒラル。1 錠 0.025。
- (4) 鹽酸「コカイン」 0.1 「カカオ」脂 10.0
上記坐薬 5 本ト爲シ, 疼痛時挿入。
- (5) 阿片末 0.3 「ロートエキス」 0.3
「カカオ」脂 20.0
上記坐薬爲 10 本 (疼痛)
- (6) 「ロートエキス」 0.2 「オルトフォルム」 1.5
「カカオ」脂 20.0
上記爲坐薬 10 本 (疼痛, 裏急後重)。
- (7) 「ゼラチン」 5.0 「グリセリン」 8.0
「クラウデン」粉末 1.5 淨水 15.0
上記爲肛門注薬, 出血時使用。

(8) 「パトリン」1 個。

上記 1 日 2—3 回 1 個宛 (出血, 裂創)。

〔註〕 「パトリン」Patolin (順天堂—小西伊) ハ主ニ卵油 eggoil (昔時ノ鶏蛋油 Chitanyu) ヨリナリ, 之ニ「タンノフォルム」硼酸, 「ズルフオイヒチオールアンモン」ヲ加フ。「ヘルミチン」Helmitin (藤澤) モ之ニ類似ノ製品。

(9) 「アリヘミン」

上記朝夕 2 回, 肛門内挿入。

〔註〕 「アリヘミン」Alihaemin (三共) ハ「サリチール」酸「アルミニウム」, 「ヨード」脂, 「パラアミノ」安息香酸「エチルエステル」, 「アニリン」色素, 「ロートエキス」, 次蒼酸 蒼鉛, 「ペルーパルサム」, 沈降硫黄, 酸化亜鉛ヨリナル。

(10) 「アヌゾール」

上記就寝前又朝夕 2 回 1 個ヲ肛門ニ挿入。

〔註〕 「アヌゾール」Anusol (Goedecke-C. Holstein) ハ「ヨードレゾルチンズルフオン」酸蒼鉛 0.28 gr. 酸化亜鉛 0.7 gr「ペルーパルサム」0.14 gr「カカオ」脂 1.68 grヨリナル。直腸癌, 腸結核, 腔瘻瘻症, 蟻虫等ニ用フ。

(11) 「ボラギノール」坐薬 (武田)。

上記朝夕, 就床時 1 個宛 3 回肛門挿入。

〔註〕 邦産 Asperifoliaceae 屬植物ヨリ抽出セル脂肪ト Cruci ferae 屬ヨリノ抽出脂肪ヨリナル, 痔瘻ニハ効果少ナシト云フ冷暗所ニ貯フ。

(12) 「カザイドール」(鹽野義)

上記 1 日 2—3 回, 毎 1 個宛肛門内挿入

〔註〕 「ヨード」0.5%, 蒼鉛 1.0%, 「クロールカルチウム」2.0%, 「ペルーパルサム」6.5%, 「カワカワ」樹脂 3.3% 痔核, 痔出血, 脱肛, 等ニ用フ。軟膏ハ 1 日 2—5 gr ヲ「ガゼ」ニテ展延シ貼用。

腔球及腔タンポン

Scheidenkugeln und Scheidentamponade.

【注意】 4.0—6.0, 球又卵形トス。

【處方例】

- (1) 「イヒチオール」球
「イヒチオール」 0.2 「カカオ」脂 0.2
上記子宮内膜炎, 實質炎, 白帶下等。
- (2) 「イヒチオール」 0.15 可溶性銀 0.15
「カカオ」脂 3.0
上記腔球爲 1 個。
- (3) 5—10% 「ヨードカリグリセリン」
上記癒着時。
- (4) 「ワセトン」球
上記 1 日 1 回腔内挿入。
〔註〕 「ワセトン」Vaseton (日東) ハ醋酸「アルミニウム」, 「ア

ミノ」安息香酸「エチル」,「サリチール」酸「メチル」,「アセトクロホルム」ヨリナル。

收斂,殺菌,製泌,防腐,鎮痛ノ作用ヲ有ス。膈炎,白帶下,内膜炎,出血等ニ用フ。

(5) 「ヨードカリ」 0.2 「ロートエキス」 0.02
「カカオ」脂 3.0

上記子宮附屬器炎,子宮周圍炎,癒着時。

(6) 15%「イヒチオール」又「チオノール」「グリセリン」
上記子宮内膜炎。

(7) 「ロイコレア」

上記1日1回個宛就寢時(分泌過多)。

〔註〕「ロイコレア」Leucorrhoea (Parke Davis) (三共)ノ
成分次ノ如シ。

「ヒヨスエキス」	0.065	「ヘロニアエキス」	0.033
「ハマメリスエキス」	0.065	阿片「エキス」	0.016
「サリチール」酸	0.065	「タンニン」酸	0.065
硼酸	0.065	明礬	0.065
「チモール」	0.002	「オイカリプトール」	1/6m

(8) 「ワギン」

〔註〕「ワギン」Vagin (友田)ハ無脂肪性膠球,蔗糖,硝酸「ナトリウム」,重碳酸「ソーダ」,酒石酸ヲ含ム,5%,10%アリ。更ニ「ヨード」,「ヨード」及「ロートエキス」,可溶性銀ヲ加ヘタルモノアリ。

(9) 「ワギノール」

上記1日1回1個腔内挿入。

〔註〕「ワギノール」Vaginol (三共)ハ邦産葎科植物ヨリ製セル純「サポニン」體ヲ主トシ之ハ乳酸,乳酸鹽ヲ配ス。

婦人尿道坐藥

【注意】長サ4cm「カカオ」脂0.7。

【處方例】

- (1) 1% 鹽酸「コカイン」又鹽酸「モルヒネ」
- (2) 2% 「プロタルゴール」又「タンニン」
- (3) 5% 阿片。

洗滌及洗滌劑

Spülungen und Spülmittel.

胃洗滌 Magenspülung

【術式】患者ヲ坐位トシ,胃「ゾンデ」ヲ胃中ニ入レ,「ゾンデ」ニ連接セル漏斗ヲ患者ノ頭ノ高サニ保ツテ徐々ニ洗滌液ヲ胃内ニ送ル。漏斗ガ空虛トナレバ胃部ノ高サヨリ低位ニ持チ來タリ,之ヲ側管ヨリ流出セシムルカ,又ハ他ノ容器ニ入レル。此ノ操作ヲ反復,液ノ透明ニナツタ後,中止シテ含嗽セシムル。上體ハヤ、前方ニ屬シ,頭ヲ後ニ曲ゲ,鼻呼吸ヲ靜ニナサシム。

【適應症】胃擴張症,胃下垂症,中毒,ソノ他胃内異常醱酵,胃「カタル」等。

【禁忌】動脈瘤,發熱,胃潰瘍,妊娠,咯血ノ傾向アルモノ,老人等。

腸洗滌 Darmspülung.

【術式】患者ハ仰臥位ニテ骨盤部ヲヤ、高メ兩脚ヲ屈ゲシム。肝門内ニネラトン氏「カテーテル」ヲ約10cm入レ一端ニY字「ガラス」管ヲ付シテ液ノ流入,流出ニ便ナラシメ,反復,排出液ノ透明ナル迄行フ。落差ハ約30cm迄位トス。

【適應症】炎症性分解產物除去,腸内食物残渣除去,榮養液腸前處置等。

膀胱洗滌 Blasenspülung.

【術式】尿道「カテーテル」ニテ導尿後一端ガY字形ナル「カテーテル」ヲ挿入。コノ一端ノ中一ツハ液ヲ導入シ,他ハ洗滌液ヲ排出セシム。液ハ35—37°Cタルヲ要シ,又落差ハ個人的ニ考慮ヲナシツ、30—50—60cm位トス。

婦人ニテハ腔内ニ「タンポン」ヲマヅ挿入シ置キ而ル後ナスヲ可トス。

腔洗滌 Scheidenspülung, vaginal douche.

【術式】仰臥位ニテ兩脚ヲ充分開キ左手指ニテ兩大陰唇ヲ開キテ嚔管ヲ腔内ニ挿入(同時ニ左手指ヲ入ル、コトアリ)洗滌ス。場合ニヨリ子宮鏡ヲ用フ。

前部尿道洗滌 Spülung der Pars anterior urethrae.

マヅ龜頭ヲヨク洗滌シテ後ニ,左手指ニ龜頭ヲ挟ミ,前尿道ニ藥液ヲ約7—8分目ヲ充タス。之ヲ反復ス。

洗滌劑 Spülmittel

1. 胃洗滌液

- | | |
|-------------------|------------|
| (1) 硼酸 | 1—2% |
| (2) 食鹽水 | 1.0% |
| (3) 重碳酸「ソーダ」水 | 2.0—5.0% |
| (4) 「チモール」水 | 0.3% |
| (5) 「サリチル」酸水 | 0.3—0.5% |
| (6) 微溫湯 | |
| (7) 過「マンガン」酸「カリ」液 | 0.02—0.01% |

2. 腸洗滌液

- | | |
|------------------|-----------|
| (1) 食鹽 | 0.9% |
| (2) 硼酸 | 2.0% |
| (3) 過「マンガン」酸「カリ」 | 0.02% |
| (4) 「タンニン」酸 | 0.3—0.5% |
| (5) 硝酸銀 | 0.05—0.2% |
| (6) 鹽酸「ヒニン」 | 0.1% |

(7) リンゲル氏液

3. 膀胱洗滌液

- (1) 硼酸 2.0—4.0%
- (1) 「タンニン」酸 0.2—0.5%
- (3) 硝酸銀 0.01—0.1%
- (4) 過「マンガン」酸「カリ」 0.01—0.05%
- (5) 「サリチル」酸 0.1—0.3%
- (6) 「サリチル」酸「ソーダ」 1.0—0.2%
- (7) 硫酸亞鉛 0.1—0.5%
- (8) 青酸酸化汞 0.025%
- (9) 「プロタルゴール」 0.2—0.5%
- (10) 「トリパフラザイン」 3000—4000 倍
- (11) 「アルバルギン」 0.05—0.1%
- (12) 「マーキュロクローム」 0.5—2%

4. 腔洗滌液

- (1) 硼酸 1.0—2.0—3.0%
- (2) 重炭酸「ソーダ」 1.0—2.0%
- (3) 食鹽 1.0—2.0%
- (4) 「リゾール」 1%
- (5) 「リゾフォルム」 1%
- (6) 石炭酸 1.0—2.0—3.0%
- (7) 「タンニン」酸汞 1.0%
- (8) 硝酸銀 1.0—2.0%
- (9) 過「マンガン」酸「カリ」 0.1—0.5%
- (10) 「デスイنفエクトール」 1%
- (11) 鉛糖 0.5—1.0%
- (12) 昇汞水 0.1%
- (13) 「マーキュロクローム」 0.5—2%
- (14) 「クロール」亞鉛 0.5—1.0%

5. 尿道洗滌液

- (1) 硝酸銀 0.025—0.5%
- (2) 過「マンガン」酸「カリ」 0.5—1.0%
- (3) 「アルバルギン」(Höchst) 0.1—0.2%
- (4) 「イヒタルガン」 0.02—0.2%
- (5) 「マーキュロクローム」 0.5—1.0—2.0%
- (6) 「タンニン」酸 0.5—1.0—2.0%
- (7) 鉛糖 0.2—0.6%

〔註〕(6) 及 (7) ハアマリ 用ヒズ。

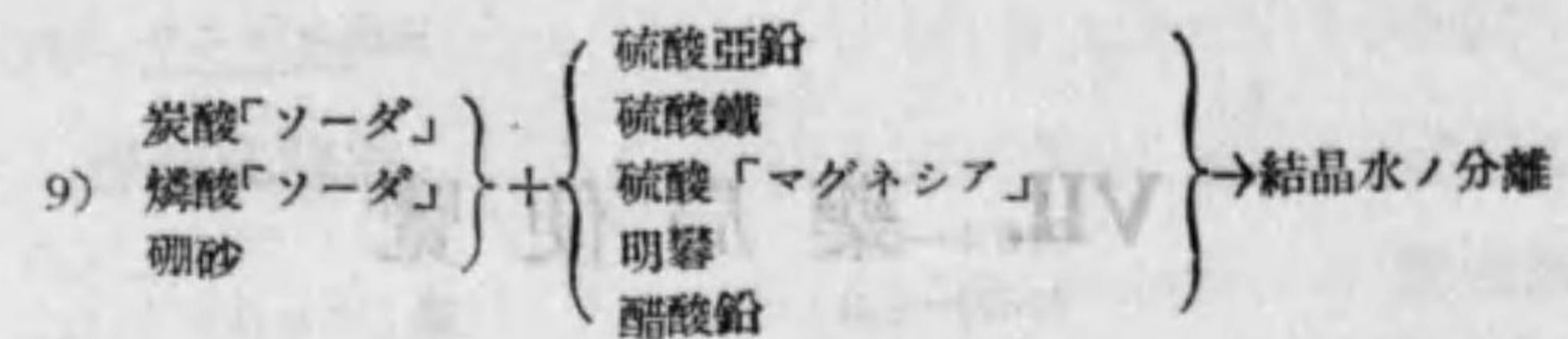
VII. 藥局便覽

1. 配合禁忌藥略表

散 藥

【潮解的配合】(水ヲ生ズルカ、濕潤スルモノ)

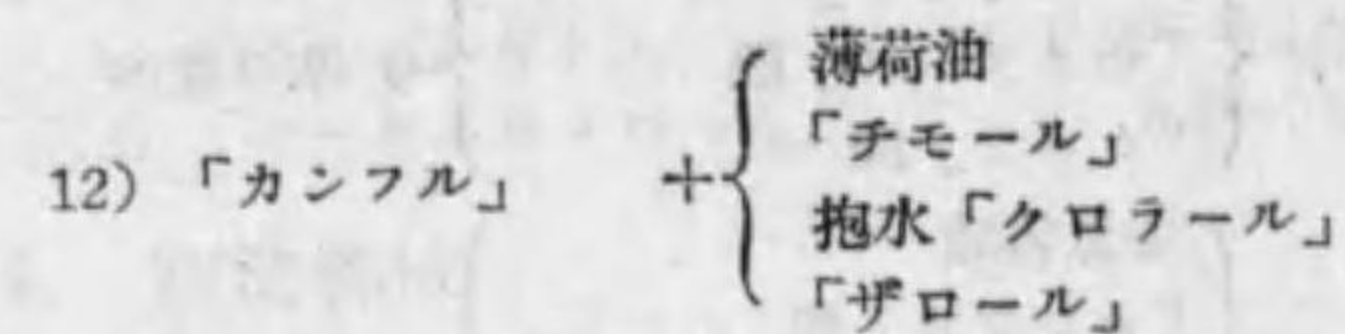
- 1) 重炭酸「ソーダ」+「アスピリン」→水ヲ生ジ、「サリチル」酸ヲ分解ス
- 2) 「ウロトロピン」+ { 「アスピリン」
「サリチル」酸
「クエン」酸 } →水ヲ生ズ
- 3) 「アミノピリン」+ { 安息香酸
「カンフル」酸
「サリチル」酸「ソーダ」
「レゾルチン」
「ナフトール」
「メントール」
「チモール」
「ウレタン」
「ピペラチン」
抱水「クロラール」 } →水ヲ生ズ
- 4) 「ザロール」+ { 「アンチピリン」
「メントール」
「チモール」
「カンフル」
抱水「クロラール」 }
- 5) 「フェナセチン」+ { 「サリチル」酸「ソーダ」
抱水「クロラール」
「メントール」
「アンチピリン」
「カンフル」
「ザロール」
抱水「クロラール」
「ウレタン」 }
- 7) 「オイヒニン」+ { 「アスピリン」
「サリチル」酸
安息香酸
「ナフトール」
「ザロール」
「レゾルチン」
「チモール」 }
- 8) 「メントール」+ { 「ナフトール」
「ザロール」
「レゾルチン」
「チモール」 }



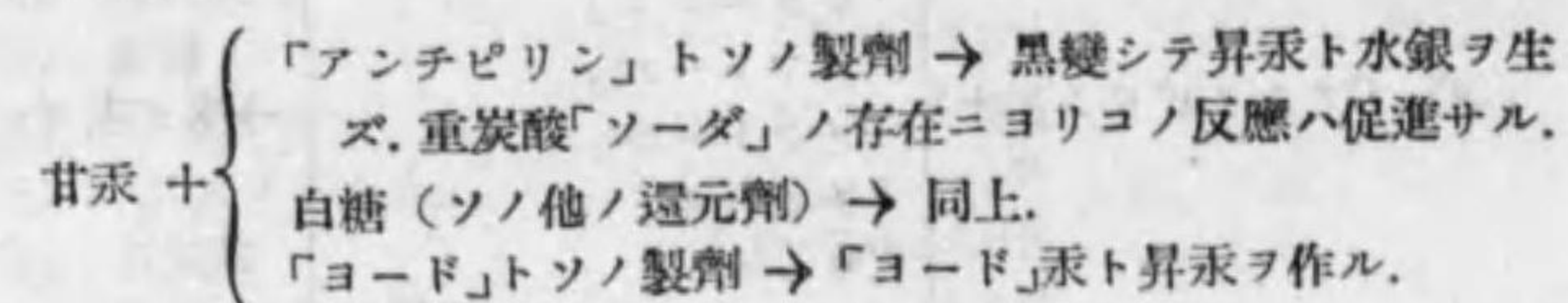
〔註〕 結晶水アル「アルカリ」ト酸トヲ混和スレバ結晶水ヲ出シ濕潤ス。

10) 「アンチピリン」 + 「サリチル」酸「ソーダ」 → 空氣中ノ濕氣ニヨリ濕潤又液化ス。

11) 以下ノ藥品ハ混ズレバ常溫ニテ液狀又粘塊トナル。
 石炭酸, 「サリチル」酸「フェニル」, 「チモール」, 抱水「クロラール」, 薄荷腦, 「ナフタリン」, 「アセトアニリド」, 「レゾルチン」, 「カフェイン」, 「オイヒニン」, 「ピロガロール」, 「カンフル」。

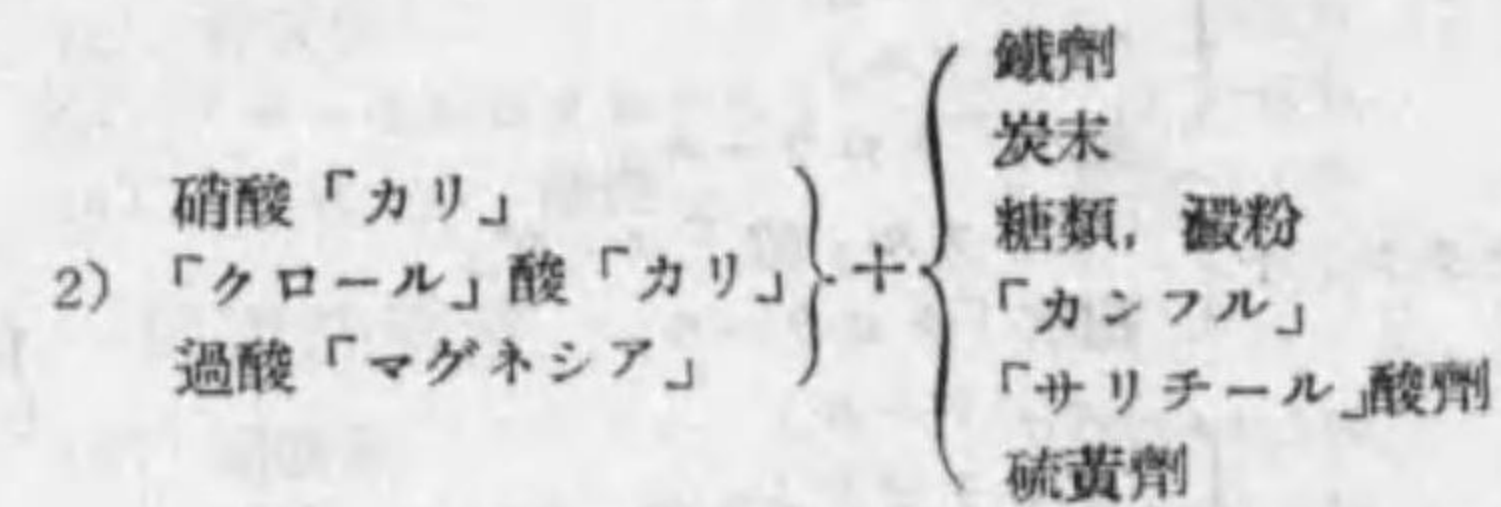
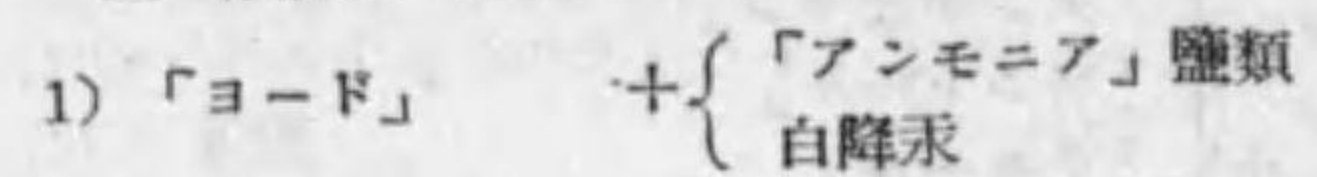


【有毒物析出】



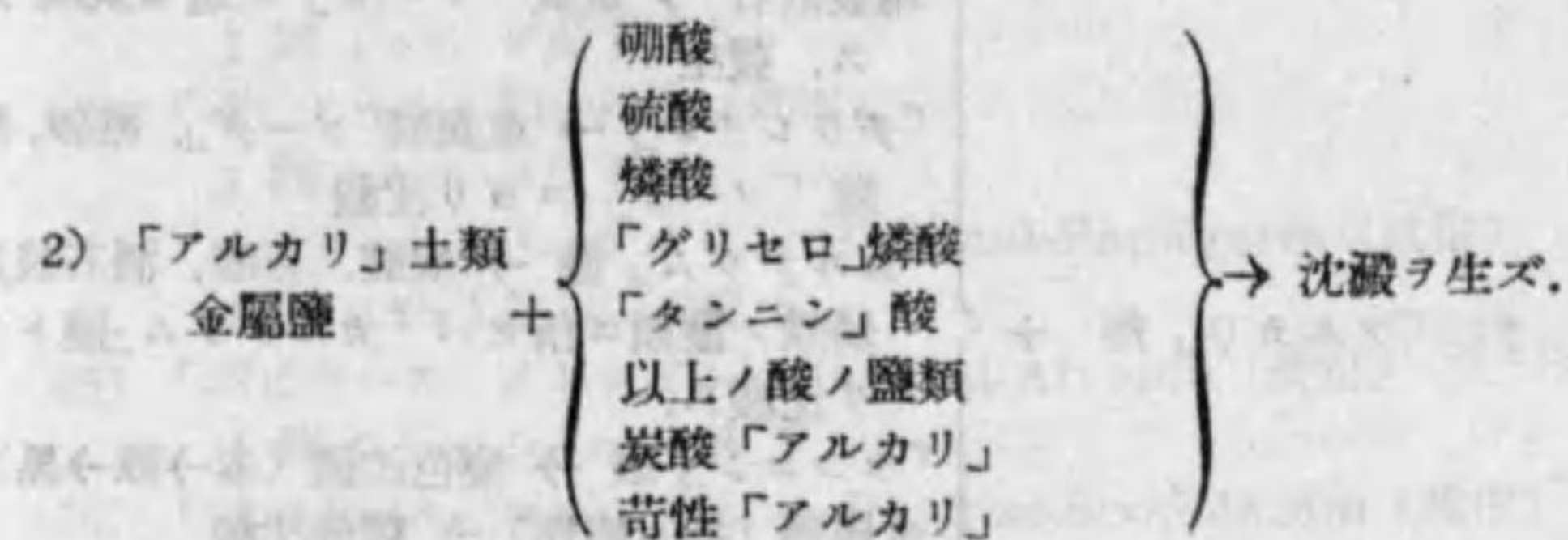
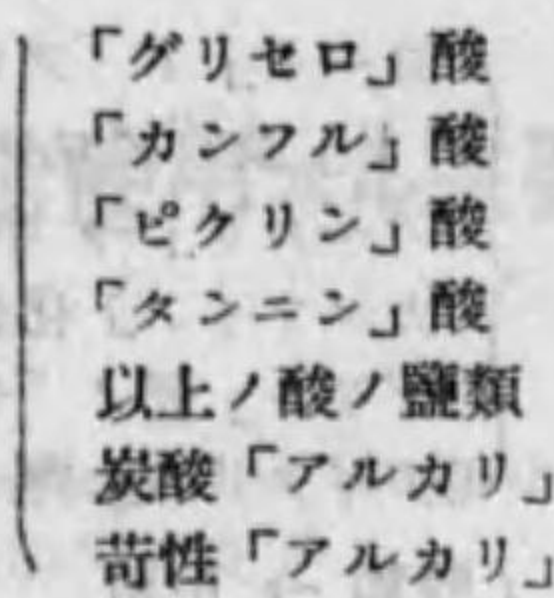
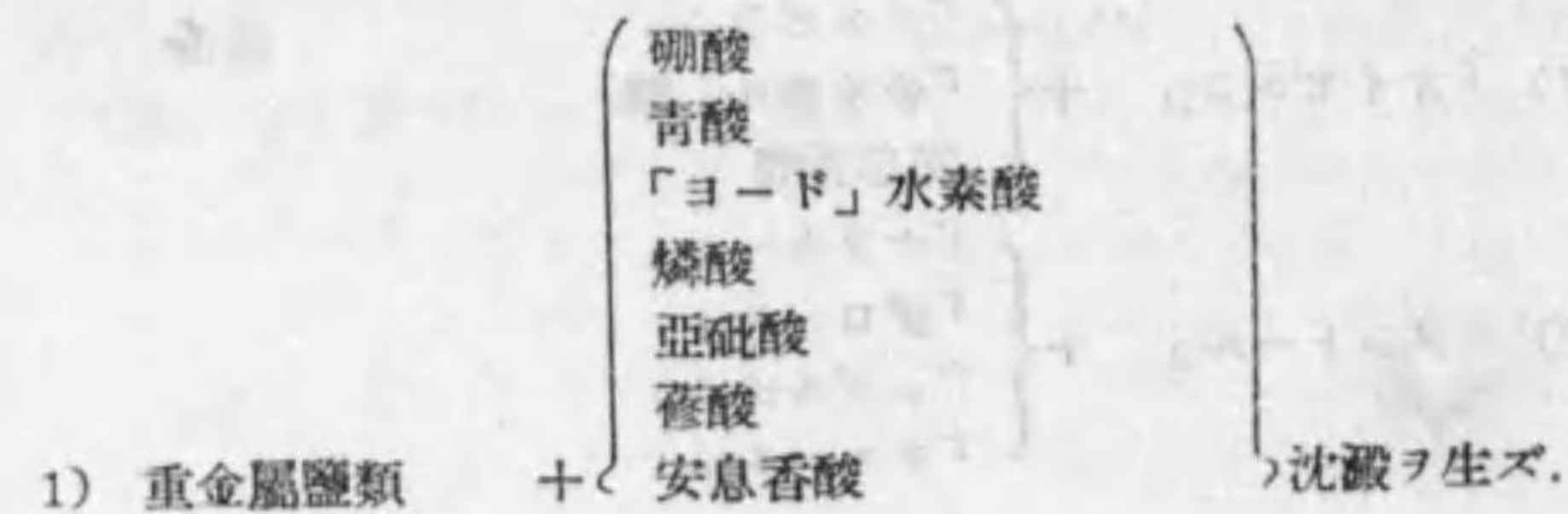
【爆發性「ガス」形成】

主ニ酸化劑ト酸化サレ易キ藥物ノ配合ニヨル

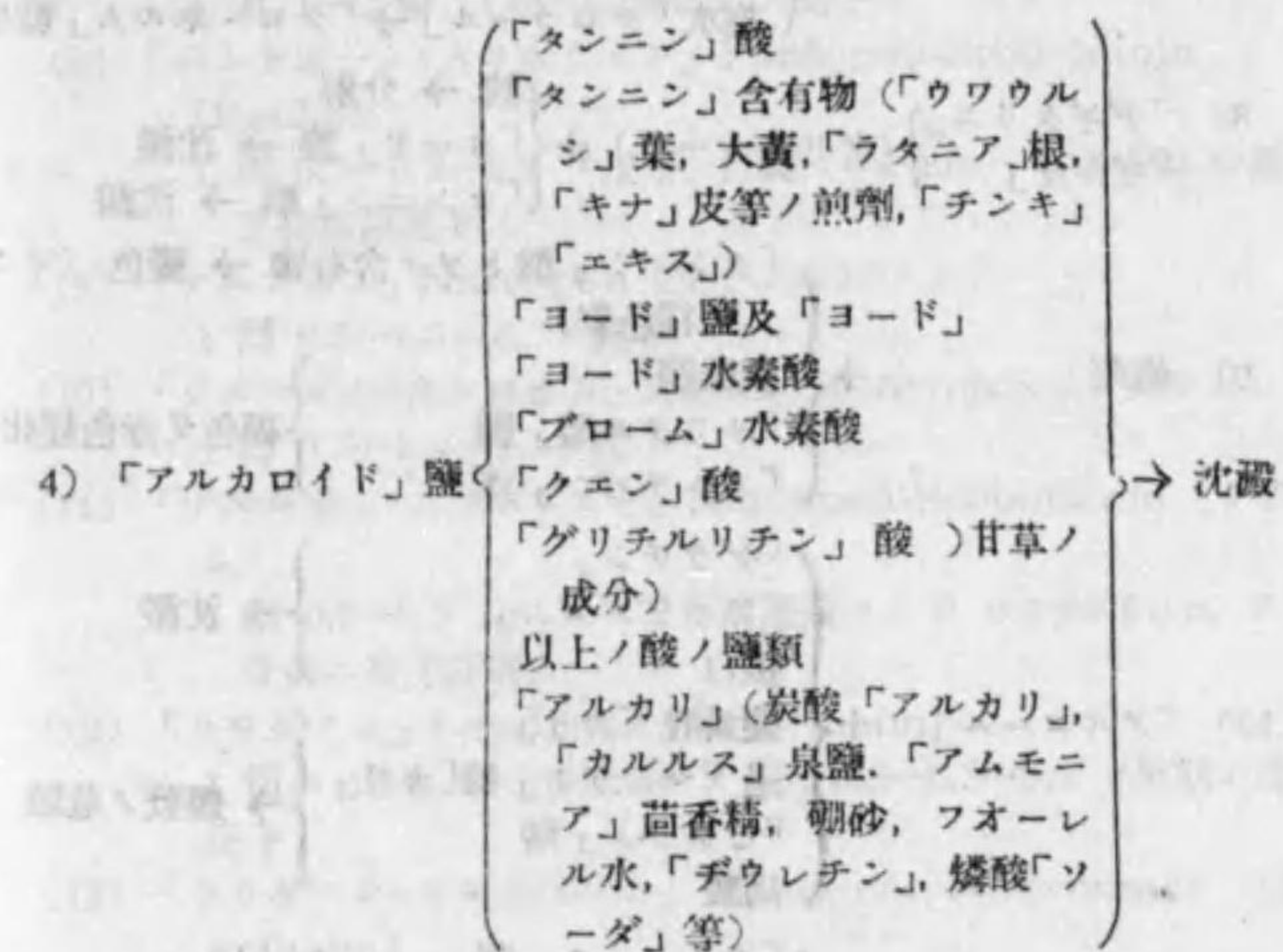


3) 「ニトログリセリン」 → 必ず「アルコール」劑トシテ與ヘ丸。散トシテ與ヘズ。

液劑



3) 「カリ」鹽類 + 酒石酸 → 沈澱



〔註〕 「アルカロイド」トハ「モヒ」, 「コカイン」, 「アトロピン」, 「アポモルヒネ」, 「エメチン」, 「フィゾスチグミン」, 「ピロカルピン」, 「ホミカエキス」, 「ロートエキス」, 「キナチンキ」, 「ヒニン」, 「アンチピリン」, 「ロベリアチンキ」, 「ドラスチン」等及ビソノ類屬藥劑ヲ指ス。

5) 次ノ藥品ヲ混ズレバ不快ナ色ヲ呈シ, 時ニハ沈澱ヲ生ズル。藥品ハ多ク分解スル。水酸基ヲモツ有機化合物ニ多イ。

石炭酸, 「レゾルチン」, 「グワヤコール」, 「アドレナリン」, 「サリチル」酸

- 6) 稀鹽酸其他ノ酸劑 +
- 「ヨード」ト「ブローム」鹽 → 毒物 (「ヨード」及「ブローム」水素酸) 發生.
 - 「アルカリ」 → 中和. 藥効消失
 - 「カフェイン」化合物 } → 沈澱
 - 「プリン」體ノ「サリチル」酸 }
 - 「デギタリス」劑 → 分解効力消失
- 7) 「アルカリ」劑 +
- 酸類 → 中和
 - 精製酒石 → 重炭「ソーダ」ニ遭ヒ炭酸「ガス」發生
 - 「ヂウレチン」 → 重炭酸「ソーダ」. 礬砂. 磷酸「ソーダ」ニヨリ沈澱
 - 「カルチウム」鹽 → 炭酸. 硫酸. 酒石酸及磷酸ノ鹽類ニ伍セバ「カルチウム」鹽トナリ沈澱ス.
 - 「タンニン」酸 → 變色沈澱 (赤→綠→黒)
 - 金屬鹽 (特ニ鐵劑) → 變色沈澱
 - 赤色「シロップ」 → 重曹. 醋剝水ニヨリ汚色沈澱
 - 抱水「クロラール」 → 「クロ、ホルム」發生
- 8) 「デギタリス」 } (グリコシード) +
- 「ゼネガ」 } 酸 → 分解
 - 「ヨード」鹽 → 沈澱
 - 「タンニン」酸 → 沈澱
- 9) 鐵劑 +
- 「タンニン」酸トソノ含有物 → 變色 (インキ様色彩)
 - 炭酸鹽 } 褐色又赤色變化
 - 「サリチル酸」鹽 }
 - 「アンチピン」劑 }
- 10) 「アルコール」 +
- 「ゲラチン」 } → 沈澱
 - 「アラビアゴム」 }
 - 蛋白 }
 - 鹽素酸「カリ」 } → 爆發ノ危險
 - 過「マンガン」酸「カリ」 }
 - 「ピクリン」酸 }
 - 硝酸 }
- 11) 「アラビアゴム」 +
- 「アルコール」劑 } → 膠様化(析出)
 - 「エーテル」性「チンキ」 }
 - 過「クロール」鐵 }
 - 礬砂 }
 - 「ピラミドン」 }
 - 「アドレナリン」 }
 - 「アポモルヒネ」 }
 - 「タンニン」酸 }
 - エゼリン }
 - 鉛鹽 → 分解
 - 過「クロール」化鐵 → 膠狀塊形成.

2. 日常使用スル主要注射劑

鎮痛 鎮痙 鎮靜劑

- (1) 「パペベリン」 Papaverin (Ingelheim)
1 回 1 c.c. (0.04) ヲ皮下
- (2) 「パパベール」 Papavel (大日本製藥)
1 回 1 c.c. ヲ皮下
- (3) 「パピナール」 Pavinal (武田)
1 回 1 c.c. ヲ皮下
- (4) 「パピナール, パパヴェリン」 Pavinal-Papaverin (武田)
1 回 0.3—1.0 c.c. ヲ皮下
- (5) 「パピナール, アトロピン」 Pavinal-Atropin (武田)
1 回 0.3—1.0 c.c. ヲ皮下
- (6) 「パピナール, スコポラミン」 Pavinal-Scopolamin (武田)
強ト弱ノ二種アリ. 症狀ニ應ジテ用ヒ 1 回 1 筒 (1 c.c.) ヲ皮下
- (7) 「パントポーン」 Pantopon (Roche)
1 日 1—2 筒 (1.0—2.0 c.c.) ヲ皮下
- (8) 「パントポーン・スコポラミン」 Pantopon-Scopolamin (Roche)
1 回 0.3—0.5—0.9 ヲ皮下. 1 筒 (=1 c.c.) ヲ 3 回ニ分割シ手術前處置トス
- (9) 「ナルコボン」 Narcopon (ラヂウム)
1 回 0.5—1.0 c.c. ヲ皮下
- (10) 「ナルコボン・アトロピン」 Narcopon-Atropin (ラヂウム)
1 回 0.5—1.0 c.c. ヲ皮下
- (11) 「ナルコボン・スコポラミン」 Narcopon-Scopolamin (ラヂウム)
1 回 0.3—0.5 c.c. 又ハ手術前處置トシテ 0.3—0.5 c.c. ヲ 30 分前ニ皮下注射
- (12) 「ラウダノン」 Landanon (Ingelheim)
1 筒 = 1.1 c.c. (2%, 4% アリ), 0.3—0.5—0.8 ヲ症狀ニ應ジテ皮下
- (13) 「ラウダノン・スコポラミン」 Landanon-Scopolamin (Ingelheim)
「ラウダノン・アトロピン」ト共ニ用法ハ「ラウダノン」ノ如シ.
- (14) 鹽酸「モルヒネ」 Morphinum hydrochloricum
1 筒 (1% 1 c.c.) ヲ症狀ニ應ジテ皮下 (0.3—1.0 c.c.)
- (15) 「アトモル」 Atmol (ラヂウム)
1 回 0.5—1.0 c.c. (½—1 筒) ヲ皮下
- (16) 「モルヒン・アトロピン」
各社製品アリ. 1 筒 1 c.c. 中ニハ鹽酸「モヒ」 0.01. 硫酸「アトロピン」 0.004 ヲ含ム
- (17) 「スパミドール」 Spamidal (ラヂウム)
1 回 1.0—2.0 c.c. (1—2 筒) ヲ皮下

- (18) 「スパスマルギン」 Sparmalgin (Roche)
1回 1—2筒; 1日 2—4筒。
- (19) 「ドルマルギン」 Dormalgin (Riedel)
1回 1筒 (2.2 c.c.) ヲ皮下, 筋肉内. (1 c.c.=0.2 gr)
- (20) 「ラウミン」 Laumin (武田)
1日 1回 1筒 (2 c.c.) ヲ皮下
- (21) 「ラウミン・スコポラミン」 Laumin-Scopolamin (武田)
1日 1回 1筒 (2 c.c.) ヲ皮下
- (22) 「グレラン」 Grelan, (柳澤—武田)
1回 1筒 (2.0 c.c.) ヲ皮下, 筋肉内
- (23) 「ブロームグレラン」 Bromgrelan
1回 1筒 (20 c.c.) ヲ静脈内

利尿強心劑

- (1) 葡萄糖 (15%—50%) Glukose
濃度ニ應ジ 20—800 c.c. ヲ皮下, 筋肉内, 静脈内
- (2) リンゲル氏液 Ringer's Lösung
500—800 c.c. ヲ筋肉内, 皮下, 静脈内
- (3) ロック氏液 Locke's Lösung
リンゲル氏液ト同ジ
- (4) 「パンギタール」 Pangital, 「デギタミン」 Digitamin,
「デキフォリン」 Digifolin, 「デガーレン」 Digalen 等ヲ
1 c.c. (1筒) 宛皮下, 筋肉内, 静脈内. 場合ニヨリ, リン
ゲル氏液, 葡萄糖液ト和ス.
- (5) 「ロデアリン」 Rodealin (武田)
1回 1 c.c. (1筒) ヲ皮下, 筋肉内, 静脈内
- (6) 「コンヴァロン」 Convalon (友田)
1回 0.5—2 c.c. ヲ皮下. 急ヲ要スルトキハ静脈内
- (7) 「アドニゲン」 Adonigen
1回 2 c.c. (1筒)
- (8) 「シラーレン」 Scillaren (Sandoz)
1回 0.5—1 c.c. ヲ静脈内
- (9) 「ストロファチン」 Strophantin
1回 0.5—1.0 c.c. ヲ静脈内
- (10) 「カンフルオリーブ油」 Kampher-Olivenöl
1回 1 c.c. ヲ皮下ニ, 場合ニヨリ反復.
- (11) 「カンフル・ロヂノン」 Kampfer-Lodinon (武田)
1日 300—500 c.c. ヲ静脈内
- (12) 「ガダミン」 Gadamin (武田)
1筒 (2%, 1 c.c.) ヲ皮下, 筋肉内
- (13) 「カマフェトン」 Camafeton (鳥居)
1筒 (2 c.c.) ヲ皮下, 筋肉内.
- (14) 「ビタカンファー」 Vitacampher (武田)
1回 1筒 (1 c.c.) ヲ皮下, 筋肉内, 静脈内.
- (15) 「カルデアゾール」 Cardiazol (Knoll)
1回 1 c.c. (1筒) ヲ皮下, 静脈内

- (16) 「アクトコール」 Aktocor (ラヂウム)
1回 1 c.c. ヲ皮下, 静脈内
- (17) 「コラミン」 Coramin (Ciba)
1回 1 c.c.—2 c.c. ヲ 1日數回皮下, 筋肉内, 静脈内
- (18) 「アビタン」 Avitan (興醫社)
1回 5—10 c.c. ヲ静脈内
- (19) 安息香「ソーダカフェイン」
10—20% ヲ 1回 1 c.c. (1筒)
- (20) 硝酸「ストリキニーネ」 Strychninum nitricum (0.1%)
1回 1—2 c.c. ヲ皮下.
- (21) 千倍「アドレナリン」液 Adrenalin-lösung
1回 0.5—0.7—0.9 ヲ皮下, 筋肉内.
- (22) 「カルチウム」 Calcium, (sandoz)
1回 5—10 c.c. ヲ皮下, 筋肉内, 静脈内.
〔註〕 同一邦産品アリ. («カルチコール」 Calcicol. 「サンカ
ル」 Sancel, 「カリザニン」 Karysanin, 等)

呼吸強盛藥

- (1) 「ロベリン」 Lobelin
1回 0.5—1.0 c.c. (1/2—1筒), (sandoz) ト (Ingelheim)
ヨリノ製品 2種アリ.
- (2) 「コラミン」 Coramin
- (3) 「アトムラチン」 Atmuratin (大日本製藥)
1回 1% 1 c.c. ヲ皮下, 筋肉内, 脊髄内, 静脈内

止血藥

- (1) 「オボスタチン」 Opostatin (武田)
1回 2 c.c. (1筒) ヲ皮下, 筋肉内
- (2) 「リエナリン」 Lienalin (三共)
1回 2 c.c. (1筒) ヲ皮下
- (3) 「トロンブリン」 Thrombrin (中村瀧)
1回 3 c.c. (1筒) ヲ静脈内
- (4) 「トロンボゲン」 Thrombogen (藤澤)
1回 5—10 c.c. ヲ皮下
- (5) 「コアグレーション」 Coagulen (Ciba)
3—5—10% 溶液 (食鹽水) 30—100 c.c. ヲ皮下, 筋肉内 [疼
痛アリ]
- (6) 「クラウデン」 Clauden (Fleisch)
5% 1筒 (2.5 c.c.) ヲ 4筒皮下又ハ筋肉内. [疼痛アリ]
- (7) 千倍「アドレナリン」溶液
- (8) 「ゼラチン」 Gelatin
1日 1回 10—40 cc. ヲ皮下.
- (9) 「アナプトール」 Anaptol (ラヂウム)
10% 液 1 c.c. (1筒) ヲ 1日 1—3回 皮下.

- (10) 「クローカルチウム」Chlorcalcium
1-5% ヲ 20 c.c. ヲ 静脈内
- (11) 「イルメリン」Irmerin (武田)
1 回 1-2 c.c. (1-2 筒) ヲ 皮下
- (12) 「ゼカコルニン」Secacornin (Roche)
1 回 1/2-1 筒 (0.5-1.0 c.c.) ヲ 皮下
- (13) 「ピツイトリン」Pituitrin (Parke Davis)
1 回 0.5-1.0 c.c. 1 筒 0.5 又 1.0 c.c.
- (14) 高張葡萄糖液
25% ヲ 50 c.c. ヲ 静脈内

防腐消毒殺菌劑

- (1) 「トリパフラザイン」Trypaflavin (Bayer)
5 c.c. (1 筒) ヲ 毎日又ハ隔日ニ 静脈内。
【註】 邦製品多シ「イストラピン」、「パンセプチン」、「トリハロミン」、「ホモフラザイン」等
- (2) 薬用「メチレンブラウ」Methylenblau medicinale (Bayer)
1 回 0.05-0.1 gr ヲ 皮下
- (3) 「マーキエロクローム」Mercurochrome
1% 水溶液 5-10 c.c. ヲ 静脈内
- (4) 「エレクトラルゴール」Electrargol (Clin)
1 日 5 c.c. (1 筒) ヲ 30-40 c.c. ニ 逐漸次増量
- (5) 「ヘサチラミン」Hesaciramin
1 回 5 c.c. ヲ 静脈内ニ 毎日
- (6) 「アルゴエレクトロゾール」Argoelectrosol (後藤)
1 回 5 c.c. 皮下, 筋肉内, 静脈内

非特異性刺激療法劑

- (1) 「オムナジン」Omnadin (Bayer)
1 回 2 c.c. ヲ 筋肉内
【註】 類似邦産品アリ。「エルスチン」(武田), 「ムルチン」(鹽野義), 「オムニン」(黒田), 「ウムスチン」(黒田) 等
- (2) 「カゼオザン」Caseosan (Heyden)
1-5 c.c. ヲ 皮下, 筋肉, 静脈内
- (3) 「ヤトレンカゼイン」Gatren-Kasein (Bayer)
1 回 1 c.c.-5 c.c. (強, 弱) ヲ 症状ニ 應ジ 筋肉内

喘息治療薬

- (1) 千倍「アドレナリン」又「エフドリン」
- (2) 「アストモリジン」Asthmolysin
1 回 1 筒 (1 c.c.) ヲ 皮下
- (3) 「アンタストール」Antasthol (武田)
1 回 1 筒 (1 c.c.) ヲ 皮下
- (4) 「ツシドリン」Tussidrin (日本新薬)
1 回 1-2 筒 (1-2 c.c.) ヲ 1 日 1-3 回 皮下又ハ 筋肉内

肺炎治療薬

- (1) 「インドラミン」Indorammin (ラヂウム)
1 回 1-2 筒 (5-10 c.c.) ヲ 筋肉内, 静脈内
- (2) 「ヒネロン」注射液 Chineron ffr Injektion (武田)
1 回 1 筒 (1 c.c.) ヲ 1 日 5-6 回-8 回 皮下又ハ 筋肉内
- (3) 「バグノン」Bagnon (武田)
1 回 2-5 c.c. ヲ 1 日 1-3 回 筋肉内又 静脈内 1 筒 1 c.c. 2 c.c. 及 5 c.c. 入
強「バグノン」ハ 1 筒 2 c.c. 及 1 c.c. 入
- (4) 「キナボン」Quinapon (田邊五)
1 回 2 c.c. ヲ 皮下, 小兒ニハ 1 回 1 c.c.
- (5) 呼吸強盛劑 (「ロベリン」, 「コラミン」等)
- (6) 利尿強心劑 (「ヂギタリス」, 「ストロファンチン」, 「カフェイン」, 「カンフル」, 「ロデアリン」等)

動脈硬化, 腦溢血, 高血圧治療劑

- (1) 「ネオヒポトニン」Neo-Hyptonin (白井松)
1 回 0.6-1.0 c.c. ヲ 皮下又 静脈内, 高血圧ノ 持續シ 効果ナキト キハ 朝夕 2 回 1 c.c. 宛
- (2) 「ノルマトーン」Normaton (三共)
1 回 1 筒 (2 c.c.) ヲ 皮下, 筋肉, 静脈内
- (3) 「ネオヒポアポ」Neo-Hypo-Apo (鳥居)
0.8-1.0 ヲ 2-3-4 日 毎ニ 皮下, 静脈内
- (4) 「アニマザ」Animasa (田邊元)
2-3 日 毎ニ 1 c.c. (1 筒) ヲ 筋肉内

ビタミン B 劑

- (1) 「パラヌトリン」Paramittrin (鹽野義)
1 回 1-2 c.c. ヲ 皮下, 筋肉内. 1 筒 1 c.c. 2 c.c. 3 c.c. 5 c.c. 入
- (2) 「ベリベロール」注射液 Injectio Beriberol (ラヂウム)
1 回 1-2 筒 ヲ 皮下, 筋肉内.
1 筒 = 1.1 c.c. 入 及 3 c.c. 入
静脈内注射用ハ 1 回 1 筒 1 日 1-2 回. 1 筒 = 10 c.c.
- (3) 強力「オリザニン」Oryzanin fortius (三共)
1 回 0.15-1.0 gr ヲ 用ニ 臨ミ 3% 液ト ナジ 滅菌皮下注射.
十倍強力「オリザニン」ハ 1 回 0.5-3 c.c., 必要アラバ 1 日 2-3 回 皮下. 1 筒 = 1 c.c.
- (4) 「ネオビタミンノール」Neo-Vitaminol (田邊五)
1 回 1 筒 ヲ 皮下又 静脈内. 1 日 2 筒迄.
1 筒 = 1 c.c., 2 c.c., 3 c.c., 及 5 c.c.
- (5) 「アベリー」Abery (第一)
1 回 1 c.c. 皮下
- (5) 「ヴァイタフォルチン」Vitafortin (齊藤)
1 回 1-2 c.c., 必要ニ 應ジ 1 日 2-3 回 皮下
- (7) 照内末注射液 Teruuchimatsu inject solution (龜井一三井)
1 回 1 c.c.-2 c.c. ヲ 皮下. 1 筒 = 1 c.c.

月経障碍治療剤

- (1) 「アゴメンジン」 Agomensin (Ciba)
1回 2-3回; 1回 1-4筒 (1-4 c.c.)
- (2) 「シストメンジン」 Sistolensin (Ciba)
1日 1-2筒 (1-2 c.c.) ヲ筋肉内深く注射ス。子宮出血、閉経期出血、子宮發育不全ニモ用フ
- (3) 「シーリン」 Thelin (Parke Davis) (三共)
皮下又筋肉内ニ 1 c.c. (1筒) ヲ注射ス。此ヲ得ザレバ膈坐薬トス
- (4) 「ペラニン」 Pelanin (鹽野義)
1日 1回 100-500 M.U. ヲ皮下又ハ静脈内注射。水溶液ハ 1筒ニ 1 c.c. (100 M.U. - 250 M.U.)
油溶液ハ 1筒ニ 0.5 c.c. (500 M.U., 1000 M.U., 2000 M.U. 5000 M.U. 入) ヲ筋肉内
- (5) 「オヴァホルモン」 Ovahormon (武田)
1回 1筒 (1 c.c.) ヲ皮下又ハ静脈内(水溶)或ハ筋肉内(油溶)
- (6) 「オグオグランドール」 Ovglandol (Roche)
1日 1-3筒 (1-3 c.c.) ヲ皮下
- (7) 「ギナンドール」 Gynandol (友田)
1日 1回 1-2筒即 1-2 c.c. 50-100 単位ヲ皮下。

驅微剤

- (1) 「ネオスチバルサン」 Neostibarsan (萬有)
1號ヨリ 6號迄アリ。各々 0.1 ヨリ 0.1 宛増量、各號ニ相当シ 0.6 迄ヲ含ム。静脈内
- (2) 「ネオアルサミノール」 Neo-Aasaminol (三共)
1號 (0.15) ヨリ 7號 (0.9) 迄アリ。静脈内
- (3) 「ネオネオアーセミン」 Neo-Neo-Arsemin (第一)
男子 0.45-0.75 gr. 婦人 0.36-0.6 gr.
小兒 0.15-0.3, 乳兒 0.015-0.06 gr. ヲ静脈内。
- (4) 「ネオサルバルサン」 Neosalvarsan (Bayer)
1號 (=0.15) ヨリ 6號ニ至ル迄 0.15 宛増量静脈内
- (5) 「ミオサルバルサン」 Myosalvarsan (Bayer)
10-20%液應用。全量 5-6 gr. ヲ 1「クール」トス。
大人用 0.15, 0.3, 0.45, 0.6 gr. 小兒用 0.02, 0.05, 0.075
- (6) 「ズルフォキシール・サルバルサン」 Sulfoxyl-Salvarsan (Bayer)
2-3 週ノ間隔ニテ 8-10-12 c.c. 1「クール」4 回迄
1筒ニ 8 c.c., 10 c.c., 12 c.c. 静脈内
- (7) 「ネオイマミコール」 Neo-Imamicol (三共)
1回 1 c.c. 回ヲ皮下又ハ筋肉内ニ隔日。静脈内注射ハ 1回 2-4 c.c. ヲ 1週 1回。1筒ニ 1 c.c.
- (8) 「ルエステン」 Luestin (Comet)
筋肉用 1回 0.5-1 c.c. 静脈用 1回 2-5 c.c. 此ヲ毎日又隔日。
- (9) 「ヒギトール」 Hygytol (ラヂウム)
1回 1筒 (1 c.c.) ヲ皮下。又ハ静脈内用アリ 1筒 10 c.c.

- (10) 「カスピス」 Casbis (Bayer)
1回 1 c.c. ヲ毎 3 日間隔ヲ以テ 12-15 回ヲ 1「クール」トス。1筒ニ 1.5 c.c.
- (11) 「ムタノール」 Muthanol (鹽野義)
隔日 2-4 c.c. ヲ筋肉内
- (12) 「ミラノイエン」 Milaneuen (吉萬)
1回 1筒 (2 c.c.) ヲ隔日ニグロツス氏三角内。
20-30 回ヲ 1「クール」トス

其他

A. 鎮吐惡阻等

- (1) 「ゲネゾール」 Genesol (鹽野義)
1日 1回 1筒 (1 c.c.) ヲ静脈内。〔臓器製剤〕。
- (2) 「エモール」 Emol (田邊五)
1回 2 c.c. 必要ニ應ジ 1 日數回ヲ皮下注射。〔化學的製剤〕。
- (3) 「ユゴール」 Jugol (三共)
胡桃ヨリ製ス。1日 1回 1筒 (1 c.c.) ヲ皮下。
- (4) 「インシュリン」 葡萄糖液。

B. 陣痛微弱強盛剤

- (1) 「ピツイトリン」 Pituitrin (Parke Davis)
1回 0.3-1.0 c.c. ヲ皮下、筋肉内。1筒ハ 0.5 c.c. 及 1.0 c.c. 入
- (2) 「ピツヒノール」 Pituchinol
1回 1 c.c. ヲ皮下、筋肉内
- (3) 「ヒポフィジン」 Hypophysin (Bayer)
1回 0.3-0.5 c.c. 1筒ハ 0.5 及 1.0 c.c. 入。

C. 乳汁分泌抑制剤

- 「インテレニン」 Interenin (武田)
1回 1筒 (1 c.c.) ヲ 1日 1-2 回皮下。

D. 生殖器障碍治療剤

- (1) 「テストグランドール」 Testiglandol (Roche)
1日 1-3筒 (1-3 c.c.) 皮下
- (2) 「テストガン」 Testogan (Henning)
1回 1筒 (1 c.c.) ヲ皮下、筋肉内
- (3) 「スベルミン」 Spermin (守隨)
1回 1筒 (2 c.c.) ヲ毎日又隔日ニ 1回。
- (4) 「スベルミン」 Spermin (Poehl) (友田)
1日 1回 1筒 (2 c.c.) 皮下。
- (5) 「ユベニン」 Juvenin (Bayer)
1日 1回 2 c.c. 皮下、筋肉内、静脈内

E. 甲状腺劑 (バセドウ氏病, 喘息等)

- (1) 「チレオグランドール」 Thyreoglandol (Roche)
1日 1-3 筒 (1-3 c.c.) ヲ皮下.
- (2) 「チラーデン」 Thyraden (武田)
1日 1-2 回 1 筒 (2 c.c.) 宛皮下
- (3) 「チムルヂオン」 Thymulsion (Heyyden) (三共)
0.2 c.c. ヨリ漸量 0.8 c.c. ニ至ル. 静脈内

F. 糖尿病治療劑 (脂肝療法)

- (1) 「インシュリン」 Insulin. 「トロント」, 「リリ」 兩社製品アリ
- (2) 「インゼリン」 Inselin (坂田)
- (3) 「イログランドール」 Iloglandol (Roche)

G. 解毒劑

- (1) 葡萄糖液
- (2) 「ヤクリトン」 Yakriton (三共)
肝臟解毒 「ホルモン」
- (3) 「デトキソール」 Detoxol (萬有)
1日 1 回 5-20 c.c. 静脈内注射

H. 「カルチウム」劑

- (1) 「カルシウム」 (sandoz) Calcium (sandoz)
1回 5-10 c.c. ヲ皮下, 筋肉内, 静脈内
- (2) 「サンカール」 Sancel (三共)
1回 5-10 c.c. ヲ皮下, 筋肉内, 静脈内.
- 【註】 「カルチコール」, 「カリザニン」, 「カルコーゼ」等モ同ジク 「グルコン」酸 「カルチウム」ヨリナリ用法同ジ.
- (3) 「クロールカルチウム」 Chlorcalcium
各社製品アリ 1-10% 迄色々アリテ, 1回 10-20 c.c. ヲ静脈内.

I. 鎮痙劑

- (1) 「マグロール」 Maglol (鹽野義)
1回 20 c.c. ヲ皮下, 筋肉内. 静脈内.
- (2) 「マグブロン」 Magbron (武田)
1回 10 c.c. ヲ皮下, 筋肉内, 静脈内

3. 藥品貯藏法

A. 光ヲ遮リ貯フベキモノ (黒色又黄褐色ノ壘ヲ用フ)

【普通薬ノ扱ヒヨナスモノ】

安息香酸, 「コロイド」銀, 「ベタナフトール」, 「クエン」酸鐵
「キニーネ」 次沒食子酸 「ヨード」蒼鉛, 次「サリチル」酸蒼鉛,
「タンニン」酸 「キニーネ」, 「レゾルチン」, 「ナフタリン」, 「ピロ

ガロール」, 白色 「ワゼリン」, 「タンニン」酸, 過 「マンガン」酸
「カリ」, 「サントニン」錠, 「コロイド」銀軟膏, 「サフラン」, 沒食
子酸, 昇汞 「ガーゼ」, 「テレピン」油, 「プロテイン」銀, 「クエン」
酸鐵, 「クエン」酸鐵 「アンモン」, 酒石酸鐵 「カリ」, 「ヨードホル
ムガーゼ」精製 「テレピン」油, 乳酸鐵 鹽化第二鐵, 鹽化第二鐵
液 「ヨードホルムコロヂオン」, 「ベルガモット」油, 白檀油, 「ヨ
ードホルム」綿, 「グアヤコール」, 「クエン」酸鐵液, 「サリチル」酸
「ソーダ」, 硫酸第二鐵液, 「カカオ」脂, 昇汞綿, 止血綿, 麻醉用「エ
ーテル」 「メチレン」青, 「クレゾール」石鹼液

【劇薬】

「アミノ」安息香酸 「エチル」	「アミノピリン」
杏仁水	硝酸銀加硝石
「ホルマリン」	甘汞
蒸氣製甘汞	黄色 「ヨード」汞
「オレイン」油水銀	白降汞
揮發芥子酸	防疫用石炭酸
甘汞錠	「テオファイリン」
鹽酸 「モルヒネ」錠	「クレオソート」
阿片 「アルカロイド」鹽酸鹽	液状石炭酸
「サントニン」	石炭酸
阿片吐根錠	「クロロホルム」
「ヂウレチン」	「ヨードカリ」錠
四鹽化炭素	硝酸銀
ルゴール液	「デギタリス」葉
麻醉用 「クロホルム」	「デギタリスチンキ」
鹽酸 「ロベリン」	熔製硝酸銀
「クロルエチル」	「ヘノボヂ」油
「プロムエチル」	

【毒薬】

「サリチル」酸 「エゼリン」, 赤色 「ヨード」汞
鹽酸 「ヂアセチルモルヒネ」, 黄降汞
鹽酸 「エメチン」 「オキシシアン」水銀, 「オキシシアン」水銀錠,
赤降汞, 鹽酸 「アポモルヒネ」
硫酸 「エゼリン」, 昇汞錠

B. 冷暗處ニ貯フベキモノ

【普通薬ノ扱ヒヨナスモノ】

「エーテル」	「クロラミン」
過酸化水素水	甘硝石精
含糖 「ヨード」鐵	麻醉用 「エーテル」
晒粉	

【劇薬】

乾燥及液體 「ヂフテリア」血清
「ツベルクリン」, 乾燥及液體破傷風血清
麻醉用 「クロ・ホルム」, 亞硝酸 「アミル」
鹽酸 「エピレナミン」液, 「プロムエチル」

【毒藥】

「アルゼノベンゾール」, 「ネオアルゼノベンゾール」, 「アルゼノベンゾールナトリウム」, 強「ネオアルゼノベンゾール」

C. 冷處ニ貯フベキモノ

【普通藥扱ヒヨナスベキモノ】

滅菌「ゼラチン」液	「アラビアゴム」漿
石油「ベンジン」	醋酸「エチル」
「コロヂオン」	「ベルガモット」
「カカカ」脂	「カンフル」
「タールパスタ」	彈力「コロヂオン」
「エーテル」精	醋酸「アルミニウム」液
「アンモニア」水	「ヨードホルムコロヂオン」
白檀油	壓縮酸素
「シロップ」劑	

【劇藥】

發煙硝酸	「プロム」
「カンタリスコロヂオン」	「ヘノボヂ」油

D. 一年ヲ超ユベカラザルモノ

液體「ヂフテリア」血清
液體破傷風血清
「ツベルクリン」
以上三者ハ劇藥扱ヒヨナス

E. 水ヲ滿タセル壺中ニ沈メ硝子栓ヲ以テ密閉シ「ブリキ」ノ器ノ中ニ納メ貯フ

【毒藥】

黃磷

F. 無色壺ニ容レ鐵線ヲ投ジ密栓シ明處ニ貯フベキモノ

「ヨード」鐵「シロップ」

4. 藥局常備藥品

亞鉛華(酸化亞鉛)	劇 阿片「チンキ」
亞鉛華軟膏	劇 阿片末
「アスピリン」(アセチルサリチル酸)	劇 「アミノピリン」(ピラミドン)
劇 「アセトアニリド」(アンチフェリン)	劇 「アラビアゴム」
毒 亞砒酸「カリ」液(フオレル水)	劇 安息香酸「ソーダカフフェイン」「アンナカ」
亞砒酸解毒劑	劇 「アンチピリン」(「フェニルヂメチルピラツオロン」)
	劇 「アンモニア」水

「イヒチオール, ズルフオン」
酸「アンモン」
「ウワウルシ」葉
「エチル」炭酸「キニネ」
鹽化第二鐵液
鹽酸「キニーネ」
劇 鹽酸「コカイン」
毒 鹽酸「ヂアセチルモルヒネ」
毒 鹽酸「モルヒネ」
劇 鹽素酸「カリ」
黃色「ワセリン」
「オレフ」油
「カカオ」脂
過酸化水素水
還元鐵
劇 甘汞
甘草
「カンフル」
肝油
稀鹽酸
吉草「チンキ」
「キナ」皮
劇 杏仁水
苦味「チンキ」
「グリセリン」
劇 「クレオソート」
胡麻油
醋酸「カリ」液
劇 醋酸鉛(鉛糖)
「サリチル」酸
「サリチル」酸「ソーダ」
劇 「サントニン」
次「サリチル」酸蒼鉛
次硝酸蒼鉛
重酒石酸「カリ」(精製酒石)
重炭酸「ソーダ」(重曹)
酒石酸
毒 昇汞
劇 硝酸銀
蒸餾水
食鹽(クロールナトリウム)
「シロップ」(單舍利別)
人工「カルルス」泉鹽
水銀軟膏
劇 「ストロファンツスチンキ」

生石灰(煨製石灰)
劇 石炭酸(「フェノール」)
石炭酸水
「センナ」葉
大黃
炭酸「グアヤコール」
單軟膏
「タンニン」酸
「ヂアスターゼ」
劇 「ヂキタリス」葉
劇 「ヂフテリア」血清
劇 吐根
劇 吐根「チンキ」
劇 ドーフル散
乳糖
劇 麥角「エキス」
「ヒマシ」油
白檀油(「サンタル」)油
劇 「フェナセチン」
「プロムカリ」(臭剝)
「ヘキサメチレンテトラミン」
劇 防疫用石炭酸(防疫用「フェノール」)
硼酸
劇 抱水クロラール
劇 「ホミカチンキ」
劇 「ホルマリン」「フオルムアルデヒド」液
「マグネシア」(煨製マグネシア)
劇 「ミグレニン」(「クエン」酸「カフェインアンチピリン」)
劇 「ヨードカリ」
劇 「ヨードチンキ」
「ヨード」鐵「シロップ」
劇 「ヨードホルム」
劇 硫酸亞鉛
劇 硫酸「アトロピン」
劇 硫酸銅
硫酸「ラゲネシア」(瀉利鹽)
龍膽
齒膽「エキス」
リンゲル洗
劇 磷酸「ロデイン」
劇 「ロートエキス」

5. 毒藥表

他薬ト區別シ鎮痛ヲ備ヘタル場所ニ收ム。

亞砒酸及亞砒酸丸	鹽酸「エメチン」
昇汞及昇汞錠	黃降汞
亞砒酸「カリ」液	赤降汞
鹽酸「ピロカルピン」	「サルチル」酸「エゼリン」
巴豆油	硝酸「ストリキニーネ」
硫酸「アトロピン」	赤色「ヨード」汞
鹽酸「モルヒネ」	鹽酸「アポモルヒネ」
黃磷	「プロム」水素酸「スコボラミン」
「サリチル」酸水銀	硫酸「エゼリン」
「プロム」水素酸「ホマトロピン」	

第五改正日本藥局方ニ新載サレタルモノ。

「アルゼノベンゾールナトリウム」, 強「ネオアルゼノベンゾール」, 「アルゼノベンゾール」, 鹽酸「ジアセチルモルヒネ」, 「オキシシアン」水銀及其錠劑, 「ネオアルゼノベンゾール」,

6. 劇藥表

(第五改正日本藥局方ニヨル)

「アガリチン」	鹽酸
亞硝酸「アミル」	鹽酸「エチルモルヒネ」
亞硝酸「ソーダ」	鹽酸「エピレナミン」液
「アセトアニリド」	鹽酸「エフェドリン」
阿片「アルカロイド」鹽酸鹽	鹽酸「コカイン」
阿片安息香「チンキ」	鹽酸「コカイン」錠
阿片「エキス」	鹽酸「トロパコカイン」
阿片吐根錠	鹽酸「プロカイン」
阿片末	鹽酸「モルヒネ」錠
「アミノ」安息香酸「エチル」	鹽酸「ロベリン」
「アミノピリン」(ピラミドン)	鹽素酸「カリ」
安息香酸「ソーダカフエイン」	黃色「ヨード」汞
(アンナカ)	「オレイン」酸水銀
アンチピリン	海葱
一酸化鉛	苛性「カリ」
印度大麻「エキス」	苛性「ナトロン」
印度大麻草	「カフエイン」
印度大麻「チンキ」	「カリ」油液
液狀石炭酸	甘汞
鹽化亞鉛	甘汞錠
鹽化「コタルニン」	乾燥甲狀腺

「カンタリス」	破傷風血清
「カンタリスコロゾオン」	發煙硝酸
「カンタリスチンキ」	「バルピタール」(「ヂエチルバル
吉草酸亞鉛	ピツール」酸)
揮發芥子油	「ピクリン」酸(「トリニトロフェノ
杏仁水	ール」)
強發泡膏	「ヒドラスチス」流動「エキス」
「グアヤコール」(縮管本「チンキ」)	「ヒヨスエキス」
「クエン」酸銅	「ヒヨス」葉
「クレオソート」	「フェナセチン」
「クロルエチル」	「フェノバルピタール」(「フェニル
「クロロホルム」	エチルバルピツール」酸)
牽牛子脂	「フェノールフタイレン」
醋酸鉛(鉛糖)	「プロム」
「サリチル」酸「アンチピリン」	「プロムエチル」
「サリチル」酸「ソーダカフエイン」	「プロムカンフル」(「プロム」樟腦)
(「サリソールカフエイン」)	「プロムヂエチルアセチル」尿素
「サントニン」	「プロムワレリル」尿素
四鹽化炭素	「ヘノボヂ」油
次醋酸鉛液(鉛醋)	防疫用石炭酸(防疫用「フェノー
萘酸「セリウム」	ール」)
蒸氣製甘汞	抱水「クロラール」
硝酸	「ホミカ」(番木鱉)
硝酸銀	「ホミカエキス」
硝酸銀加硝石	「ホミカチンキ」
「ストロファンツス」子	「ホルマリン」
「ストロファンツス・チンキ」	麻醉用「クロロホルム」
「ズルフォナール」	「マンダラ」葉
石炭酸(「フェノール」)	「ミグレニン」(「クエン」酸「カフ
ヂウレチン(「サリチル」酸「テオプ	エインアンチピリン」)
ロミンソーダ)	無水「クロム」酸
「ヂギタリスチンキ」	「メチルスルホナール」
「ヂギタリス」葉	「メチレン」青
「ヂフテリア」血清	綿馬「エキス」
「ツベルクリン」	綿馬根
「テオフィリン」	「ヤラツバ」根
銅礬	「ヤラツバ」脂
吐根	熔製硝酸銀
吐根「チンキ」	溶性「バルピタール」
吐酒石	「ヨード」
「ドファール」散	「ヨードカリ」
「トリケロール」醋酸	「ヨードカリ」錠
麥角	「ヨードチンキ」
麥角「エキス」	「ヨードホルム」
麥角流動「エキス」	ラクチルフェネチデン
白降汞	硫酸

硫酸亜鉛
硫酸銅
磷酸「コデイン」
「ルゴール」液

「ロート」エキス
「ロート」根
「ロートチンキ」
「ロート」葉

7. 薬品極量表

〔注意〕 極量以上処方スルトキハ必ず符號ヲ記スベシ。

○ 薬室常備薬 △ 劇薬 × 毒薬

薬品名	極量	
	1回 (g.)	1日 (g.)
局○△ アセトアニリド (アンチフェブリン) Acetanylidum (Antifebrin)	0.3	1.0
局× 亜砒酸 Acidum arsenicosum	0.005	0.015
局△ 石炭酸 (フェノール) Acidum carbolicum	0.1	0.3
△ ゼエチールバルビツール酸 (ヴェロナール) Acidum diaethylbarbituricum (Veronal)	0.5	1.0
局 バルビタール Barbital		
× 稀青酸 Acidum hydrocyanicum dilutum	0.1	0.3
局△ アガリチン Agaricinum	0.1	
局△ クエン酸カフェインアンチピリン (ミグレニン) Antipyrinum coffeinocitricum (Migraeninum)	1.0	3.0
局○△ アンチピリン Antipyrinum	1.0	3.0
△ サリチール酸アンチピリン (ザリピリン) Antipyrinum salicylicum (Salipyrinum)	1.0	3.0
局○× 鹽酸アポモルヒネ Apomorphinum hydrochloricum	0.02	—
局△ 杏仁水 Aqua Pruni Armeniacae	2.0	6.0
△ バクチ水 Aqua Pruni Macrophyllae	2.0	6.0
局△ 硝酸銀 Argentum nitricum	0.03	0.1
局× 硫酸アトロピン Atropinum sulfuricum	0.001	0.003
局△ 海葱 Bulbus Scillae	0.2	1.0

局△ プロームカンフル Camphora monobromata	0.3	1.0
局△ カンタリス Cantharis	0.03	0.1
△ 蕁酸セリウム Cerium oxalicum	0.3	1.0
局○△ 抱水クロラル Chloralum hydratum	2.0	6.0
局○△ 鹽酸コカイン Cocainum hydrochloricum	0.05	0.15
局○△ 磷酸コデイン Codeinum phosphoricum	0.1	0.3
局△ カフェイン Coffeinum	0.5	1.5
局△ 安息香酸ナトリウムカフェイン (アンナカ) Coffeinum natriobenzoicum	1.0	3.0
局△ サリチール酸ナトリウムカフェイン Coffeinum natriosalicylicum	1.0	3.0
局○△ 硝酸銅 Cuprum sulfuricum	1.0	—
局○△ 鹽酸ジアセチールモルヒネ (ヘロイン) Diacetylmorphinum hydrochloricum (Heroinum hydrochloricum)	0.005	0.015
局○△ デメチールアミノアンチピリン (ピラミドン) Dimethylaminoantipyrinum (Pyramidon)	0.3	1.0
局 新名アミノピリン Aminopyrinum		
△ デオニン (鹽酸エチールモルヒネ) Dioninum	0.01	0.03
局× 鹽酸エメチン Emetinum hydrochloricum	0.05	0.15
局○ 鹽酸エフェドリン Ephedrinum hydrochloricum	0.05	0.15
局△ 印度大麻エキス Extractum Cannabis indicae	0.05	0.15
△ コロシントエキス Extractum Colocynthis	0.05	0.15
局△ 綿馬エキス Extractum Filicis	—	10.0
局△ ヒヨスエキス Extractum Hyoscyami	0.1	0.3
局△ 阿片エキス Extractum Opii	0.1	0.3
局○△ ロートエキス Extractum Scopoliae	0.05	0.15
局○△ 麥角エキス Extractum Secalis Cornuti	0.3	1.0
局△ ホミカエキス Extractum, Vomicae (Strychni)	0.05	0.1

局○△	ヂキタリス葉 Folia Digitalis	0.2	1.0
△	ヒヨス葉 Folia Hyoscyami	0.3	1.0
△	ベラドンナ葉 Folia Belladonna	0.15	0.5
局△	マンダラ葉 Folia Stramonii	0.2	0.6
局△	グアヤコール Guajacolum	0.3	1.0
△	ロベリア草 Herba Lobeliae	0.1	0.3
局×	ブロム水素酸ホマトロピン Homatropinum hydrobromicum	0.001	0.003
局○×	昇汞 Hydrargyrum bichloratum	0.02	0.06
局×	赤色ヨード汞 Hydrargyrum bijodatum rubrum	0.02	0.06
局△	黄色ヨード汞 Hydrargyrum iodatum flavum	0.02	0.06
局×	サリチール酸水銀 Hydrargyrum salicylicum	0.02	0.06
○△	ヨードフォルム Jodoform-	0.2	0.6
局△	ヨード Jodum	0.02	0.06
局○△	クレオソート Kreosotum	0.5	1.5
△	ラクトフェニン Lactopheninum	0.7	2.0
	ラクトフェチジン Lactylphenetidintm		
局○	亜砒酸カリ液 (フォーレル水) Liquor Kalii arsenicosi (Liquor Fowleri)	0.5	1.5
△	メチールズルフォナール Methylsulfonalum	1.0	3.0
局○	鹽酸モルヒネ Morphinum hydrochloricum	0.03	0.1
×	硫酸モルヒネ Morphinum sulfuricum	0.03	0.1
局×	巴豆油 Oleum Crotonis	0.05	0.15
局	白檀油 Oleum Santali	1.0	2.0
局○△	阿片末 Opium	0.15	0.5
局△	フェナセチン Phenacetinum	1.0	3.0

局×	黄燐 Phosphorus	0.001	0.003
局×	サリチール酸フィゾスチグミン (又エゼリン) Physostigminum salicylicum	0.001	0.003
局×	硫酸フィゾスチグミン (又エゼリン) Physostigminum sulfuricum	0.001	0.003
局×	鹽酸ピロカルピン Pilocarpinum hydrochloricum	0.02	0.04
局△	醋酸鉛 Plumbum aceticum	0.1	0.3
局○△	ドーフル散 Pulvis Doveri	1.0	3.0
△	ロート根 Radix Scopoliae	0.1	0.3
局○△	ヤラツバ脂 Resina Jalapae	0.5	1.5
△	ポドフィルム脂 Resina Podophylli	0.1	0.3
△	レゾルチン Resorcinum	0.5	5.0
局○△	サントニン Santoninum	0.1	0.3
局×	ブロム水素酸スコボラミン Scopolaminum hydrobromicum	0.0005	0.0015
局△	麥角 Secale cornutum	1.0	5.0
局△	ホミカ Semen Strychni	0.1	0.2
局△	吐酒石 Stibio-Kalium tartaricum	0.1	0.3
局×	硝酸ストリキニーネ Strychninum nitricum	0.005	0.010
局△	ズルフォナール Sulfonalum	1.0	2.0
局△	サリチール酸ナトリウムテオプロミン (ヂウレチン) Theobrominum natriosalicylicum (Diureticum)	1.0	3.0
局△	テオフィリン Theophyllum	0.5	1.5
△	アコニットチンキ Tinctura Aconiti	0.5	1.5
局△	カンタリスチンキ Tinctura Cantharidis	0.2	0.6
△	コリヒクムチンキ Tinctura Colchici	2.0	6.0
△	コロシントチンキ	1.0	3.0

●△	Tinctura Colocynthis	1.5	5.0
	ヂギタリスチンキ		
	Tinctura Digitalis	0.2	0.6
●○△	ヨードチンキ		
	Tinctura Jodi	1.0	3.0
△	ロベリアチンキ		
	Tictura Lobeliae	1.5	5.0
●○△	阿片チンキ		
	Tinctura Opii	1.0	3.0
△	ロートチンキ		
	Tinctura Scopoliae	0.5	1.5
●△	ストロファンツスチンキ		
	Tinctura Strophanthi	1.0	2.0
●△	ホミカチンキ		
	Tinctura Strychni	0.1	0.3
●△	鹽酸トロパコカイン		
	Tropacocainum hydrochloricum	2.0	6.0
△	コルヒトム酒		
	Vinum Colchici	1.5	5.0
△	芳香阿片酒		
	Vinum Opii aromaticum	1.0	—
●△	硫酸亞鉛		
	Zincum sulfuricum		

8. 日常使用器具ニヨル藥容量

歐米ニ於テハ患者ヲシテ調製藥劑ヲ分チ服用セシメルコトガアル、其ノ分チ方ニハ日常家庭ニ於テ使用スル器具(容具)ヲ單位トシテ使用ス、我國ニ於テハ餘リ用ヒラレズ、參考ノ爲メニ、數例ヲ列記ス、然シ我々ガ外國處方ヲ日本人ニ適用セントスルガ如キ場合ニハ是ヲ知り居ルコトハ便宜デアアル。

1. 小刀尖	1. Messerspitze.	約 2.0 g.
1. 茶匙	1. Teelöffel	約 4.0
(日常「コーヒー」飲用ノ時ニ使用スルモノ)		
1. 小兒匙	1. Kinderlöffel	約 8.0
1. 食匙	1. Esslöffel	約 15.0
西洋料理ノ「スープ」用ノモノ		
1. 酒盞	1. Weinglas	約 120.0cc
1. 水盞	1. Wasserglas	約 180.0

約一合ニ相當ス
日本ノ酒杯ハ大小種々アルガ、普通ノモノハ約 30.0 c.c. (珪, 立方「センチメートル」) ヲ容レル。

9. 滴量表

(イロハ順—杉井善雄博士)

	1 g = 對スル滴數	1 滴ノ重量
ロートチンキ	57	0.018
ロスマリン油	54	0.019
ローズ油	55	0.018
ローズ水	25	0.040
麥角硫動「エキス」	41	0.024
薄荷水	29	0.035
巴豆油	43	0.023
薄荷水	53	0.019
乳酸	38	0.026
ヘルマリン水	21	6.048
ベルガモット油	52	0.019
ヘノボヂ油	49	0.020
ペプシン油	30	0.033
ベンゾール	54	0.018
橙花油	54	0.019
吐根チンキ	57	0.017
橙花水	27	0.037
丁子油	45	0.022
ヂギタリスチンキ	55	0.018
硫酸	28	0.036
硫動パラフィン	45	0.022
磷酸	20	0.051
ルゴール液	21	0.048
オレーフ油	42	0.024
カリ油油	19	0.052
芥子精	63	0.016
カスカラサグラダ流動エキス	40	0.025
過酸化水素水	20	0.049
カンフルオレーフ油	44	0.023
肝油	44	0.023
甘硝石精	62	0.016
カンフル精	59	0.017
ヨードチンキ	61	0.019
ヨード鐵シロツプ	18	0.055
ラベンデル油	53	0.019
茴香水	21	0.047
茴香油	44	0.023
クレゾール水	50	0.020
クロ、ホルム	58	0.017
クレオソート	39	0.0255
グリセリン	22	0.045
クレゾール石鹼液	45	0.022

	1gニ對スル滴數	1滴ノ重量
苦味チンキ	58	0.017
麻醉用クロロホルム	58	0.017
桂皮水	24	0.042
コニアク	51	0.020
コンヅランゴ流動エキス	41	0.025
コンヅランゴ油	32	0.031
液状石炭酸	37	0.027
鹽酸	21	0.048
複方キナチンキ	57	0.018
鹽酸エピレナミン液	25	0.039
エーテル	89	0.011
エーテル精	67	0.015
エーテル性吉草チンキ	66	0.015
テレピン油	56	0.018
アルコール	64	0.016
阿片チンキ	45	0.022
亞硝酸アミール	72	1.014
亞麻仁油	43	0.023
阿片安息香チンキ	56	0.018
亞硫酸カリ液	34	0.029
醋酸	34	0.030
醋酸エチル	63	0.016
稀硫酸	20	0.050
揮發芥子油	45	0.022
杏仁水	37	0.027
吉草チンキ	56	0.018
キナチンキ	55	0.018
キナ流動エキス	58	0.017
稀鹽酸	21	0.048
稀アルコール	56	0.018
稀醋酸	25	0.040
ミルラチンキ	63	0.016
硝酸	22	0.047
四鹽化炭素	62	0.016
シロツブ	18	0.055
常水	20	0.050
蒸餾水	20	0.050
純アルコール	69	0.014
ヒマシ油	36	0.028
白檀油	39	0.026
ゼネガシロツブ	24	0.042
精製テレピン油	56	0.018
石油ベンゼン	81	0.012
石灰水	20	0.050
水性大黃チンキ	29	0.035
ストロファンツスチンキ	57	0.018

10. 法定藥品名ト慣用藥品名ノ對照表

A. 法定藥品名 → 慣用藥品名

Acidum acetylsalicylicum.	Aspirinum.
アセチルサリチール酸(アスピリン)	アスピリン
Acidum diaethylbarbituricum.	Veronalum.
ジエチルバルビツール酸	ヴェロナール
Aethylmorphinum hydrochloricum.	Dioninum.
鹽酸エチルモルヒネ	デオニン
Albuminum tannicum.	Tannalbumin.
タンニン酸アルプミン	タンナルピン
Ammonium sulfoichthyolicum.	Ichthyolum.
スルフォイヒチオール酸アムモニウム	イヒチオール
Antipyrino-Caffeinum citricum.	Migraeninum.
クエン酸カフェインアンチピリン (ミグレニン)	ミグレニン
Antipyrinum salicylicum.	Salipyrinum.
サリチール酸アンチピリン	サリピリン
Argentum proteinicum.	Protargolum.
プロテイン銀	プロタルゴール
Bismutum jodatatum subgallicum.	Airolum.
次没食子酸ヨード蒼鉛	アイロール
Bismutum subgallicum.	Dermatolum.
次没食子酸蒼鉛	デルマトール
Bismutum tribromphenylicum.	Xeroformum.
トリブローム石炭酸蒼鉛	セキロフォルム
Chininum aethylcarbonicum.	Euchininum.
エチル炭酸キニーネ	オイヒニン
Diacetylmorphinum hydrochloricum.	Heroinum hydrochloricum.
鹽酸ジアセチルモルヒネ	鹽酸ヘロイン
Dimethylaminoantipyrinum.	Pyramidonum.
ジメチルアミノアンチピリン Aminopyrinum (アミノピリン)	ピラミドン
Hexamethylenteraminum.	Urotropinum.
ヘキサメチレンテトラミン	ウロトロピン
Kalium sulfoguaiaacolum.	Thiocolum.
スルフォグアヤコールカリウム	チオコール
Lactylphenetidinum.	Lactopheninum.
ラクチールフェネチデン	ラクトフェニン
Methylsulfonalum.	Trionalum.
メチルスルフォナール	トリオナール
Paraaminobenzoyldiaethylaminoethanolum hydrochloricum.	Novocainum.
鹽酸パラアミノベンツオイルジエチルアミノエタノール	ノボオカイン
Phenyldihydrochinazolinum.	Orexinum. tannicum.
tannicum.	

タンニン酸フェニールデヒドロヒナ ツオリン	タンニン酸オレキシシ
Phenylum salicylicum. サリチール酸フェニール	Salolum. ザロール
Tanninum acetylicum. アセチールタンニン	Tannigenum. タンニゲン
Theobrominum natrioaceticum. 醋酸ナトリウム・テオプロミン	Agurin. アシリン
Theobromino-Natrium salicy- licum	Diuretinum.
サリチール酸テオプロミン・ソーダ (ヂウレチン)	ヂウレチン

B. 慣用薬品名 → 法定薬品名

Agurin. (利尿剤) アグリ	Theobrominum natrioaceticum. 醋酸テオプロミン・ソーダ
Airolum. (収斂, 防腐) アイロール	Bismutum jadatatum subgallicum. 次没食子酸ヨード蒼鉛
Aspirinum. (解熱, 鎮痛) アスピリン	Acidum acetylsalicy- licum. アセチールサリチール酸
Dermatolum. (収斂) デルマトール	Bismutum subgali- cum. 次没食子酸蒼鉛
Dioninum. (鎮痛) デオニン	Aethylmorphinum hydrochloricum. 鹽酸エチールモルヒネ
Diuretinum. (利尿) ヂウレチン	Theobromino-Natrium salicylicum. サリチール酸テオプロミン ・ソーダ
Euchininum. (解熱) オイヒニン	Chininum aethylcar- bonicum. エチール炭酸キニーネ
Heroinum hydrochloricum. 鹽酸ヘロイン	Diacetylmorphinum hydrochloricum. 鹽酸ジアセチールモルヒネ
Ichthyolum. (消炎, ロイマチス) 劑 イヒチオール	Ammonium sulfoicht- hyolicum. スルフオイヒチオール酸ア ムモニウム
Lactopheninum. (解熱鎮痛) ラクトフェニン	Lactylphenetidinum. ラクチールフェネチデン
Migraeninum. (鎮痛) ミグレニン	Antipyrino-Caffeinum citricum. クエン酸カフェインアンチ ピリン

Novocain. (局所麻酔) ノヴオカイン	Paraamidobenzoyldi- aethylaminoeth- anolum hydrochlo- ricum. 鹽酸パラアミドベンツオイ ルヂエチールアミノエタ ノール
Orexinum tannicum. (鎮吐劑) タンニン酸オレキシシ	Phenyldihydrochinazo- linum. tannicum タンニン酸フェニール・ヂ ヒドロヒナツオリン
Protargolum. (収斂消炎) プロタルゴール	Argentum proteini- cum. プロテイン銀
Pyramidon (解熱鎮痛) ピラミドン	Dimethylaminoanti- pyrinum. ジメチールアミノアンチピ リン (アミノピリン)
Salipyrinum (解熱鎮痛) ザリピリン	Antipyrinum salicyli- cum.
Salolum (解熱, 尿路腸管消毒) ザロール	Phenylum salicylicum. サリチール酸フェニール
Tannalbumin 収斂 (止痢劑) タンナルビン	Albuminum tannicum. タンニン酸アルブミン
Tannigenum. (止痢劑) タンニゲン	Tanninum acetylicum. アセチールタンニン
Tannigenum. (結核劑) チオコール	Kalium sulfogua-jaco- licum. ズルフオグアヤコ ルカリ ウム
Trionalum. (催眠) トリオナル	Methylsulfonalum. メチールズルフオナル
Urotropin (尿路消毒) ウロトロピン	Hexamethylentetra- min. ヘキサメチレンテトラミン
Veronalum. (催眠) ヴェロナール	Acidum diaethylbar- bituricum. ヂエチールバルビツール酸
Xeroformum. (収斂, 乾燥) キセロフォルム	Bismuthum tribrom- phenylicum. トリフローム石炭酸蒼鉛

VIII. 診療ノ栞

1. 食物消化時間 (健康大人)

品名	消化時間
平野水, 麥酒, 紅茶, 半熟卵	1.30
鯉節煎汁, 鮎, 若布, 林檎, 密柑(袋を除く), 米飯	1.45
牛乳, 酒, 麵麴, 小豆, 大根, 蕪, 鯛(刺身)	2.00
素麵, 豆腐, 麩, 煎餅, 蓮根, 牡蠣(生)	2.15
味噌汁, 薯蕷汁, 蕎麥, 餅, 人參, 馬鈴薯, 牛蒡, 昆布, 生卵, 「チヨコレート」, 卵(煮)	2.30
白酒, 酒粕汁, 饅頭, 葱, 牛肉(鋤焼), 鰯, 鱈	2.45
甘藷, 蒟蒻, 黑豆, 「コ・ア」	3.00
卵酒, 栗餅, 鯛(鹽焼)	3.15
鯛(味噌漬), ハム(煮)	3.30
鱈(煮), 蛤, 田作	3.45
海老(天プラ), 油揚, 鮭, 鶏(鋤焼)	4.00
鱈, 鰻, 豚(鋤焼), ビフテキ	4.15
豚(味噌焼), 鰻	4.30

2. 小兒脈搏數

年齢	脈搏數 (1 分間)
出生直後	120-160
第 1 週	120-150
1 年	120-140
2 年	110-102
3 年	100-110
5 年	96-100
10 年	80-96

3. 呼吸數

年齢	呼吸數 (1 分間)
初生兒	40-50
6ヶ月未満	30-35
1年ノ終	30-
2年	25-30
5年	20-25
7年以後	20迄
成人	16

4. 小兒ノ運動機能ト精神機能ノ發達及ビ生齒ノ概要

年齢	發達概要	
II 月	微笑, 凝視, 望見, 音響ニ向フ. 母音ヲ發ス.	
III //	{ 流淚, 仰臥時頭ヲ扛グ, 斜視ノ消失, 調語 (ラルレン) 始ル, 手指ヲ吸フ.	
IV //	{ 首ノ据リ, 把握, 母ノ膝上ニ坐ル, 表情漸ク鮮明, 聲ヲ出シテ笑フ意響ノ諦聽. 「カ, コ, エ」ヲ明ニ發ス.	
V //	{ 腕ヲ延バシ手指ヲ動カシ物體ヲ把ル, 跳躍, 種々ナル發音, 母ヲ知ル.	
VI //	{ オ坐リ(ゑんこ)寢返リ, 人見知りノ初. 色々ノ味ヲ覺ヘル.	
VII //	下内門齒. 談話ヲ解ス.	
VIII //	{ 手ヲ支フレバ起立直立, 這行 (はひはひ) 後方ニツル. 音樂ヲ解ス.	
IX //	上内門齒	
X //		上外門齒
XI //		
XII //	{ 起立(たつち), 周圍ノ人ニ對スル記憶 { 歩行(あんよ)ノ初, 言語ノ理解, 意味アル單語ヲ話ス. 意識アル感情起ル.	
XIII 月	大顎門閉鎖 } 歩 行	
XIV //		第一小白齒
XV //		
1½ 年	{ 命令ノ理解ト實行, 模倣, 目的アル行動	
2 //	{ 單語ノ増加, 句ヲ綴ル, 自己意識ノ發達. 知覺發達ス.	
3 年	談 話 { 論理的答辯ト行動, 小話小唄, 記憶, 色覺ノ發生, 匙ニテ食事ヲ爲ス飛躍, 登攀, 散歩.	
5 //	第一大白齒 事物ヲ判斷選擇ス.	
6-7 //	第二生齒期 (20 齒) 美的感情發達ス.	
12 //	第二大白齒 (4 齒)	
16-28 //	智 齒	

5. 小兒睡眠時間

年齢	時間
第 1 ヶ月	約 20
滿 1 年	14-16
2-3 年	12-14
4-5 年	10-12
7 年	10-10½
10 年	9½-10
12 年	9
14 年	8½

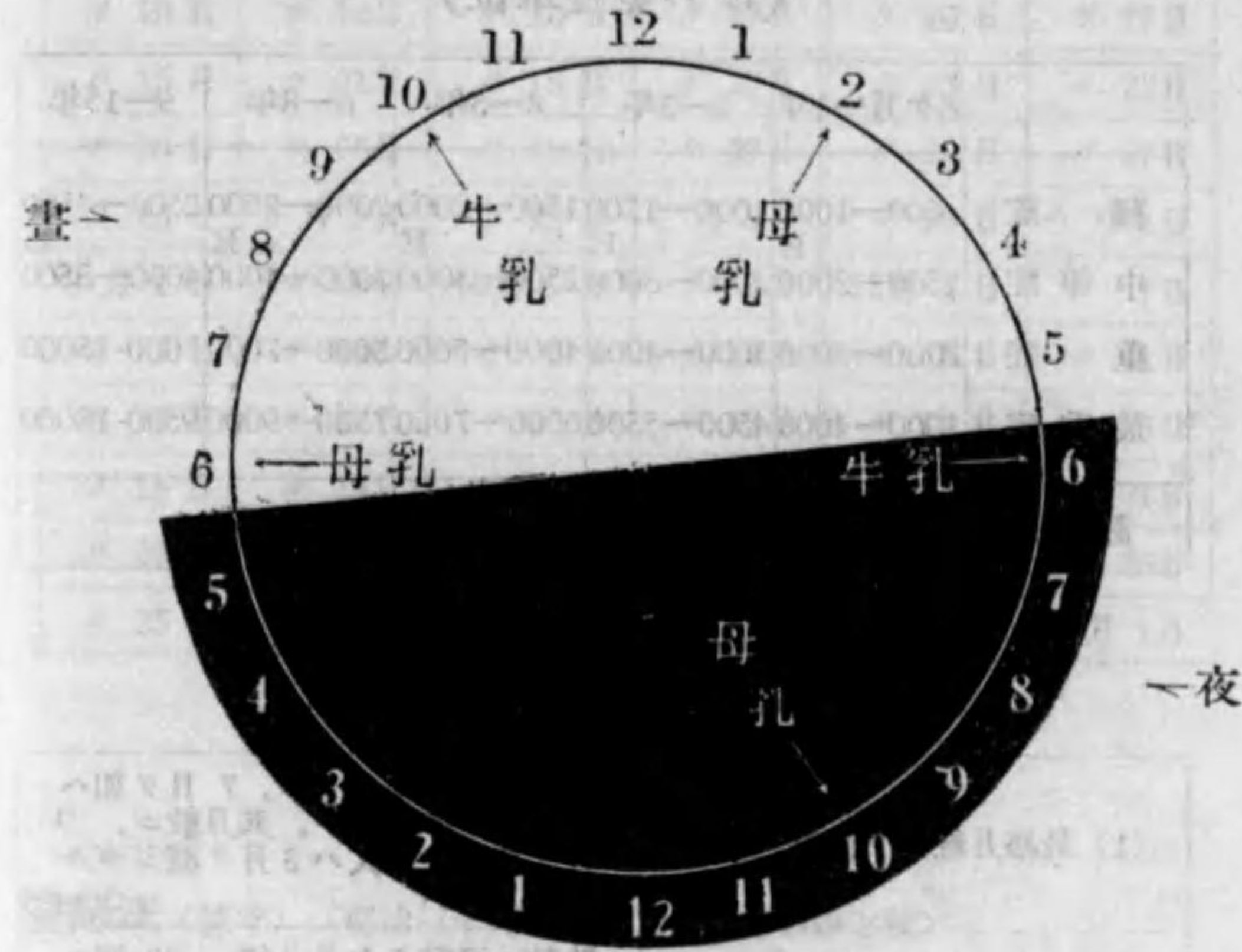
6. 健康乳兒ノ人工營養ノ形式概要

(醫博 太田孝之氏撰)

年齢	一日ノ食回数	各食時ノ間隔(時間)	牛乳稀釋ノ場合	一回量 c.c.	一日全量 c.c.	一回量ノ調製法
1 週*	6 X	3	三分乳	30-60	130-360	牛乳 10-20cc 水 20-40cc 糖 (3-5%) 1-3g
2-4 週*	5 X	4	二分乳	80-120	400-600	牛乳 40-60cc 水 40-60cc 糖 (3-5%) 3-6g
2-4 月	5 X	4		120-150	600-750	牛乳 60-75cc 水 1-3% 重湯 60-75cc 糖 (3-5%) 5-7.5cc
5-6 月	5 X	4	一分乳	160-180	800-900	牛乳 100-120cc 1-3% 澱粉煎汁 50-60cc 糖 (3-5%) 5-9g
7-8 月	5 X	4		180	900	牛乳 120cc 3% 澱粉煎汁 60cc 糖 (3-5%) 5-9g
9-10 月	5 X	4	全乳又ハ三分乳	180	900	調製法ハ 7-8 月ニ準ズ 十ヶ月以後 牛乳 4X △ 3-6% 糖ヲ混リ 1X100 → 150g ヲ與フルコトヲ得。 此外ニ 副菜果實汁ヲ與フ
11-12 月	5 X	4	全乳	180-200□	全乳 3X 3-9% 糖ヲ混リ 2X100-200g	

此表ハ 體重身長及ビ 營養狀態 正常ノモノノミニ適用サル
* 三週以内ノ乳兒ニハ 人工營養ヲ禁忌ス 己ムヲ得ザレバ 人乳ヲ主トシテ 一部此表ニヨル混合營養ヲ與フ
□ 一年以内ノ乳兒ノ一日總量ハ 1000cc ヲ超ユルコトヲ許サズ
△ お混リニハ 白米「コゴメ」ヲ用ヒ 水又ハ 輕節蒸出シ汁又ハ 野菜スースーニテ 調製ス

7. 混合哺乳ノ仕方



8. 小兒藥品用量

(D ハ 大人ノ用量, n ハ 小兒ノ年齢, d ハ 求ムル用量)

(1) ヤング氏式 Young's Formula.

$$d = D \times \frac{n}{n+12}$$

(2) カウリング氏式 Cawling's Formul.

$$d = D \times \frac{n+1}{24}$$

(3) ガビウス氏式 Gowbius.

20-60 年ノ用量ヲ 1 トス.

年齢	用量
1 年以下	1/15-1/10
1-2	1/8
2-3	1/6
3-4	1/4
4-7	1/3
7-14	1/2
14-20	2/3-3/4

4. ノイマン氏 Neumann.

$$d = \frac{nD}{20}$$

9. 「チフテリー」治療血清標準表
(Eハ免疫單位)

	6ヶ月—1年	2—3年	4—5年	6—8年	9—15年
輕症	600—1000 E	1000—1500 E	1500—2000 E	2000—2500 E	2500—4500 E
中等症	1500—2000	2000—3000	2500—3000	3000—4000	4000—8500
重症	2000—3000	3000—4000	4000—5000	5000—7000	7000—13000
最重症	3000—4000	4500—5500	6000—7000	7500—9000	9500—18000

註—可及的一度ニ大量ヲ用フルヲ可トス。

10. 分娩豫定日計算表

(1) 最終月經ヨリ計算スル法		最終月經ノ第1日ニ、7日ヲ加ヘタルモノヲ日トシ、其月數ニ、9月ヲ加フルカ又ハ3月ヲ減ジタル數ヲ月トス			
(2) 胎動自覺初日ヨリ計算スル法		胎動ハ通常5ヶ月ノ後、20週ニテ感ズルモ、經産婦ニテハ1—2日早シ此自覺ヨリ20週後即チ曆日ノ4月ト20日後ヲ豫定トス			
(3) 受孕セシ交接日ヨリ計算スル法		受孕交接日ニ9月ヲ加フルカ又ハ3ヶ月ヲ減ズ			
最終月經日	分娩期日	最終月經日	分娩期日	最終月經日	分娩期日
1月1日	10月8日	3月1日	12月6日	5月1日	2月5日
// 5日	// 12日	// 5日	// 10日	// 5日	// 9日
// 10日	// 17日	// 10日	// 15日	// 10日	// 14日
// 15日	// 22日	// 15日	// 20日	// 15日	// 19日
// 20日	// 27日	// 20日	// 25日	// 20日	// 24日
// 25日	11月1日	// 25日	// 30日	// 25日	3月1日
2月1日	// 8日	4月1日	1月6日	6月1日	// 8日
// 5日	// 12日	// 5日	// 10日	// 5日	// 12日
// 10日	// 17日	// 10日	// 15日	// 10日	// 17日
// 15日	// 22日	// 15日	// 20日	// 15日	// 22日
// 20日	// 27日	// 20日	// 25日	// 20日	// 27日
// 25日	12月2日	// 25日	// 30日	// 25日	// 1日

7月1日	4月8日	9月1日	6月8日	11月1日	8月8日
// 5日	// 12日	// 5日	// 12日	// 6日	// 12日
// 10日	// 16日	// 10日	// 17日	// 10日	// 17日
// 15日	// 21日	// 15日	// 22日	// 15日	// 22日
// 20日	// 26日	// 20日	// 27日	// 20日	// 27日
// 25日	5月1日	// 25日	7月2日	// 25日	9月1日
8月1日	// 8日	10月1日	// 8日	12月1日	// 7日
// 5日	// 12日	// 5日	// 12日	// 5日	// 11日
// 10日	// 17日	// 10日	// 17日	// 10日	// 16日
// 15日	// 22日	// 15日	// 22日	// 15日	// 21日
// 20日	// 27日	// 20日	// 27日	// 20日	// 26日
// 25日	6月1日	// 25日	8月1日	// 25日	10月1日

11. 醫事法制

醫師法 (拔萃) (明治三十九年五月二日法律第四七號)

沿革 明治四十二年七月法律第四四號、大正三年四月第三八號、八年四月第五七號、十二年三月第一號、昭和八年四月四法律第四十五號改正

第五條 醫師ハ自ら診察セズシテ診斷書、處方箋ヲ交付シ若ハ治療ヲ爲シ又ハ檢案セズシテ檢案書若ハ死産證書ヲ交付スルコトヲ得ズ但シ診療中ノ患者死亡シタル場合ニ交付スル死亡診斷書ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 醫師診療ヲナシタルトキハ遲滞ナク診療ニ關スル事項ヲ診療録ニ記載スベシ

前項ノ診療録ニシテ診療所ニ依リ爲シタル診療ニ關スルモノハ其ノ診療所ノ首長ニ於テ、其ノ他ノ診療ニ關スルモノハ其ノ醫師ニ於テ之ヲ五年間保存スベシ

第六條ノ二 地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ハ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ衛生官吏ヲシテ診療録ヲ査閲セシムルコトヲ得

第七條 醫業ニ關シテハ何人ト雖モ醫師ノ學位、稱號及命令ヲ以テ定ムル專門科名ヲ除クノ外技能療法又ハ經歷ニ關スル廣告ヲナスコトヲ得ズ

内務大臣ハ前項ニ規定スルモノノ外醫業ニ關スル廣告ヲ制限スル爲必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第十一條 免許ヲ受ケズシテ醫業ヲ爲シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者醫師又ハ之ニ類スル名稱ヲ僭稱シタルモノナルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

醫師法施行細則 (明治三十九年九月三日内務省令第二十七號)

第一條 醫師免許ヲ受ケントスル者ハ醫師法第一條第一項又ハ第十三條第

二項規定ノ資格並ニ住所、氏名ヲ記載シタル申請書ニ戸籍謄本又ハ戸籍抄本ヲ添ヘ住所地ノ地方長官ヲ經由シ内務大臣ニ提出スベシ（明治四十二年内務省令第十七號ヲ以テ改正）

内務大臣ハ免許ヲ與フル時ハ醫籍ニ登録シ醫師免許證ヲ下付ス

第二條 醫籍ニ登録スベキ事項左ノ如シ

- 一 登録番號及登録年月日
- 二 族籍（外國人ナル時ハ其ノ國籍）、氏名、生年月日及女子ナルトキハ其ノ旨
- 三 醫師法第一條第一項又ハ第十三條第二項規定ノ資格及資格ヲ取得シタル年月日
- 四 免許ノ取消、醫業ノ停止其ノ事由、期間ヲ年月日
- 五 免許證ノ再下付其ノ事由及年月日
- 六 抹消ノ事由及年月日

第三條 醫師前條第二號ノ登録事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ事由ヲ記シ免許證及戸籍謄本又ハ戸籍抄本ヲ添ヘ三十日以内ニ所在地ノ地方長官ヲ經由シ内務大臣ニ醫籍ノ訂正ヲ申請スベシ

前條第三號ノ登録事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ事由ヲ記シ免許證ヲ添ヘ住所地ノ地方長官ヲ經由シ内務大臣ニ醫籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ免許證ヲ書換ヘ下付ス

第四條 醫師免許證ヲ毀損亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ三十日以内ニ住所地ノ地方長官ヲ經由シ内務大臣ニ再下付ヲ申請スベシ

前項免許證ノ再下付ヲ申請スル者ハ手数料金壹圓ヲ納付スベシ
亡失シタル免許證ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ其ノ地ノ地方長官ニ提出スベシ

第五條 第一條、第三條及第四條ノ申請ヲ爲ス者ハ登録税又ハ手数料ニ相當スル收入印紙ヲ申請書ニ貼用スベシ
既ニ納付シタル登録税又ハ手数料ハ之ヲ還付セズ

第六條 醫師醫籍ハ抹消ヲ申請セムトスルトキハ住所地ノ地方長官ヲ經由シ免許證ヲ内務大臣ニ返納スベシ

醫師失踪ノ宣告ヲ受ケ又ハ死亡シタルトキハ戸籍法ニ依ル届出業務者ヨリ三十日以内ニ前項ノ手續ヲ爲スベシ

第七條 醫師其ノ住所ヲ變更シタルトキハ十日以内ニ地方長官ニ届出ベシ其ノ移轉ニ依リ管轄地方廳ヲ異ニシタルトキハ後ノ住所地ノ地方長官ニ届出ベシ

後ノ住所地ノ地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ前ノ住所地ノ地方長官ニ通知スベシ

第九條 醫師死體又ハ四箇月以上ノ死産兒ヲ檢察シ異狀アリト認ムルトキハ二十四時間以内ニ所轄警察官署ニ届ベシ

第九條ノ二 醫師ハ法令ノ規定ニ依リ必要アル者ニ正當ノ事由ナクシテ診斷書、檢案書又ハ死産證書ノ交付ヲ拒ムコトヲ得ズ

開業ノ醫師ハ診察治療ノ需アル場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第九條ノ三 醫師ハ診察簿ニ其ノ治療シタル患者ノ氏名、年齢、病名及療法ヲ記載スベシ、但シ其ノ不明ナルモノハ患者發覺ノ時其ノ旨ヲ記載ス

第十條 醫師其ノ診察治療スル患者ニ自ラ藥劑ヲ交付スルトキハ容器又ハ包紙ニ其ノ用法患者ノ氏名及診察所、治療所ノ名稱又ハ自己ノ氏名ヲ明記スベシ

第十一條 地方長官ハ醫師法第十條ノ處分ヲ必要ト認ムルトキハ内務大臣ニ具申スベシ

前項ノ場合ニ於テハ豫メ道府縣醫師會ノ意見ヲ徵スルコトヲ要ス

第十三條 醫師法第十條ニ依リ停止處分ヲ受ケタル者ハ五日以内ニ免許證ヲ住所地ノ地方長官ニ提出スベシ

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ其ノ要旨ヲ免許證ニ裏書シ捺印ノ上領置シ期間滿了ノ後之ヲ還付スベシ

第十四條 左ニ掲グル場合ニ於テハ族籍、氏名、事由其ノ他必要ト認ムル事項ヲ官報ニ公告ス

- 一 醫籍ニ登録シ又ハ抹消シタルトキ
- 一 免許證再下付ノトキ
- 一 醫師法第十條ノ處分ヲ爲シタルトキ

第十五條 第三條第一項、第四條第一項第三項、第六條第二項、第七條第一項及第八條第一項ニ違背シタル者ハ拾圓以下ノ科料ニ處ス

第十六條 第九條、第九條ノ二、第九條ノ三、第九條ノ四、第十條、第十二條及第十三條第一項ニ違背シタル者ハ貳拾五圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本則ハ明治三十九年法律第四十七號醫師法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（大正八年十月十日ヨリ施行）

死亡診斷書、死體檢案書、死産證書、死胎檢案書、記載事項ノ件（明治三十三年九月内務省令第四十一號）

第一條 醫師ハ其ノ作爲スベキ死亡診斷書又ハ死體檢案書ニ左ノ諸件ヲ記載スベシ

- 一 死亡者ノ氏名其ノ職業及出生ノ年月日
- 二 病死者ニ在リテハ其ノ病名、自殺者ニ在リテハ其ノ手段、自殺以外ノ變死者及中毒者ニ在テハ其ノ種類
- 三 發病ノ年月日
- 四 死亡ノ年月日、時及場所

第二條 醫師及産婆ハ其ノ作爲スベキ死産證書又ハ死胎檢案書ニ左ノ諸件ヲ記載スベシ

- 一 父ノ氏名、職業、私生子ニ在リテハ母ノ氏名、職業及父母ノ出生年月日
- 二 死胎ノ嫡出子、庶子、私生子別及男女別
- 三 妊娠ノ月數
- 四 分娩ノ年月日及ビ其ノ場所

附 則

本令ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

醫師産婆ノ作爲スベキ死亡診断書、死體檢案書、死産證明書、死胎檢案書ノ様式及記載ノ件 (明治三十三年九月内務省訓令第三十八號)

本年(九月)當省令第四十一號ヲ以テ規定シタル醫師ノ作爲スベキ死亡診断書、死體檢案書及醫師又ハ産婆ノ作爲スベキ死産證書、死胎檢案書ノ様式並ニ其記載方ハ左ノ各項ニ準據セシメラルベシ

第1 死亡診断書、死體檢案書ノ様式

死亡診断書 (死體檢案書)	一、氏名
	二、男女ノ別
	三、出生ノ年月日
	四、職業 死亡者ノ職業 家計ノ主ナル職業
	五、病死、自殺、其他ノ變死、中毒ノ別
	六、病名(自殺者ニシテ 手段及中毒者ニ在テハ種類)
	七、發病ノ年月日
	八、死亡ノ年月日
	九、死亡ノ場所
	右證明(檢案)候也
	年 月 日
	住所
	醫師 何 某 印

記載方

1. 戶籍上ノ氏名ヲ記スベシ、自殺者變死者等ニ在テ若氏名明カナラザルトキハ不詳ト記スベシ
2. 經久ノ死體ニシテ男女ノ區別明瞭ナラザルトキハ不詳ト記スベシ
3. 自殺者變死者等ニテ出生ノ年月日明瞭ナラザルトキハ推定年齢何歳ト記シ若シ推定シ能ハザル場合デハ不詳ト記スベシ
4. 死亡者家計ノ主働者ナル場合ニ於テハ死亡者ノ職業ノミヲ記シ死亡者若シ幼者、老者、婦女等ニシテ一定ノ職業ナキ場合ニ於テハ家計ノ主ナル職業ヲ記シ死亡者ノ職業ナシト記スベシ
又死亡者一定ノ職業アルモ他ニ家計ノ主働者アル場合ニ於テハ死亡者ノ職業ト家計ノ主ナル職業トヲ併記スベシ
總テ職業名ハ商又ハ工等單一ノ汎稱ニ據ラズシテ何商又ハ何工等成ルベク細密ニ記スベシ、自殺者、變死者等ニ在テ其職業明カナラザル場合ニ於テハ不詳ト記スベシ
5. 病死ナルヤ、自殺ナルヤ、若クハ自殺以外ノ變死ナルヤ、中毒ナルヤノ別ヲ記スベシ
6. 病死ノ場合ニ於テハ其死因トナリタル病名ノ外何等ノ事項ヲモ記スベカラズ同時ニ二種以上ノ疾病ニ侵サレ死亡シタル者ニシテ一ノ原病有リテ他ハ續發病若クハ後胎病ナルトキハ其原病名ノミヲ記シ、

又各種獨立ノ疾病ナルトキハ主トシテ死亡ノ原因トナリタル病名ノミヲ記スベシ、若シ以上ノ區別ヲ爲シ能ハザルトキハ各種ノ病原ヲ併記スベシ

全ク死因タル病名ヲ診定シ能ハザルトキハ不詳ト記スベシ、自殺者ニアリテハ其ノ自殺ノ手段例之ハ縊死、刃傷、入水等ノ別ヲ記スベシ

自殺以外ノ變死者及中毒者ニ在テハ其種類例之ハ溺死、壓死、燒死、他殺、河豚中毒、「アルコール」中毒等ノ別ヲ記スベシ

7. 病死者ニ在リテハ死因トナリタル疾病ノ年月日ヲ記スベシ、若シ明瞭ナラザルトキハ推定何年何月何日ト記スベシ、又全ク推シ能ハザル場合ニ於テハ不詳ト記スベシ

8. 病死、自殺、變死、中毒トニ拘ハラズ死亡ノ年月日時ヲ記スベシ、若シ自殺者、變死者等ニ在テ死亡ノ時期明瞭ナラザルトキハ推定セル年月日時ヲ記スベシ、此場合ニハ推定ノ二時ヲ冠セシムルヲ要ス

9. 死亡ノ場所ハ都市區町村大字名及番地(番戶、番屋敷)ヲ記スベシ、若シ自殺者、變死者等ニシテ漂着セル死體ナルトキハ其漂着シタル場所ヲ記スベシ、此ノ場合ニハ其ノ下ニ漂着ト記スルヲ要ス

第2 死産證書、死胎檢案書ノ様式

死産證書 (死胎檢案書)	一、父ノ氏名(私生子ノ場合ニ在テハ母ノ氏名)
	二、父ノ出生年月日(私生子ノ場合ニ在テハ之ヲ除ク)
	三、母ノ出生ノ年月日
	四、父ノ職業(私生子ノ場合ニ在テハ母ノ職業)
	五、妊娠ノ月數
	六、分娩ノ年月日時
	七、分娩ノ場所
	八、死胎ノ男女別
	九、死胎ノ嫡出子、庶子、私生子ノ別
	右證明(檢案)候也
	年 月 日
	住所
	醫師(産婆) 何 某 印

記載方

1. 死胎ノ嫡出子ナルカ又ハ庶子ナルトキハ其父ノ氏名ヲ記スベシ、若シ私生子ナルトキハ母ノ氏名ヲ記スベシ
2. 死胎ノ嫡出子ナルカ又ハ庶子ナルトキハ其父ノ出生ノ年月日ヲ記スベシ
3. 死胎ノ何タルニ拘ハラズ其母ノ年月日ヲ記スベシ
4. 死體ノ嫡出子ナルカ又ハ庶子ナルトキハ其父ノ職業ヲ記スベシ、若シ私生子ナルトキハ其ノ母ノ職業ヲ記スベシ、總テ職業名ハ商又ハ工等單一ノ汎稱ニ據ラズシテ何商又ハ何工等成ルベク細密ニ記スベシ
5. 妊娠ノ月數ハ受孕ヨリ分娩ニ至ル妊娠ノ經過ニシテ死胎ハ約四週目ヲ一月ト見做シタル第幾月日ニ該當スルカヲ記スベシ

- 6. 分娩ノ年月日時ヲ記スベシ。若シ明瞭ナラザルトキハ推定シタル年月日時ヲ記スベシ。此場合ニハ推定ノ二時ヲ冠セシムルヲ要ス
- 7. 分娩ノ場所ハ郡市町村大字名及番地(番戸、番屋敷)ヲ記スベシ
- 8. 死胎ノ男女孰レニ屬スルカヲ記スベシ。若シ鬼胎等ニ在テ男女ノ區別ヲ爲シ能ハザル場合ニ於テハ其事由ヲ添テ不詳ト記スベシ
- 9. 死胎ハ嫡出子ナルカ又ハ庶子ナルカ若クハ私生子ナルカノ區別ヲ記スベシ

診療所取締規則(拔萃)(昭和八年十月内務省令第三十號)

第一章

第一條 診療所ト稱スルハ公衆又ハ特定多數人ノ爲醫業ヲ爲ス場所ヲ謂ヒ病院ト稱スルハ診療所ニシテ患者十人以上ノ收容施設ヲ有スルモノヲ謂フ

第四條 何人ト雖モ診療所ノ醫業ニ關スル廣告ニ其ノ診療所ニ於テ常時診療ニ従事セザル醫師ノ氏名ヲ表示スル場合ニ於テハ當該診療所ニ於ケル其ノ醫師ノ診療日ヲ併セ表示スベシ

第五條 何人ト雖モ診療所ノ醫業ニ關スル廣告ニハ其ノ診療所ニ於テ診療ニ従事セザル醫師ノ氏名ヲ表示スルコトヲ得ズ

第二章 診療所ノ開設休止及廢止

第六條 醫師病院ニ非ザル診療所ヲ開設シタルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ具シ十日以内ニ診療所所在地ノ地方長官ニ届出ヅベシ

- 1 名稱
- 2 所在地
- 3 開設ノ年月日
- 4 病室アルトキハ其ノ建物ノ構造概要及平面圖(精神病室又ハ傳染病室アルトキハ之ヲ明示スルコト)並ニ各病室ノ患者收容定員
- 5 診療ニ従事スル醫師ノ氏名及其ノ診療日
- 6 藥劑師勤務スルトキハ其ノ氏名

前項第一號又ハ第四號乃至第六號ノ事項ヲ變更シタルトキハ其ノ事項ニ付前項ニ準シ届出ヅベシ病室アル建物ノ増築改築又ハ大修繕ヲ爲シタルトキ亦同ジ

第七條 現ニ診療所ヲ開設スル醫師更ニ他ノ診療所ヲ開設セントスルトキハ診療所ノ名稱、所在地及管理方法ヲ具シ開設セントスル診療所所在地ノ地方長官ノ許可ヲ受クベシ醫師同時ニ二以上ノ診療所ヲ開設セントスルトキ亦同ジ前項ノ診療所ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用ス

第十二條 診療所ノ開設者ハ其ノ診療所ニ於テ診療ニ従事スル醫師ノ氏名ヲ開設後遲滞ナク其ノ診療所所在地ヲ區域トスル郡市區醫師會ニ通知スベシ之ニ異動アリタルトキ亦同ジ

第十三條 診療所ノ開設者診療所ヲ休止シ又ハ廢止シタルトキハ十日以内ニ診療所所在地ノ地方長官ニ届出ヅベシ。休止シタル診療所ヲ再開シタルトキ亦同ジ

種痘法

種類ハ次ノ定期ニ於テ之ヲ行フ

第一期 出生ヨリ翌年六月ニ至ル間、但シ不善感ナルトキハ翌年六月ニ至テ更ニ種痘ヲ行フベシ

第二期 數ハ年十歳但シ不善感ナルトキハ翌年十二月ニ至ル間ニ於テ更ニ種痘ヲ行フベシ(種痘法第一條)

檢診(接種後六乃至八日後ニ於テ之ヲ行フ)注意事項左ノ如シ

- 1. 定型痘瘡二顆以上發痘シタル者ヲ善感トス。但シ第二期種痘以後ニ在リテハ接種ノ日ヨリ第三日後ニ於テ一類以上ノ小結節又ハ水泡ヲ生ジタルモノヲ善感トス
- 2. 接種ノ痕跡消失シタルモノ、不正ナル膿疱ヲ生ジタルモノ、潰瘍ニ陥リ若クハ痂皮ヲ結ビタルモノ又ハ第一期種痘ニ在リテ發痘一類ナルモノヲ不善感トス(種痘施行規則第十二條)
醫師ハ其ノ診療ニ係ル痘瘡患者全治シタルトキニ痘瘡經過證ヲ交付スベシ(種痘法第十三條)
醫師虛偽ノ種痘證ヲ交付シ又ハ檢診セズシテ種痘證ヲ交付シタルトキハ五十圓以下ノ罰金ニ處セラル(種痘法第十六條)

傳染病豫防法(拔萃)(明治三十年四月一日法律第三十六號)

沿革 改正明治三十八年三月法律第五十六號

大正十一年四月法律第三十二號

第一種 此ノ法律ニ於テ傳染病ト稱スルハ「コレラ」、赤痢(疫痢モ含ム)、腸「チブス」、「バラチフス」、痘瘡、發疹「チブス」、猩紅熱、「ヂフテリア」、流行性腦脊髄膜炎及「ベスト」ヲ謂フ

前項ニ掲グル十病ノ外此ノ法律ニ依リ豫防方法ノ施行ヲ必要トスル傳染病アルトキハ主務大臣之ヲ指定ス

主務大臣特別ノ事由アリト認ムルトキハ前項ニ依リ指定スル傳染病ニ對シ命令ヲ以テ此ノ法律ノ一部ヲ限り適用シ又ハ地域ヲ限り此ノ法律ノ全部若ハ一部ヲ適用スルコトヲ得

第二條 此ノ法律ハ「コレラ」及「ベスト」ノ疑似症ニ對シ之ヲ適用ス「コレラ」及「ベスト」以外ノ傳染病流行シ若ハ流行ノ虞アルトキハ地方長官ハ其ノ傳染病ノ疑似症ニ對シ命令ノ規定ニ從ヒ此ノ法律ノ全部若ハ一部ヲ適用スルコトヲ得

第二條ノ二 傳染病ノ病原體保有者ハ此ノ法律ノ適用ニ付テハ之ヲ傳染病患者ト看做ス。「コレラ」以外ノ傳染病ノ病原體保有者ニ對シ此ノ法律中傳染病患者ニ關スル規定ニシテ適用シ難キモノニ付テハ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第三條 醫師傳染病患者ヲ診斷シ若ハ其死體ヲ檢案シタルトキハ其ノ家人ニ消毒方法ヲ指示シ且直ニ患者若ハ死體所在地ノ警察官吏、市町村長、區長、戸長、檢疫委員又ハ豫防員ニ届出ベシ、其ノ轉歸ノ場合亦同ジ

第四條 傳染病又ハ其ノ疑アル患者若ハ其ノ死者アリタル家ニ於テハ速ニ醫師ノ診斷若ハ檢案ヲ受ケ又ハ直ニ其ノ所在地ノ警察官吏、市町村長、區長、戸長、檢疫委員又ハ豫防委員ニ届出ベシ

前項ノ届出ヲ爲スベキ義務者ハ一般民家ニ在リテハ戸主若ハ之ニ代ルベキ者、社寺、公私立ノ學校、病院、製造所又ハ船舶、會社、各種事務所、貸席、興行場其他集合ノ場所ニ在リテハ其ノ首長、管理人又ハ代理者トス
第九條 傳染病患者及其ノ死體ハ當該吏員ノ認可ヲ經ルニ非ザレバ他ニ移スルコトヲ得ズ

第十一條 傳染病患者ノ死體ハ當該吏員ニ於テ充分ト認ムル消毒方法ヲ施シタル後ニ非ザレバ埋葬スベカラズ

附則(大正十一年法律第三十二號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正十一年勅令第四百二十號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)

Faint, illegible text on the left page, likely bleed-through from the reverse side.

索引

A

- Abasin 782
- Abery 960
- Abführmittel 917
- Abfurin 920
- Abilen 564
- Ableitungstherapie 340
- Abrinol 1001
- Acetal 799
- Acetonkörper 609
- Acetopyrin 819
- Acetylcholin 937
- Achillodynie 241
- Acidol 897
- Acidum 819
 - acetylsalicylicum 819
 - arsenicosum . . . 851
 - benzoicum . . . 31, 772
 - boricum . . . 982, 996
 - camphoricum . . . 937
 - carbolicum . 40, 1005
 - chromicum 938
 - hydrochloricum
 - dilutum 897
 - osmicum 100
 - picricum 938
 - salicylicum
 - 320, 938, 997
 - tannicum 912
- Acoïn 809
- Aconitin 161
- Adalin 247, 782
- Adamon 782
- Aderlass 339
- Adiphorin 938
- Adnaldin 965
- Adnephrin 857
- Adonigen 856
- Adortin 831
- Ados 926
- Adovern 419
- Adrenalin 660, 965
 - chloride . 830, 856, 938
- Adrenalinum chloricum
 - 856
 - hydrochloricum . 830
- Adsorbientia 926
- Adsorbin 512, 899, 926
- Adstringentia 912
- A. D. 782
- Aether 857
- Aethylchlorid 809
- Aethylmorphinum
 - hydrochloricum 46
- Agaricinum 938
- Agathin 233
- Agglutination 654
- Agomensin 971
- Agurin 359, 882
- Airol 231, 983
- Akebin 831
- Akolsin 826
- Akroparästhesie 239
- Aktcor 857
- Akute Atropinvergiftung
 - 53
- Albuminurie 606
- Alcohol 661, 857, 938, 982
- Alepsin Pills 102
- Aleuronat 955
- Aleuthan 923
- Alihaemin 1007
- alkalische Ätzmittel . . . 661

- Allergie 653
 allgemeine Erfrierung . 684
 Allisalin 926
 Allonal 80, 158, 218, 799
 Aloe 532, 920
 Alsilin 900, 912
 Alterantia 947
 Alt-tuberkulin 656
 Alumen 996
 Alwajin 881
 Alypin 809
 Amarae 893
 Ameisin 75
 American oil 924
 Amipopyrin 825
 Ammonium benzoicum . 772
 — bromatum 158, 782
 — carbonicum 28
 — chloratum 27, 772
 — tartaricum 27
 Amnesin 218
 Amylenum hydratum . 800
 Amylium nitrosum 100, 363, 841
 Amylnitrit 661
 Anaaida 897
 Anaesthesin . 217, 498, 809, 908
 Analgen 233
 Analgesin 218
 Analgetica 787
 Anämie 433
 Anaphylaxie 651
 Anaptin 271
 Anaptol-Gelatin 270
 Anchylor 943
 Anemetol 505
 Aneurysma 194
 Angina pectoris 179, 674
 Angiodilatatoria 840
 Anilinderivate 225, 258, 828
 Animasa 120, 841, 976
 Animostase 901
 Ankylostomiasis 194
 Antacidin 897
 Antanaemica 845
 Antastol 279
 anterior lobe of pituitary
 Tablet 970
 Antiasthmatic 780
 Antiberiberin 960
 Antidot 659
 Antidotum arsenici . . . 659
 Antemetica 907
 Anthelmintica 942
 Anthenin 943
 Anthrasol 995
 Antidyspnoica 779
 Antiemesin 908
 Antifebrin 661, 828
 Antihidrotica 937
 Antihyperemin 505
 Antilueticische Kur . . . 697
 Antimon 24, 661
 Antinervin 828
 Antiseptica, Desin-
 ficientia 996
 Antiphthisica 930
 Antipyretica 812
 Antipyrin 156, 223, 662
 Antipyrinum 828
 Antistreptococcusserum 692
 Antithyreoidin 413, 963
 Antitussin 50, 788
 Antuitrin 968
 Anurie 676
 Anusol 1007
 A. O. 931
 Aolan 701
 Aperitol 923
 Apetin 901
 Apocodeinum hydrochlo-
 rium 906
 Apomorphin 24
 Apomorphinum
 hydrochloricum 495, 906
 apoplektischer Insult . 273
 Appendicitis 193
 Appetitlosigkeit 460
 Aqua Amygdalarum
 amarum 41, 51, 780
 Aqua calcariae s. calcis
 40, 913, 950

- Aqua Chloroformi 908
 — Cocaini 1004
 — Laurocerasi 51
 — pruni Armeniaca
 51, 779
 — pruni Macrophyll
 55, 780
 — Selteri 83, 908
 Argenti nitratis 518
 Argentum nitricum
 662, 913, 1001, 1004
 — proteinicum 1004
 Arrhythmie 420
 Aristochin 814
 Aristol 984
 Arsaminol 699
 Arsazetin 453, 563
 Arsemin 699
 Arsen-Ferratose 847
 — Polytamin 954
 Arsenik 662
 Arsenikalien 845
 Arsoval 851
 Arsozon 851
 Arthritis 234
 Artosin 885
 Arzneiliche Diuretica . 369
 Ascariasis 194
 aseptic bonewax 831
 Aspirin 222, 819
 Asthma bronchiale 66, 677
 — cardiale 69, 682
 — diabeticum 69
 — uraemicum 69
 Asthmolysin 59
 Asudorin 939
 Atemnot 61
 Atmulatin 74, 780
 Atocarmin 885
 Atonin 969
 Atophan 162, 885
 Atophanyl 885
 Atoxyl 851
 Atrinal 939
 Atropaverin 788
 Atropin 662
 Atropin sulphate 561
 Atropinum methyl-
 bromatum 939
 — methylnitricum 939
 — sulfuricum 53, 909, 939, 1001
 — valerianicum 939
 ätzende Stickgase 671
 Augenreizstoffe 672
 Augentropfmittel 1001
 Aurophos 931
 äussere Mittel 982
 Avitan 361, 882
 Azodermin 991
- B**
- Baelz's Lösung 990
 Bagnon 74, 163, 814
 Bakteriologische Unter-
 suchung 634
 Balsamum toltanum 37
 Barbital 156
 Barbitalum 505
 Bariumverbindungen 662
 Barlow's Krankheit 241
 Bauchschmerz 188
 Bechica 41
 Beef Jelley 953
 Bellafolin 788
 Bepinselungsmittel 987
 — des Nasopharyngo-
 laryngealraums und
 Mundes 1004
 Benzin 663
 Benzidinprode nach Adler
 298
 Benzonaphthol 897
 Benzol. pur 172
 Benzosol 934
 Beriberol 960
 Bericain 960
 Berigumin 961
 Beristin 961
 Bi-Paratinoid 849
 Bigsin 354
 Bile 928

Bilival 564, 928
 Biogenin 902
 Biocaltin 902
 Biofermin 902
 Biolaxin 536, 923
 Biotelin 960
 Biotose 960
 Bismogenol 700
 Bismon 913
 Bismutose 519, 913
 Bismutum carbonicum 913
 — subnitricum
 199, 913, 984, 914
 — subsalicylicum
 511
 Blasenspülung 1009
 Blaukreuz 672
 Blausäure 663
 Blei 663
 Blustin 831, 270
 Blustol 831
 Blutdruck 383
 Blutose 846
 Bluttransfusionsmethode
 759
 Blutung 262
 Bolus alba 926, 984
 Bone Marrow 458, 849
 Borax 1005
 Bornyval 785
 Borovertin 562
 Borsalbe 992
 Bosmin 270
 Botulismus 665
 Bovinine 953
 Brechmittel 495, 905
 Brenzchin 931
 Brocanon 279
 Brocase 782
 Brocin 15, 172
 Bromalbin 782
 Bromalin 783
 Brometone 783
 Bromgrelan 162
 Bromipin 97, 783
 Bromocoll 159

Bromocollsalbe 991
 Bromural
 157, 247, 783, 800, 909
 Bromvalidol 783
 Bros-Lodinon 491
 Brovarin 177, 800
 Brustschmerz 178
 Bulbus Scillae 349
 Bulgalin 902
 Butolan 943

C

Cadechol 353, 858
 Caffein 663
 Calbromin 233
 Calcaria saccharata 952
 Calcicol 104, 831, 858, 952
 Calcium 278
 — bromatum 100
 — carbonicum praeci-
 pitatum 511, 914, 950
 — chloratum
 832, 858, 951
 — diuretin 359, 882
 — glycerophosphi-
 cum 413, 850, 951
 — hypophosphorosum
 850, 951
 — lacticum 97, 830, 951
 — phosphoricum
 praecipitatum 951
 — präparate 787
 — (Sandoz)
 101, 833, 858, 952
 Calcose 952
 Calfein 858
 Calmotin 162, 247, 783, 800
 Calomel 375, 879
 Calomelas 924
 Calonasin 859
 Calorie 593
 Camafeton 73, 859
 Camphochol 859
 Camphodon 152
 Camphor 344
 — Gelatinetten 860

Camphora depurata 351, 859
 — monobromata 164, 783
 Camphormidon 823, 939
 Camphotonin 939
 Camporisin 75
 Camuratin 859
 Carbis 700
 Carbo animalis 516, 927
 Carbo depulatum 900, 984
 Carbo Ligni pulveratus 927
 Carbo ossium pulveratus 927
 Carbo sanguinis 927
 Carbol 663
 — derivate 258, 819
 Carbon tetrachloride 943
 Carboneum tetrachlor-
 tum 943
 Carbonin 927
 Carcinoma ventriculi 195
 Carcolid 914
 Cardiac tonic 860
 Cardiale Diuretica 342
 Cardiazol 861
 Cardioangiotonica 854
 Cardiotonin 350
 Carnine 953
 Carnodol 861
 Carter's little liver Pill 921
 Carysanin 858
 Cascarine 921
 Caseosan 701
 Casterol 922
 Caster oil 921
 Cataroisin 233
 Cathelin's epi-oder extra-
 durale Injektion 243
 C.C.P. cholelith 929
 Cellagar 920
 Cephaelin 20
 Cerasin 14, 772
 Cerium oxalicum 499, 909
 Charta nitrata 56, 781
 Chelidonium phosphori-
 cum 218
 China-eisenpille 846, 852
 Chincron 814

Chineonal 232, 814
 Chinin 663
 Chininum hydrobromic-
 um 815
 Chinidinum sulfuricum
 814, 861
 Chininum hydrochlori-
 cum 225, 260, 815, 861
 — sulfuricum 145
 — tannicum 816
 Chinolinderivate 258, 814
 Chloamon 886
 Chlonacal 278
 Chlor 664
 Chlonatol 270
 Chloralhydrat 664
 Chloralum hydratum
 169, 801
 Chloramin T. 997
 Chloretone 233, 810, 909
 Chloroform 664, 943
 Chlorkalkmilch 997
 Cholagoga 928
 Cholasa 564
 Cholelithiasis 195
 Cholelysin 929
 Choleretica 928
 Choleretin 563, 929
 Choleval 565
 Chromsäure 664
 Chylin 702, 931
 Cibalbumin 702
 Cibalgin 218
 Cincophen 885
 Citarin 886
 Citnatin 271
 Citral 833
 Citramin 270, 888
 Citrophen 224, 826
 C. J. Sodamint 898
 Clauden 270, 302, 833
 Coagulen 270, 833
 Coagulol 834
 Cocain 664, 810
 Cocainum hydrochlori-
 cum 1001

- Cocainum muriaticum . 909
 Coccygodynie 241
 Codeinum phosphoricum 48, 788
 Codeonal 801
 Coffein pur 157
 Coffeinum 833
 — natriobenzoicum 883, 862
 — natriosalicylicum 57, 883
 Collodium 994
 Commotio cerebri 684
 Compral 788
 Coniin 664
 Convalon 73, 350, 833
 Coramin 73, 833
 Corn-Ex. 961
 Cortex Auranti Fructus
 — Chinae 894
 — Cinnamomi
 — Condurango 894
 — Granati 943
 — Quillajae 14
 Corydalon 789
 Cotarnium hydrochlori-
 cum 834
 Crede 992
 Cremor tartaricum
 373, 879, 918
 Creosotum . 38, 900, 932, 1004
 — carbonicum 932
 Crocus 896
 Cryogenin 225, 828
 Cryslobinsalbe 991
 Crysotan 932
 Cuperon 1002
 Cuprum citricum 1002
 Cuprum sulfuricum
 906, 495, 1002
 Cycloform 217
 Cylotropin 888
 Cymarín 351, 864
 Cystitis 195
 Cystol 888
 Cystopurin 888
- D**
- Darmblutung 296
 Darmspülung 1009
 Daudolin 864, 968
 Dauerschlafmittel 246
 Decholin 562, 929
 Degalol 929
 Delerium tremens 684
 Dermatol 516, 914, 984
 Desencin-pille 406
 Desinfectol 990
 Desitin 995
 Des-Salbe 995
 Dext Annaka 868
 Dextropur 956
 D.C.L. Extract of malt
 and cod 957
 Diaethylin 867
 Dial 801
 Dialacatin 802
 Diarrhoe 507
 Diastase 902
 Diätkur 703
 Diazoreaktion 609
 Dick's test 656
 Dicodid bitartaricum 50
 Dicodid phosphoricum 789
 Didial 802
 Digalen 345, 864
 Digalogen 347
 Digelaxin 944
 Digelmin 944
 Digenia simplex 944
 Digenin 944
 Digestin 492
 Digical 347, 865
 Digicalfein 865
 Digicardene 347
 Digifolin 346, 865
 Digipuratum 346
 Digisalin 346
 Digitalinum verum . 347, 865
 Digitalis 665
 — dialysat 347, 865
 — präparate 342

- Digitalis purpurea 870
 Digitalon 347, 865
 Digitalysatum 347, 866
 Digitamin 75, 347, 866
 Digital 347, 866
 Digitoxinum crystal-
 satum 866
 Dihalomin 997
 Dimol 900
 Dionin 46, 789, 1002
 Diphosgen 672
 Diplo-pneumococcus-
 serum 692
 Diplosal 820
 Disomear 852
 Diuretica 877, 341
 Diuretin 184, 357, 940
 Diuretinum 883
 Dohi's Lanolinpasta 986
 Dohi's Teerpasta 986
 Dormiol 802
 Dormin 802
 Drasmin 946
 Dreiasse 902
 Dunn chinin 816
 Duotal 39, 510, 934
 Durchschlafmittel 247
 Durstkur 337
 Dysenterie 196
 Dysmenorrhoe 196
 Dyspnoe 61
- E**
- Ebios 486, 961, 903
 Eclampsia 585
 Edelweiss Buttermilk 955
 Edera 903
 Eframisol 699
 Einschlafmittel 246
 Eisen-Elarson 172, 119
 Eisenphytin 850
 Eisenpräparate 845
 Eisensajodin 950
 — Tabletten 777
 Eisenstoss 451
 Eisenstosstherapie 170
 Eisentropon 954
 Eiweissmilch 954
 Eklampsie 90
 eklamptische Urämie 90
 Elarson 852
 Eldoform 914
 Elbon 820
 Eleclod-iron 847
 elektrische Entartungs-
 reaktion 116
 — Verletzung 685
 Elityran 963
 Emetica 905
 Emetin 20, 665, 776, 906
 Emetinum bismutum
 jodatatum 914
 — hydrochloricum
 305, 944
 Emol 505, 909
 Emret 1002
 Emulsio olei Jecoris 957
 Emulsio olei Jecoris
 (Scott) 957
 Emulsion metagen 957
 — of Cod liver oil 957
 — of Cod liver oil
 phosphorized 957
 Encephalitis epidemica 128
 Ensanfukujinso 857
 Enteronon 904
 Enteropathin 904
 Ephedrin 74
 Epidromin 777
 Epiglandol 977
 Epilepsie 85
 Epinephrin 270, 856, 965
 Equibromin 777, 783
 Equijodin 777, 947
 Erbrechen 493
 Ergoptol 834
 Ergotin 834
 Erhaltungseiweiss 594
 Erhängen 686
 Ertrinken 686
 Eryosan 702

Erystypticum 834
 Erythrolum tebranitri-
 cum 842
 Erythromelalgie 239
 Erbach's Methode 620
 Eserin salicyl 417
 Eserinum sulfuricum . 1002
 essentielle Hypertonie . 393
 Eucain 810
 Euchinin 816
 Euberin 915
 Eucodal 789
 Eucupinum hydrochlori-
 cum 817
 Eukirin 850
 Eukistol 888
 Eukodal 218
 Eukupin 218, 232
 Eulatin 824
 Eumydrin . . . 504, 939, 1002
 Eunrin 270, 834
 Euro 996
 Europhen 984
 Eustaptin 270, 835
 Eustenin 363, 883
 Eunatrol 929
 Euphyllin 362, 883
 Euporphin 24, 907
 Eutolmin . . . 218, 505, 790, 915
 Eutussin 817
 Eval 923
 Evanin 19
 extrarenal wirkende
 Diuretica 366
 Extractum Belladonnae
 54, 790
 — Cannabis
 indicae 790
 — Cascurae sagradae
 fluidum 890, 920
 — Colombo 895
 — Condurango fluidum
 894
 — Gentianae 895
 — Hyoscyami 55
 — Malti 956

— Opii 794
 — Rhamni Purshianae
 fluidum 920
 — Rhei 924
 — Scopoliae . . . 54, 303, 790
 — Secalis cornuti . 835
 — Secalis Cornuti
 (Bonbelon) 835
 — Strychni aquosum 857
 — Strychni . . . 866, 895

F

Fagol 517
 Färbeindex 617
 Fatosin 17, 772
 Fel. depur 559
 Fel Tauri inspissatum . 903
 Felamin 563, 930
 Ferratin 847
 Ferratose 847
 Ferripyrim 835
 Ferroglidine 455, 847
 Ferrose 847
 Ferrous carbonate com-
 pounds pills 847
 Ferrum hydrogen reduct 171
 — cacodylicum . . . 848
 — carbonicum . . . 848
 — — saccharatum 848
 — citricum oxydatum
 848
 — jodatum 848
 — jodatum sacchra-
 tum 848
 — lacticum . . . 159, 848
 — pulveratum . . . 848
 — reductum . . . 170, 848
 — sulfuricum . . . 848
 — sulfuricum siccum 848
 Fieber 249
 Filix Mas 665
 Filmaron 946
 Firnisse 994
 Flavinol 888
 Flein-Limit 888
 Flores Koso 944

Folia Digitalis 342
 — Sennae 531
 — Uvae Ursi . . . 365, 889
 Folium Sennae 921
 — Stramonii 780
 Formalinum 665, 940
 Förster'sche Operation . 247
 Fruct. Colocyntidis . . 532
 Fructus Anisi 32
 Fruitsalt 921

G

Gadamin 867
 gährungshemmende
 Mittel 899
 Galactosan 955
 Gall desicated 564, 928
 Gallensteinkrankheit . . 554
 Gamelan 933
 Garcon 951
 Gardan 824
 Gastralgie 196
 Geburtin 835, 968
 Gelatin Solution 301
 Gelatina alba 835
 Geneglandol 971
 Genesol 105, 910
 Genitalblutung 295
 Giemsa's Färbung 618
 Giftgase 670
 Gigotin 347, 367
 Glabin 34
 Glandula Thymi siccum 977
 Glaukosan 1002
 Glidin 955
 Globuli vaginales 1006
 Globulus cod liver oil . 957
 — Oleum Jecoris
 Chinini 957
 — Oleum Jecoris
 Guajacoli 957
 — Oleum Jecoris Jodi 957
 Glycal 952
 Glycolactin 902
 Glycosal 233
 Glykosurie 608

Goldsol Reaktion 621
 Gonacrine 889
 Grelan 162, 226, 790
 Grünkreuz 672
 Guacamphor 940
 Guajacol-Polytamin . . . 954
 Guajacolsaures Kalium 933
 Guajacolum 38, 933
 — benzoicum 934
 — carbonicum 934
 — cinnamylicum . . . 934
 Gurgelmittel 998
 Gynandol 971

H

Haematopan 849
 Haemoglobin 848
 Haemostyptica 829
 Halsschmerz 174
 Hämatogen 848
 Hämaturie 282
 Häemoglobin tab 171
 Häemoglobinindex 617
 Häemoglobinurie 293
 Häemorrhoid 300
 Harnantiseptika 886
 Harnsedimente 610
 Harnuntersuchung 605
 Harnzylinder 610
 Hasethrol 166, 406, 842
 Hautätzgase 673
 Hautpunktion 338
 Hedonal 803
 Heilmin 279, 934
 Helminal 944
 Helmitin 1007
 Hemiplegic 112
 Hemogallol 459
 Hemol 459
 Hepalactin 904, 975
 Hepan 459
 Hepatica Tabletten . . . 563
 Hepatine 975
 Hepatose 458, 975
 Hepatoxin 232, 505, 975, 979
 Herba Adonidis 351

Herba adonis vernalis . 868
 — Lobeliae 56
 Heroinum hydrochlori-
 cum 44, 791
 Herurol 400, 883
 Hesaciramin 153, 318
 Hexal 889
 Hexatin 153, 889
 Hexeton 353, 868
 Hirnblutung 272, 686
 Hirnerschütterung . . . 127
 Holocain 1003
 Homoatropin 1003
 Homoflavin 889
 Hormin 961
 Hormonal 537, 543, 977
 Hostamin 961
 Husgen 18
 Hustagin 17, 773
 Husten 10
 Hustol 16
 Hydein 18, 773
 Hydracetin 826
 Hydrargyrum chloratum
 924
 Hydrastininum hydro-
 chloricum 836
 Hydrogenium peroxyda-
 tum 996
 Hydrops 325
 Hygiama 957
 Hygytol 700, 879
 Hyperacidität 196
 Hypertension 383
 Hypnotica 797
 Hypnotin 784
 Hypo-Apo 842
 Hypophorin 970
 Hypophysin 836, 969
 Hypophysine 836
 Hypotension 408
 Hypotonal 842

I

Ichtalbin 490
 Ichthoform 518

Ichthyol 151
 Ichthyol-salbe 991
 Icterosan 562, 930
 Idiosynkrasie 654
 Idragin 163, 821
 Ikterus 197, 545
 Ileus 197
 Ilioglandol 129
 Imamicol 563, 700
 Immunodiagnostik . . . 650
 Incontinentia urinae . . 310
 Indoramin 74, 817
 Infantina 958
 Influenza 197
 Ingluvin 505
 Injectio calcii jodati . . 947
 Injektion in den Nerv
 nach jer Lange 243
 Injektions-methode . . . 757
 Innervation der Harn-
 blase 307
 Inselin 966
 Insulin 129, 505
 Interenin 966
 Interkostal neuralgie . . 179
 intermittierendes Ilinken
 235
 Intestinol 490
 Inverin 966
 Invert- Zuckerlösung . . 867
 Iodostarin 301
 Ipecaron 23, 777
 Isacen 536, 925
 Ischias 197
 Isobromin 803
 Isochinolin derivate . . 787
 Isoform 984
 Isopral 803
 Israviv 889
 — Lodinon 890
 Istizin 925
 Iveton 369, 867

J

Japonin 773
 Jecomalt (Wander) . . . 957

Jod 665
 — Blutose 147
 — Eisen-Malzsuppe-
 extract 849
 — kamthyl 120
 — Polytamin 954
 — Tecalmin 884
 — Theocaltin 842
 Jodalbacid 947
 Jodalbin 948
 Jodcalciumdiuretin . . . 882
 Jodipin 948
 Jodival 948
 Jodoformium 666, 985
 Jodol 948, 985
 Jodostarin 80, 119, 948
 Jadothyryn 949
 Jodpräparate 25
 Joghurt 955
 Jorgon 965
 Jothion 949
 Jugol 910
 Juvenin 852

K

kachektisches Ödem . . 330
 Kaempferi 19
 Kafetylin 233
 Kaffeingruppe 355
 Kahle granulat 927
 Kahlenoxyd 666
 Kalibron 105
 Kalium bitartaricum 879, 918
 — bromatum 784
 — chloricum 666
 — jodatum 773, 949
 — Natr. tartar 373
 — nitricum 371, 879
 — permanganicum 982, 997
 Kalkmilch 997
 Kallikrein 976
 Kalysanin 952
 Kalzine 836
 Kamacol 859
 Kamala 944

Kamarin 14, 774
 Kampfer-Lodinon 868
 Kampferöl 861
 Karbunken 995
 kardiales Ödem 327
 Karellsche Milchkur . . . 337
 Käse 954
 Kaseinol 702
 Katharisatin 925
 Kehsin 270
 Kidonin 881
 Klimakton 148, 971
 Klystier 768
 Klystiermittel 979
 Kohle Kompretten 927
 Kohlensäure 497
 Kolik 189, 195
 Kollaps 687
 Koma 122
 Kopfschmerz 137
 Körpern 940
 Krampf 85
 Kreosotal 932
 Kresival 774, 935
 kresolsulfonsaures
 Calcium 935
 Kristallose 956
 Kryogenine 164
 Krystallose 901
 künstliche Karlsbadersalz
 919
 Kupferpräparate 666

L

Lacarnol 843, 976
 Lacris 529, 922
 Lactfermin 904
 Lactophenin 115, 222, 260, 827
 Lactostase 510, 903
 Lähmung 107
 Laminektomie 244
 Langerin 968
 Larosan 954
 Lassar's Pasta 986
 Laudanon 218, 791

- Laumin 792
 Lävulose 956
 Laxaphen 923
 Laxatol 923
 Laxin 923
 Lävulose 129
 Leber 459
 Lebertran 956
 Lecithin 97, 850
 Lecithol 955
 Legumon 955
 Leucorrhä 1008
 Levamin 965
 Lewsit 673
 Lichtenin 1003
 Liebig's Fleischextrakt . 953
 Lienalin 269, 836
 Ligcarbon 927
 Limonade 474
 Linimenta 993
 Linimentum Zinci . . . 993
 Lipojodin 949
 Liquitalis 347, 868
 Liquor Aluminium acetici
 982, 997
 — Ammonii acetici . 774
 — Ammonii anisatus . 27
 — Burowii 997
 — Ferri sesquichlorati .
 837
 — hydrogenii peroxy-
 dati 983
 — Kalii acetici . 367, 880
 — Kalii arsenicosi . 852
 — Kummerfeldi . . 989
 — Lugoli 79, 1005
 — natrii chlorati . . 869
 — Natrii arsenici . . 853
 — natrii acetici . . 370
 — Natrii chlorati . . .
 physiologicus 983
 — Plumbi subacetici . 983
 — Selteri 475
 Lithium carbonicum . . 886
 Lobelin 73, 780
 Localanästhetica . . . 808
 Lodinon 104, 144, 867
 — Calcium 867
 — Ringeri 867
 — Salz 868
 Lopion 935
 lösende Expectorantia . 25
 Luestin 700
 Luetinreaktion 657
 Lumbago 219
 Lumbalpunktion 619
 Lumihorn 935
 Luminal 99, 248, 666, 803
 Luminal natrium . 100, 804
 Luminaletten Tab . . . 103
 Lungenödem 687
 Luteinol 910
 Luteoglandol 971
 Lysol 997
- M**
- Macnin 944
 Maculanin 994
 Magbron 792
 Magemittel 892
 Magenspülung 1008
 Magen-und
 Duodenalgeschwür . . 199
 Magnes. hyperoxyd . . 482
 Magnesia usta 898, 919
 Magnesium carbonicum
 898, 919
 — Citricum efferves-
 ceus 919
 — peroxyd 898
 — sulfuricum . . 561, 919
 — Sulphat 99
 Magnesol 103
 Magnon 104
 Magrol 75, 103
 Magserin 103
 Malaria-therapie 702
 Malt-leber 975
 Malzsuppenextrakt . . 956
 Mammary Substance
 Desiccated 978

- Manna 921
 Maretin 223, 225, 828
 Maruhofon 774
 Marukophen 165
 Marukopyrin 824
 Mastix-Reaktion 622
 May-Giemsa's Doppel-
 färbung 618
 May-Grünwald's
 Färbung 618
 Medinal 804
 Mel depuratum 956
 Melubrin 824
 Meningitiden 138
 Meningococcusserum . . 692
 Mentholum 900, 910, 930, 1005
 Mercurochrome 1005
 Mesurol 700
 Methylanin 890
 Methylenblau medicinale
 890, 998
 Meteorismus 540
 Metsotan 232, 940
 Migränin 155, 825
 Milanol 700
 Mileval 925
 Milk of bismuth 915
 — of Magnesia 898
 Milzbrandserum 693
 Mitigal 990
 Monoplegie 113
 Mophysalin 793
 Morphin 666
 Morphin-Atropinlösung . 837
 — hydrochloricum . . .
 42, 304, 792
 Morphinum diacetylicum
 hydrochloricum 45
 — sulfuricum 44
 Moschus 353
 Mucilago Gummi
 Arabici 915
 Mucotrat 459
 Mukdemin 904
 Muskelrheumatismus . 198
 Muscheln 667
 Mutanol 700
 Mydriatin 1003
 Myocanon 868
 Myo-salvarsan 699
 Myoston 405, 976
 Myrrha 37
 Myrtol 37, 774
- N**
- Nahrol 953
 Nährpräparate 952
 Nährstoff Heyden 955
 Nal 145
 Nalgemon 784
 Naphthalinum 945
 Narcopon 48, 216, 793
 — -Atropin Injection . 218
 Nasal 821
 Nasedol 784, 793
 Nasenrachenreizstoffe . 672
 Natriokalium tartaricum . 880
 Natrium benzoicum . . . 32
 — bicarbonicum
 775, 898, 1006
 — bromatum
 158, 784, 837
 — cacodylicum 853
 — chloratum 837, 941
 — jodatum 950
 — nitrosum 364, 843
 — phosphoricum . . . 919
 — salicylicum
 199, 821, 930
 — sulfuricum 919
 aauseöse Expectorantia . 20
 Nelkegan 880
 Nem 593
 Nematol 945
 Neo-arsemim 699
 Neo-cain 810
 — Cormon 869
 — Corn 961
 — Evanin 775
 — Haema 849
 — Hematopan 458

- hustol 775
 — Hypo-Apo 400
 — hypotonin 75, 843
 — Neo-Bornyval
 159, 785
 — neo-salvarsan 699
 — pirin 81, 153, 821
 — salvarsan 699
 — tanvarsan 699
 — thesin 910
 — trepol 700
 — vitaminol 961
 Nephrenin 966
 Nestle's Kindermehl 958
 Neu-Marukonin 944
 Neura-recitin 850
 Neuralgia powder 226
 Neuralgie 179, 238
 Neuritis 238
 Neurofibrin 804
 Neuronal 804
 Neutralon 201, 492, 502, 899
 Nevrostan 853
 Nierenmin 104
 Nierensteinkrankheit 198
 Nikotin 667
 Nissl-Esbach's Methode 620
 Nitroglycerin
 76, 185, 365, 667, 843
 Noctal 805
 Nojodin 935
 Nonne-Apelt's Reaktion 620
 Normosan 217, 899
 Novamidon 166
 Novalgin 825
 Novaspirin 222, 821
 Novasurol 376, 880
 Novatopnan 885
 Novocain 810, 1005
 Novoloform 811, 910
 Novoprotin 120, 702
 Novoroform 499
 Novoteer 996
 Numal 98, 805
 Nutrientia 952
 Nutrogen 957
- O**
- Ödem 325
 Obermayer's Methode 610
 — material 335
 Ohnmacht 688
 Oil Richitar 529
 Ointment of eleclodid
 silver 995
 Okkulte Blutung 297
 Oleum Chenopodii 945
 — Cinnamomi 896
 — Crotonis 530
 — Eucalypti 36
 — Jecoris 956
 — Menthae piperitae 900
 — Ricini 529, 921
 — Terebinthinae 35, 775
 Oleolaxine 925
 Olivenöl 561
 Omnadin 261, 701
 Oophorin 972
 Oop 972
 Opiel 20
 Opium 793
 Opopirin 822
 Oporenin 270, 966
 Opostatin 269, 837
 Opsolen 936
 Optarson 853
 Optochin 753, 817
 Orchic substance 974
 — substance desiccated 974
 Orchitine 974
 Orexin 905
 Orexinum tannicum 911
 Organotherapie 962
 Organschmerz 188
 Orthoform 227, 233, 811, 911
 Orthoformsalbe 991
 Oryzanin 961
 Osmotherapie 267, 368
 Osteomalacie 240
 Osteomyelitis 240
 Osvanyl 165, 805

- Osvarsan 699
 Otosklerol 784
 Ouabaine 856
 Ovahormon 972
 Ovaltine 955
 Ovaraden 79, 972
 Ovarialpräparate 970
 Ovarine 972
 Ovo-Lecithin 955
 Ovobrol 973
 Ovogal 564, 930
 Ovoglandol 973
 Oxalsäure 667
 Oxaphor 780
 Oxo 953
 Oxozin 994
 Oxycamphor 780
- P**
- P-O-U Hormon 978
 Pabiron 218
 Paget's Krankheit 241
 Palpitation 410
 Panceptin 890
 Pancreatin 486, 513
 Panliver 458
 Panos 922
 Pandy's Reaktion 620
 Pangital 870
 Pankreatin 904
 Pankreon 904
 Pansecal 890
 Pantocain 811
 Pantopon 48, 794
 Papain 485, 945
 Papaverin mur 405
 Papaverinum hydro-
 chloricum 200, 794
 Papavydrin 794
 Pappenheim's Färbung 618
 Para-Thyroidine 978
 Paraaldehydum 805
 Paracodin 50, 794
 Paragin 776
 Paralysis 111
 Paranephryn 856, 966
 Paranutrin 961
 Paraplegie 112
 Parasitol 943
 Paratophan 886
 Parathroid Tablets 979
 Parathyrenin Pillen 103
 Paresis 111
 Parman 915
 Pasta 986
 Pastilli Hydragryri chlo-
 ratici 925
 pathologisch-histologische
 Untersuchung 645
 Patolin 1007
 Pavinal 795
 — Atropin 218
 — für Injektion 218
 — papaverin 218
 Pavon 218, 795
 Pectol 941
 Pegnin 904
 Pelanin 973
 Pellotin hydrochloricum
 805
 Pepsinum saccharatum
 476, 513, 905
 Pepton 837
 Peramon 218
 Perichol 870
 Peristaltin 922
 Peristol tablet 922
 Peritonitis 198
 Permin 458
 Pernocton 806
 Persica 536
 Petin 899
 Petroleum 667
 Phanodorm 806
 — Calcium 248
 Phenacetin 155, 224
 Phenacetinum 827
 Phenanthren 503
 — derivate 787
 Phenetidinderivate 224, 826
 Phenocollum 827
 Phenokoll 827

- Phenol 40
 Phenolum 997
 Phenolphalein 534
 Phenolphthaleinum 922
 Phenylum salicylicum 822
 Phonowerin 148
 Phosgen 631
 Phosphorus 668, 845, 851
 Physostigmin 668
 Physostigminum salicyli-
 cum 32
 Phythin 455, 850
 Pikrinsäure 668
 Pillulae asiaticae 851
 — Blaudi 849
 — Jalapae 923
 Pilocarpin 668
 Pilocarpinum hydro-
 chloricum 32
 Pilze 668
 Pineal Gland Tablets 977
 Pinellia tuberifera 911
 Pistin 73, 354, 881
 Pitocin 969
 Pituchinol 969
 Pituglenan 966
 Pituglandol 838, 969
 Pitu-Renin 970
 Pituigan 969
 Pituilobine 969
 Pituitary Glands Dessic-
 cated 969
 — Solution 970
 Pituitrin 561, 838, 970
 Plasmochin 818
 Platykodin 17, 776
 Pleuritis 178
 Plumbum aceticum 983
 Pneumin 936
 Pneumonie 178
 Podophyllin 532
 Poical 853
 Poil 995
 Polinal 818
 Polyfermin 491, 902
 Polygalae 777
 Polygamol 881
 Polytamin 954
 Postödem 325
 Präodem 325
 Prokliman 148, 973
 Proponal 806
 Prosopalgie 44
 Prostatine 979
 Protamylase 905, 513
 Protoplasma-aktivierung 267
 Proteinkörper therapie 700
 Puberogen 970
 Pulmine 978
 Pulpa Tamarindorum 923
 Pulvis aerophorus 83, 911
 — Doveri 23, 795
 — infantum 924
 — Liquiritiae com-
 positus 923
 — Ipecacuanhae
 opiatus 795
 — Opii 47
 — rad. Rhei 530
 — Radicis Ipeca-
 cuanhae 945
 — Rhei compositus 924
 Punktionsmethode 741
 Purgen 922
 Purinderivate 354
 Puro 953
 Pyelitis 198
 Pynosalin 822
 Pyogenol 891
 Pyoklanin 998
 Pyrachinon 818
 Pyramidon 156, 825
 Pyramidonum dicam-
 phoricum 941
 Pyrazolonderivate 222, 258, 823
 Pyrifer 701
 Pyriform 985
 Pysol 961
 Pyurie 320

- Q**
 Quecksilber 668
 Quecksilberpräparate 374
 Quina-Polytamin 954
 Quinapon 818

- R**
 Radicotomia od. Rhizoto-
 mia posterior 244
 Radix Athaeae 776
 — Colombo 895
 — Filicis 945
 — Gentianae 895
 — — Scabrae 895
 — Ipecacuanhae 20, 907
 — Jalapae 923
 — Liquirit pulv. 34
 — Polygalae (Onsi) 13, 777
 — Rhei 924
 — Senegae 12, 777
 — Valerianae 785
 Recept 3
 recetal alimentation 302
 Regal 922
 Reiskleisterliniment 994
 Reiztherapie 700
 Remijin Tannat 819
 Remijinum hydrochlori-
 cum 818
 renale Diuretica 354
 renales Ödem 328
 Renine 978
 Resaldol 915
 Resina Jalapae 923
 Resorcinum 901, 83
 Rhamnus Purshiana 523
 Rhencalmin 822
 Rheumasan 181, 337
 Rhodapumn 400
 Rhodan-Theocaltin 844
 Rhodine 233
 Rhuphen 924
 Riba 953
 Ricina 922

- Richinale 922
 Ricinusöl 921
 Risicol 922
 Rivanol 891, 998
 Rivadexin 891
 Rivalta's Probe 623
 Roborantia 845
 Rodagen 963
 Rodealin 871, 886
 Romunahormon 873
 röntgenologische Unter-
 suchung 624
 Rotone 996
 Rutamin 838

- S**
 Saccharinum 901, 956
 — solubile 956
 Sabromin 784
 Safran 596
 Sajodin 120, 777, 950
 Sal Carolinum factitium 535, 919
 — Seignetti 880
 Salbe 991
 Salenalsalbe 993
 Salicylsäure 669
 Saliformin 564
 salinische Abführmittel 918
 — Diuretica 369
 Salipyrin 157, 825
 Salizylate 221
 Salochinin 181
 Salol 311, 891
 Salolum 822, 901
 Salophen 156, 175, 822
 Salvarsan 1, 699
 Salyrgan 377, 880
 Sanatogen 851
 Sancal 952
 Sanloid 19
 Santonin 946, 669
 Santosol 946
 Santyl 324
 Sapienin-M. 974

- Sapo Jalapinus 923
 Säuren 669
 Scharlachrot-salbe 991
 Scheidenkugel und Schei-
 dentamponade 1007
 Scheidenspülung 1009
 Schlaflosigkeit 245
 Schlangengift 669
 Schlayer's Übungstherapie
 366
 Schmerzen 131
 Schmierkur 765
 Schultz-Chalton'sches Aus-
 löschphänomen 655
 Schwefelsalbe 993
 Schwefelwasserstoff 669
 Schweissvermindernde
 Mittel 937
 Scillaren 349, 873
 Scopcolaminum hydrobro-
 mium 787
 Secacormin 268, 823
 Secale cornutum 669, 838
 Secartin 839
 Sedalon 160, 218, 232
 Sedativa 781
 Sedobrol 98, 159, 785
 Senegalon 777
 Serodiagnostik 650
 Serum antitetanicum 691
 — antidiphthericum
 77, 691
 — equinum sterile
 normale 839
 — lactis 955
 Serumkrankheit 652, 689
 Serumtherapie 688
 Sexanol 777
 Silbersalvarsan 699
 Silinal 407
 Sinamachin 819
 Singultus 82
 Sirolin 39, 936
 Sirupus Auranti 896
 — Althae 33
 — hypophosphoricum 850
 — ferri Jodati 849
 — Ipecacuanhae 776
 — Senegae 777
 — Sennae 921
 — Mannae 921
 Sistomensin 973
 Skarifikation 338
 Soda salicylate 561
 Sogol 14
 Sol. coramin 57
 — Tricalcii 59
 Solchin 819
 Soluble Extract Corpora
 lutea 974
 Soluflavin 891
 Solutio calcii bromati 785
 — Burowii 983
 Somatose 953
 Somnacetin 807
 Somnifen 806
 Sonnenstich 688
 Soxlet's Nährzucker 956
 Spamidol 796
 Sparteinum sulfuricum
 349, 873
 Spasmalgin 58, 213, 796
 Spasmolysine 105
 Spelzon 961
 Spermatin 75, 974
 Sphygmomanometrie 383
 Spinacin 905
 Spiritus Ammoniae aro-
 maticus 27, 778
 — Ammoniae foeni-
 culatus 27, 778
 — Aetheris nitrosi 844
 — Lavandulae 36
 — Mindereri 13, 774
 Spirobismol 700
 Spirochaeta icterohaem-
 orrhagica serum 692
 Sprenine 270
 Spülung der Pars anterior
 urethrae 1009
 Spülungen und Spülungs-
 mittel 1008

- Spülmittel 1009
 Stibium sulfuratum aur-
 tibnal 946
 — anticum 24
 Stickgas 671
 Stomopson 459
 Stomachica aromatica 896
 Störungen der Harnent-
 leerung 306
 Stovain hydrochloricum 811
 Streupulver 983
 Strophalen 874
 Strophanthone 874
 Strophantin 368, 874
 Strophantinum crystal-
 lisatum 874
 Strychin 670
 Strychinum nitricum 117, 874
 Stuhlzäpfchen 1006
 Stypticin 839
 Styptol 839
 Styracol 518, 934
 Sublimat 997
 Succus carnis recens 953
 Sulfonalum 670, 941, 806
 Surfur depuratum 925
 Sulfur praecipitatum 926
 Suppositoria analis et
 urethralis 1006
 Suprarenin 856
 Swift Eillische Methode 244
 Symmetrische Gangrän;
 Raynau's Krankheit 239
 Synthenalin 966
- T**
- Tabes dorsalis 199
 Tablet ferri carbonici 849
 Tachykardie 412
 Takahashi's cod liver oil
 improved 957
 Takalidin 353
 Talcum 985
 — salicylicum 985
 Tancarbon 927
 Tannal 985
 Tannalbin 916
 Tannat 491
 Tannigen 916
 Tanninum acetylicum 916
 Tannismut 916
 Tannoform . 511, 517, 916, 941
 Tannoformtalcum 985
 Tannopin 917
 Tanole 905
 Tanvarsan 699
 Tartarus boraxatus 880
 — depuratus 535, 879, 918
 — stibiatus 24, 496, 907
 Taugen 941
 Tauro 1003
 Taurogen 844
 Telatuten 119, 976
 Tendovaginitis 240
 Tenosin 840
 Teonol 362
 Teratuten 407, 844
 Terpentinöl 670
 Terpinum hydratum 35, 778
 Teruuchimatsu 962
 Tetanie 90
 Tetrodon 670
 Tetrodotoxin 104, 228, 979
 Thalette 924
 Theacylon 362
 Theelin 148
 Thelygan 974
 Theocin 360, 884
 Theocinum natrioaceti-
 cum 361, 399
 Theocaltin 884
 Theocisol 362
 Theolactin 362
 Theominal 400, 884
 Theophyllin-Tablette 884
 Thepyral 826
 therapeutische Technik
 641
 Therapia sterilisans
 magna 1
 Thigenol 216

- Thiocol 39, 509, 933
 Thrombogen 268, 840
 Thrombrin 840
 Thyraden 963
 Thyradin 963
 Thyfol 75
 Thymoglandol 977
 Thymolum 40, 946
 Thymophysin 970
 Thyms Gland
 Desiccated 977
 Thyreoglandol 964
 Thyreoid tablets 964
 — gland Desiccated
 964
 Thyreoidin 964
 Thyreoidinum siccatum. 964
 Thyreojodin (Jodthyrin) 964
 Thyroprotein 964
 Thyroxin 964
 Thyul 994
 Tidol 165
 Tierkohle 927
 Tinctura 875
 — amara 896
 — Asae faetidae . . . 786
 — Auranti corticis . 896
 — Chinae 894
 — Chinae composita 894
 — Colombo 895
 — Croci 896
 — Digitalis . . . 345, 875
 — Ferri pomati . . . 849
 — Gentianae composita
 895
 — Ipecacuanhae . . . 776
 — Jodi 500, 996
 — Lobeliae 781, 796
 — Myrrhae 1006
 — Opii 794, 911
 — Opii benzoica . . . 47
 — Rhei 896
 — Rhei aquosa . 896, 924
 — Scopaliae 55, 796
 — Strophanthi
 57, 148, 345, 875
 — Valerianae . . . 785, 786
 — Zingiberis 897
 Tolypyrin 823
 Tolysal 823
 Tonikum 853
 Tonomalale 458
 Toxodesmin 928
 Trachitin 778
 Traumatin 994
 Trichloressigsäure . . . 990
 Trigemin 223, 796
 Triferrin 849
 Triferrol 850
 Trihalomin 891
 Trional 807
 Tripsin 492
 Triphelin 458
 Trivarin 797
 trockene Diät 337
 Tropacocainum hy-
 drochloricum 811
 Tropon 954
 Trypaffavin 316, 562, 891, 998
 Tsuwalen 505
 Tuberkulinreaktion . . 656
 Tuhatol 505
 Tumenol Ammonium . 995
 Tumenol Wismutsalbe. 991
 Tusoin 778
 Tutocain 812
 Tutol 926
- U**
- Ultractina 955
 Umschlagmittel 982
 Umstin 702
 Unguentum 991
 — Acidi borici 992
 — Argenti colloidalis 992
 — crotonis 992
 — Hebrae 992
 — Hydrargyri album
 992
 — salicylicarboricum 992
 — sulfuratum 993
 — Wilkinsoni 993

- Wilsoni 986
 — Zinci 993
 Untersuchung der elek-
 trischen Entartungs-
 reaktion 633
 — der Exsudate und
 Transsudate 623
 — des Auswurfs . . . 612
 — des Blutes 613
 — des Liquor cere-
 brospinalis 619
 — des Stuhls 611
 Urea. Harnstoff . . . 367, 880
 Ureabromin 785
 Urethan 807
 Urichin 962
 Urobilinreaktion 610
 Uropherin 27
 Urotropin . 311, 313, 562, 891
 Uvaul 892
 Uvaurtin 892
 Uzara 917
- V**
- Vaccination 696
 Vaccinotherapie 693
 Vagin 1008
 Vaginal 1008
 Valamin 786
 Valentine's meat juice . 953
 Valerianpräparate . . . 785
 Validol 96, 157, 786, 911
 Validolum camphoricum 786
 Valisan 786, 807
 Valofin 786
 Valol 786
 Valpital 99
 Valyl 786
 Vaseton 1007
 Vasodilatoria 363
 Vasogenpräparate . . . 987
 Vasotonin 74
 Vegetabilische Abführ-
 mittel 920
 Veramon 162, 807
 Verbrennung 683
- Verdaunungsfermente . 901
 Vergiftung 658
 Verodigen 875
 Veronacetin 102, 807
 Veronal 155, 808
 Verstopfung 523
 Vidalon 936
 Vigantol 960
 Vinum Condurango . . 894
 — Ipecacuanhae . . . 776
 — rubrum, red wine 917
 Vioform 986
 Vitacampher 876
 Vitafortin 962
 Vitamin 958
 Vitamine 593
 Vitaminol 962
 Vitarogen 956
 Volhard's Wasserstoss . 366
- W**
- Wadenkrampf 241
 Wassermannsche Reak-
 tion 655
 Wassersucht 325
 Weber's Methode 297
 Widalsche Reaktion . . . 654
 Wurmmittel 942
- X**
- Xyconon 778
- Y**
- Yakriton 976
 Yatoconin 936
 Yatren-Casein 702
 Yperit 673
- Z**
- zehnmal-Kräftiges
 Pangital 866
 Zincum chloratum . . . 1005
 — oxydat 161

— peroxydum . . . 986
 — sulfuricum . . . 907
 — valerianicum 417, 786
 Zinksalbe 993
 Zinksalze 670
 Zirk 995
 Zuckerin 901, 956
 Zyangruppe 41

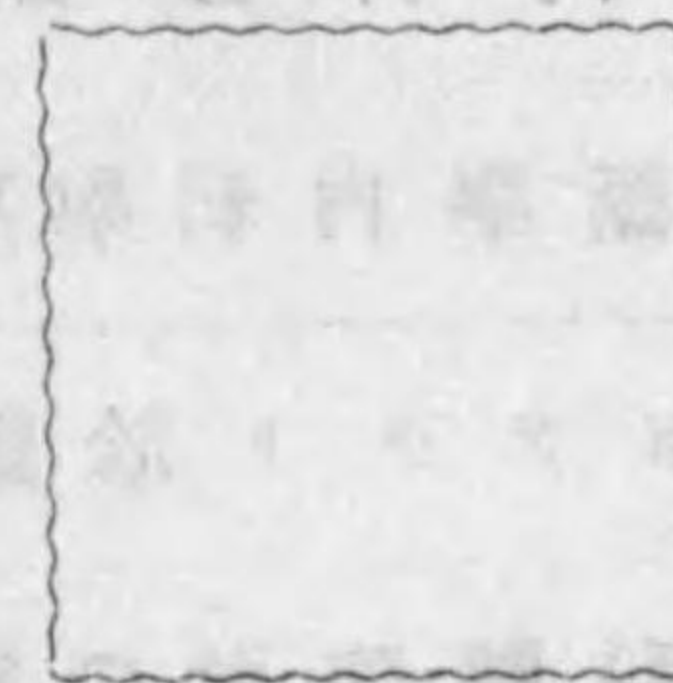
W
 X
 Y

昭和10年7月15日印刷

昭和10年7月20日發行

對症診斷ヨリ治療マテ

定價 ¥ 5.50



著者 ^{フジ}藤 ^イ井 ^{ナホ}尙 ^{ヒサ}久

發行者 金原 作 輔
東京市本郷區湯島切通坂町21

印刷者 守 岡 功
東京市本所區飯橋1丁目27ノ2

印刷所 凸版印刷株式會社

東京市本郷區湯島切通坂町21
發行所 株式會社 金原商店
電小石川 3840・4322・5903 振替東京 3535

大阪店 京 都 店
 大阪市西區江戸堀上通2ノ42 京都市上京區丸太町通丸太町橋西詰
 電上佐堀 2413 振替大阪 6463 電上 4114 振替大阪 29619

診斷學書點描

-
- 大崎 仲丸 往診 實習用 **ポケット型體溫表** ¥ .80
(附 疾病特有の熱型圖譜)
- 額田 豊 **内科臨牀診斷學** ¥ 10.00
- 加藤 義夫 **小内科診斷學** ¥ 6.50
- 額田 晋 **診斷學内科學要綱** ¥ 3.50
- 野村 正一 ^{日常} **ポケット診斷學** ¥ 3.00
- 山田 詩郎 **内科醫臨牀の爲に** ¥ 3.50
- 山田 詩郎 **内科醫治療の仕方** ¥ 3.50
- 八田 善之進 芦田 光二 **打診と聽診** ¥ 2.50
- 岩 男 督 <sup>内科外科
産科婦人科</sup> **腹部觸診の實際** ¥ 2.80
- 高橋 操三郎 ^{臨牀} **寄生蟲卵圖譜** ¥ 2.30
(附 人體寄生蟲概要)
- 室橋 民衛 ^{彩色} **乳幼兒糞便圖譜** ¥ 5.50
- 中泉 正徳 **臨牀放射線學** ¥ 3.80
-

60-1360



1200501272843



終